

KAWAI

STAGE PIANO
MP11SE
取扱説明書

JA

ご使用前の準備

演奏ガイド

エディットメニュー

ストアボタン/セットアップ

レコーダー

USB メニュー

システムメニュー

付録

**この度はKAWAIステージピアノMP11SEをお買い求めいただきまして、
誠にありがとうございます。**

本楽器を存分にお楽しみいただき、末永く御愛用いただくためにも、
この取扱説明書をよくお読みいただき、大切に保管くださいますようお願いいたします。

■ 付属品(お確かめください)

- | | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> ダンパー/ソステヌート/ソフトペダル(GFP-3) | <input checked="" type="checkbox"/> 取扱説明書 |
| <input type="checkbox"/> 譜面台 | <input type="checkbox"/> 保証書 |
| <input type="checkbox"/> 電源コード | |

※予告なしに内容を変更する場合があります。

■ 取扱説明書について

初めに、安全に正しくお使いいただくため、次ページの「安全上のご注意」をよくお読みください。

取扱説明書では、MP11SEをすぐお使いいただけるようオーディオ出力機器への接続、電源の入れ方から、基本的な演奏ガイド、様々な機能を使いこなすための操作まで説明しています。また付録には音色一覧などの資料を収録しています。

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。

ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ずお守りください。

■製品本体に表示されているマークには次のような意味があります。



このマークは感電の危険があることを警告しています。



このマークは注意喚起シンボルです。取扱説明書等に、一般的な注意、警告の説明が記載されていることを表しています。

注意：感電防止のため本体の内部を開けないでください。機器の内部にはお客様が修理／交換出来る部品はありません。点検や修理は必ずお買い求めいただいた販売店または修理受付窓口およびお近くの弊社フィールドサポート担当までご依頼ください。

■警告と注意、記号表示について



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容が記載されています。



△記号は注意(用心してほしい)を促す内容があることを告げるものです。



⊘記号は禁止(行ってはいけない)の行為であることを告げるものです。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容が記載されています。



●記号は強制(必ず実行してほしい)したり、指示する内容があることを告げるものです。

警告



100V以外禁止

電源は必ずAC100Vを使う

電圧の異なる電源を使用しないでください。発火の恐れがあります。



水に濡れた手で、電源プラグを抜き差ししない

感電の原因になります。



付属の電源コードは本機でのみ使用する

付属の電源コード以外を本機で使用しないでください。付属の電源コードを他の機器で使用しないでください。



異常が起こった場合、故障した場合は即座に電源スイッチを切り、コンセントからプラグを抜く



電源コードを熱器具に近付けたり、無理に曲げたり重い物を載せたりして傷つけたりしない

コードが破損し、火災、感電、ショートの原因になります。



不安定な場所に置かない

怪我や破損の恐れがあります。



本機を分解、修理、改造しない



本機の内部に異物を入れない

水、針、ヘアピン等が入ると、故障やショートの原因になります。



この機器の上に花瓶等の液体の物を置いたり、水にぬれるような使い方をしたりしない

故障・感電・発火の原因になります。



本機を落としたり、強い衝撃を加えない

怪我および破損の恐れがあります。

落とさない



照明用のロウソクなどの裸の火を機器の上に置かない。



取扱い注意

設置作業や移動作業は必ず2人で行い、取り扱いに十分注意する

重量物のため、本機を移動するときは水平に持ち上げるようにし、手をはさんだり、足の上に落とさないよう十分注意してください。

注意



電源プラグを抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜く

コードを引っ張るとコードが破損し、火災、感電、ショートの原因になります。



ぶつからない

本機のカド部でけがをしないよう注意する

頭などをぶつけると、けがの原因になります。



落雷の恐れのあるときや長時間使用しないときは必ず電源プラグを抜く

感電・火災及び故障の原因になる恐れがあります。



上に乗らない

本機の上に乗ったり、重い物を乗せたりしない

変形したり、倒れる恐れがあり、故障やけがの原因になります。



電源を切る

コード類を接続するときは、各機器の電源を切って行う

本機や接続機器の故障の原因になります。



ヘッドホンは大音量で長時間使用しない

聴力低下の原因になる恐れがあります。



電源プラグは直ぐに抜くことができる状態にしておく

この機器は電源スイッチを切った状態でも主電源から完全に遮断されているわけではありません。完全に遮断するためには、電源プラグを抜いてください。プラグは直ぐに抜くことができる状態にしておいてください。



使用禁止

本機を次のような所では使用しない

- ・窓際など直射日光の当たる場所
- ・暖房器具のそばなど極端に温度の高い場所
- ・戸外など極端に温度の低い場所
- ・極端に湿度の高い場所
- ・砂やホコリの多い場所
- ・振動の多い場所

故障の原因になります。



手や足を入れない

譜面台やペダルの下など本機の間隙に手や足をいれない

はさんだり擦れる恐れがあり、けがの原因になります。



通気確保

熱がこもらないような場所に置く

正常な通気が確保できるところに設置してください。

■ お手入れについて

本体	乾いた柔らかい布で拭いてください。
ペダル	表面が汚れた場合、乾いた食器洗い用スポンジで拭くと綺麗になります。サビ落とし用の磨き剤ややすり等は使用しないでください。
ベンジンやシンナーで本機を拭かない 色落ちや、変形の原因になります。清掃するときは、乾いた柔らかい布で拭いてください。	

* お手入れの際は、電源コードを抜くこと。

■ 修理について

万一異常がありましたら直ちに電源スイッチを切り、本機の電源プラグを抜いて、購入店または弊社へご連絡ください。弊社連絡先は取扱説明書の裏表紙に記載してあります。

目次

安全上のご注意.....	4
目次.....	6

ご使用前の準備

はじめに.....	8
1. 本製品の特徴.....	8
2. 取扱説明書の表記について.....	9
各部の機能と名称.....	10
1. フロントパネル：ノブ、フェーダー、ボタン...10	
2. フロントパネル：端子.....	14
3. リアパネル.....	14
他の機器との接続.....	16
セクションの内部接続.....	17

演奏ガイド

基本操作.....	18
1. 音色を選ぶ.....	18
2. ディスプレイ/コントロールノブ.....	19
3. リバーブ(REVERB).....	20
4. エフェクト(EFX).....	21
5. アンプシミュレータ(E.PIANOセクション).....	22
6. キーレンジ(鍵域指定).....	24
内部音色セクション/パラメータ.....	26
1. PIANOセクション.....	26
2. E.PIANOセクション.....	29
3. SUBセクション.....	30
GLOBALセクション.....	31
1. EQ.....	31
2. Transpose.....	33
MIDI OUTセクション.....	35

エディットメニュー

エディットメニューの概要(PIANO, E.PIANO, SUB)...	37
エディットメニューのパラメータ(PIANO, E.PIANO, SUB)...	39
1. Reverb(リバーブ).....	39
2.1. EFX(エフェクト).....	39
2.2. AMP(アンプシミュレータ)(E.PIANO).....	40
3. Sound.....	41
4. Tuning(チューニング).....	43
5. Key Setup(キーボードセットアップ).....	44
6. Controllers(コントローラー).....	46
7. Knob Assign(ノブアサイン).....	48
8. Virtual Technician(PIANOセクション).....	49
8. Virtual Technician(E.PIANO, SUBセクション).....	50
エディットメニューの概要(MIDI OUT).....	51
エディットメニューのパラメータ(MIDI OUT)...	53
1. Channel/Program.....	53
2. SETUP.....	53
3. Transmit SVS	54
4. MMC SVS	54
5. Key Setup(キーボードセットアップ).....	55
6. Controllers(コントローラー).....	56
7. Knob Assign(ノブアサイン).....	58

ストアボタン/セットアップ

STORE ボタンの概要について.....	59
1. STORE SOUND(ストアサウンド).....	59
2. STORE SETUP(ストアセットアップ).....	60
3. STORE POWER ON(ストアパワーオン).....	61
セットアップメモリ.....	62

レコーダー

レコーダーについて.....	63
MIDIレコーダー (内部メモリ).....	64
1. 内部メモリに録音する.....	64
2. MIDIソングを再生する.....	66
3. SMF形式で保存する.....	68
4. SMFを内部メモリへLOAD(ロード)する.....	69
5. 内部メモリを消去する.....	72
6. 曲のトランスポーズ(移調).....	73
7. パネルモード.....	73
8. MIDI to Audio.....	73
オーディオレコーダー (USBメモリ).....	74
1. オーディオファイルに録音する.....	74
2. オーディオファイルを再生する.....	77
3. オーバーダビングする.....	80
4. MIDIソングをオーディオ変換する.....	83
メトロノーム.....	86
1. クリックモード.....	86
2. リズムモード.....	87
3. メトロノームを使って録音する.....	90

USBメニュー

USBメニューについて.....	92
USBメモリ機能.....	93
1. Load(ロード/読込).....	93
2. Save(セーブ/保存).....	94
3. Delete(デリート/削除).....	96
4. Rename(リネーム/ファイル名変更).....	97
5. Format(フォーマット/初期化).....	98

システムメニュー

システムメニューについて.....	99
システムパラメータと機能について.....	100
1. Utility(ユーティリティ).....	100
2. Pedal/Mod.(ペダル/モジュレーション).....	102
エクスプレッションペダルの調整について.....	103
3. MIDI.....	104
4. Offset(オフセット).....	105
5. User Edit(ユーザー).....	105
ユーザータッチカーブを作成する.....	106
ユーザー音律を設定する.....	107
ユーザー 88鍵ボリュームを設定する.....	108
ユーザーストレッチチューニングを設定する.....	109
ユーザー VOICINGを設定する.....	110
6. RESET(リセット).....	111
PANIC ボタン.....	111
Panel Lock(パネルロック).....	112

付録

困ったときは?.....	113
USB-MIDIについて.....	118
ソフトウェアアップデート.....	119
内蔵音色リスト.....	120
リズムパターンリスト.....	121
EFXカテゴリ、タイプ、パラメータリスト.....	122
仕様.....	127
MIDI Implementation.....	128
1. Recognised Data.....	129
2. Transmitted Data.....	133
3. Exclusive Data.....	135
4. SOUND/SETUP Program/Bank.....	145
5. Control Change Number (CC#) Table.....	146
MIDI Implementation Chart.....	147

1 本製品の特徴

ステージピアノ最高クラスのタッチ感を備えた『木製鍵盤/アイボリータッチ、レットオフフィール』

MP11SEは、グランドピアノと同様のアクション(シーソー構造)、グランドピアノ同様の支点距離、電子ピアノの中で群を抜く鍵盤の長さ、ほぼすべての鍵盤にカウンターウェイトを備えた木製鍵盤 Grand Feel アクションにより、グランドピアノに限りなく近い弾き心地で演奏することができます。さらに、3つのセンサーを搭載することで同音連打の演奏性やレガート演奏時の音の繋がりが一層グランドピアノに近づきました。また、吸湿性と象牙の風合い、色を備えた象牙調仕上げ(アイボリータッチ)鍵盤により、指が滑りにくく、心地よいタッチ感が得られます。弱く弾いたときに感じられるアコースティックピアノ特有のクリック感を実現するレットオフフィールも搭載、グランドピアノがもつ細やかなタッチの感触まで余すことなく再現します。

カワイが誇る最高のグランドピアノ SK-EX、EX、SK-5 3台のピアノ音を搭載

MP11SEにはカワイが誇る最高のグランドピアノシリーズである Shigeru Kawai から、コンサートグランドピアノ SK-EX、中型グランドピアノ SK-5 を新たに搭載しました。また、世界最高峰のピアノコンクールであるショパン国際ピアノコンクールで実際に使用したカワイコンサートグランドピアノ EX も搭載、合計3モデルのグランドピアノ音を内蔵しています。これらのピアノレコーディングにおいては、ピアノ作りに精通したカワイだからできる最良のピアノ選定、最高レベルの調律師による秀逸のピアノ調整を行っています。それらのピアノを88個の鍵盤一つ一つ丁寧に、究極のこだわりを持って録音することで、妥協のないピアノサウンドに仕上がりました。最新の「HI-XL 音源」は、弱打から強打までのスムーズな音色変化、和音の濁りが少なく減衰に伸びのあるリアルなピアノ音を実現、そのクオリティを余すことなく表現します。

さらに、グランドピアノは弦、駒、ダンパー、フレーム、響板それぞれが相互に振動、共振することで複雑な共鳴を発生させ、独特な響きを放ちます。

MP11SEはこの現象を1つ1つ物理的に解析し演算シミュレーションを行い再現しています。

ダンパーレゾナンスやストリングレゾナンス、キーオフレゾナンスや開放弦レゾナンスといったピアノの様々な共鳴現象を、新開発の信号処理プログラムにより、リアルタイムに計算し発生させます。ピアノ作りに精通したカワイだからできるピアノ解析技術により、グランドピアノのあらゆる共鳴現象をリアルに再現します。

E.PIANO セクション：2エフェクト+アンプシミュレータを搭載し、ビンテージ・エレピ音色を一新

MP11SEは独特のキャラクターを持った数々のビンテージエレピ音色を持っており、エレクトリックグランドピアノの音色も搭載しています。

また、E.PIANO セクションでは129種類のバラエティに富んだエフェクトを2系統と、5種類のビンテージアンプのシミュレータを搭載しています。また、それを集音するマイクタイプの選択やマイク位置までもユーザーの好みに調整可能です。

SUB セクション：ピアノの表現の幅を広げるストリング、PAD 音色、ベース音色

MP11SEは、アコースティックピアノやエレクトリックピアノに音を重ねたり、単独で演奏したりするための高品位のストリングス/PAD 音色、ベース音色等の音色を用意しています。

さらに、特徴的な機能「Vocal」「Bell」「Air」はより音色に厚みを持たせ、ノブに割り当て可能な典型的な ADSR、レゾナンス・カットオフなどのパラメータによって、様々なサウンドを得ることができます。

MIDI OUT セクション：4ゾーンのマスターキーボード機能

MP11SEは、外部機器の操作、スタジオでの統合環境のマスターキーボードとして使用するための MIDI OUT セクションを備えています。

最大4チャンネル同時に操作可能であり、アサインノブを使用してコントロールチェンジを外部機器に送信したり、手元から DAW (Digital Audio Workstation) をコントロールすることができます。

MP11SEは、ライン入力端子と、付随したラインインフェーダーを備えており、ご愛用のハードウェア音源やシンセ、パソコンのソフトウェア音源などを接続し、手元での音量バランスのコントロールが可能です。

直感的な操作を実現する、ディスプレイとリアルタイムアサインノブ

MP11SEのコントロールパネルは、ひと目で操作する場所がわかるように、音色に関連する機能がそれぞれグループ化して配置されています。そして、パネル中央に配置されたディスプレイを伴った4つのアサインノブを使って、頻繁に操作するパラメータは演奏中ダイレクトに調整することができます。どこにどのパラメータがあるかなどに余計な神経を使わず、演奏のことに集中できます。

ステージミュージシャンの為の208セットアップメモリ

MP11SEは、選択された音色、ノブの値、フェーダーのレベル、その他調整されたパラメータを、「SETUP(セットアップ)」として、本体のメモリへ保存することができ、ボタンを押して瞬時に呼び出すことができます。200を超えるセットアップメモリは、演奏前に予めいくつもの設定を決めておきたいステージミュージシャンに最適です。

USBメモリが利用可能。各種ロード/セーブと『USBオーディオレコーダー』

MP11SEは、MIDIデータをコンピュータとやりとりするための[USB to HOST]端子のほか、USBメモリなどにデータをロード/セーブする為の[USB to DEVICE]端子を備えています。内部メモリに保存された、カスタマイズされたサウンド群、セットアップメモリ、レコーダー (SMF形式)などのデータを、USBメモリへ保存することができます。

また、[USB to DEVICE]端子は、MP3やWAV形式のオーディオファイルの録音・再生にも対応しており、本格的なバックিং・トラックを使って演奏したり、曲のアイデアの為にメロディやコードを気軽に録音することも可能です。もちろん、MP11SEで保存したMP3、WAV、SMF形式のファイルは、DAW等で活用できます。曲のアイデアをMP3形式で録音し、そのままEメールに添付してメンバーに送付、というような利用も可能です。



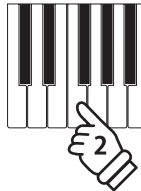
2 取扱説明書の表記について

この取扱説明書は、MP11SEの様々な機能を説明するために、いくつかのイラストを利用しています。下記の例ではLEDの点灯/消灯/点滅、またボタンを押すパターン(通常/長押し/押しながら○○する)を表しています。

■ LEDの表示状態

ON / OFF 	ON / OFF 	2 
LED 消灯 SOUND / Funicton 非選択状態	LED 点灯 SOUND / 機能選択状態	LED 点滅 SOUND / 機能一時的に選択状態

■ ボタンを押すパターン

EQ 	EQ 	KEY RANGE 	
通常 音色または機能選択、 または機能のON/OFF	長押し 機能のパラメータ表示等	押しながら○○する スプリットポイントやゾーン作成、 トランスポーズ設定等	

■ テキストの表示

通常の説明はこのサイズ

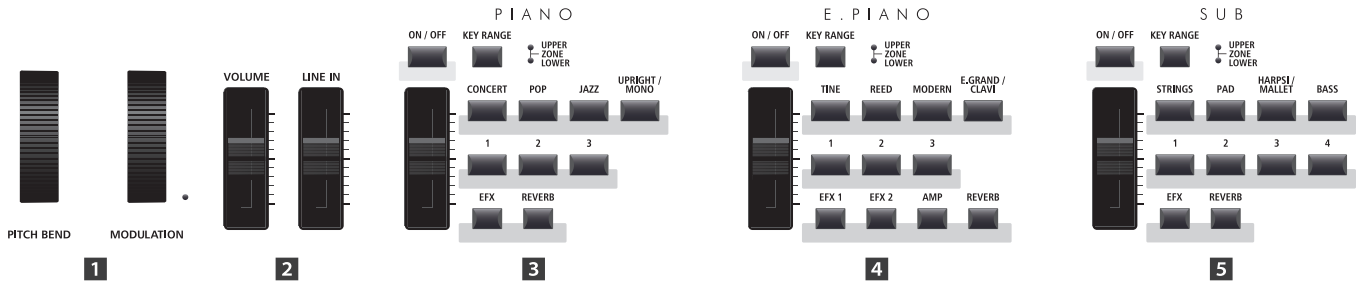
* 注記はこのサイズ

覚書、ヒントや追加説明は
イタリック体でこのサイズ

ー LCDのキャプションは太字で
このサイズ

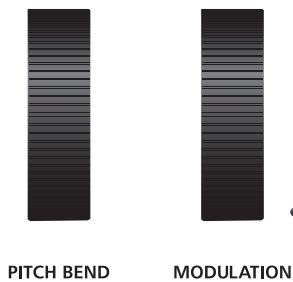
操作例はイタリック体で
このサイズで灰色の背景で囲む

各部の機能と名称



1 フロントパネル：ノブ、フェーダー、ボタン

1 コントロールホイール



[PITCH BEND] ホイール

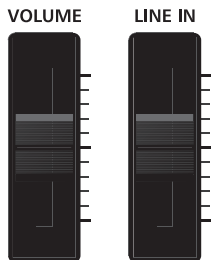
このホイールを上下に動かすと、音程が上下に変わります。

[MODULATION] ホイール

ビブラートのかかり具合を調整することができます。ホイールを上へ動かすとビブラートが深くかかります。ホイールポジションが0でないとき、LEDインジケーターが点灯します。

* モジュレーションホイールには別の機能をアサインすることもできます。P.47をご確認ください。

2 ボリュームフェーダー



ボリュームフェーダー

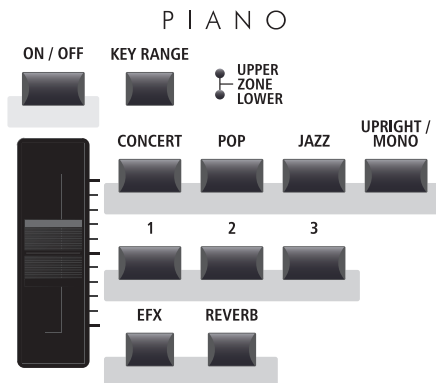
全体のボリュームを調整します。ノーマル出力、ヘッドホン出力に効きます。

* FIXED出力端子はボリューム固定です。

ラインインフェーダー

ライン入力の音量を調整します。

3 PIANO セクション



[ON/OFF] ボタン

PIANOセクションをON/OFFします。このボタンを消灯させるとPIANOセクションは発音しません。

[KEY RANGE] ボタン

PIANOセクションが有効となる鍵域を選択します。

UPPER/LOWER/ZONE LED

PIANOセクションの現在有効な鍵域を表示します。

ボリューム・フェーダー

PIANOセクションの音量を調整します。

[CONCERT] [POP] [JAZZ] [UPRIGHT/MONO] ボタン

PIANO音色を4種類のタイプから選びます。

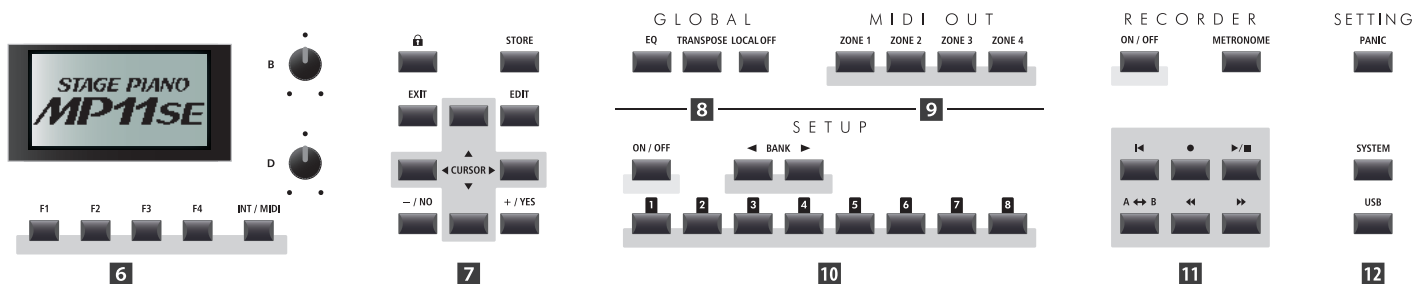
[1] [2] [3] ボタン

選択したタイプのバリエーションを3種類から選びます。

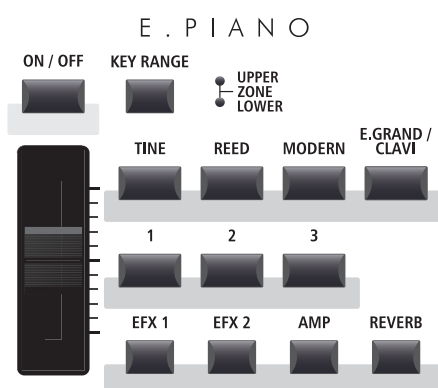
[EFX] [REVERB] ボタン

PIANOセクションのリバース(残響効果)やエフェクトをON/OFFします。

* これらのボタンを長押しすると、エディットメニューのそれぞれの設定ページへショートカットできます。



4 E.PIANO セクション



[ON/OFF] ボタン

E.PIANO セクションをON/OFFします。このボタンを消灯させるとE.PIANO セクションは発音しません。

[KEY RANGE] ボタン

E.PIANO セクションが有効となる鍵域を選択します。

UPPER/LOWER/ZONE LED

E.PIANO セクションの現在有効な鍵域を表示します。

ボリューム・フェーダー

E.PIANO セクションの音量を調整します。

[TINE] [REED] [MODERN] [E.GRAND/CLAVI] ボタン

E.PIANO 音色を4種類のタイプから選びます。

[1] [2] [3] ボタン

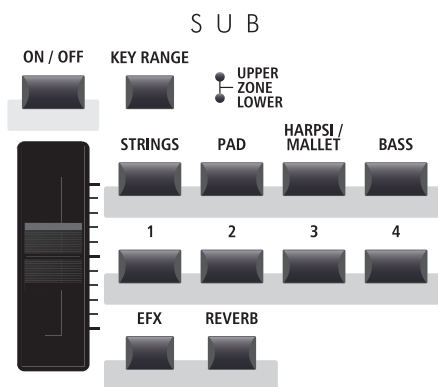
選択したタイプのバリエーションを3種類から選びます。

[EFX1] [EFX2] [AMP] [REVERB] ボタン

E.PIANO セクションのエフェクト(2個)やアンプシミュレータやリバーブ(残響効果)をON/OFFします。

* これらのボタンを長押しすると、エディットメニューのそれぞれの設定ページへショートカットできます。

5 SUB セクション



[ON/OFF] ボタン

SUB セクションをON/OFFします。このボタンを消灯させるとSUB セクションは発音しません。

[KEY RANGE] ボタン

SUB セクションが有効となる鍵域を選択します。

UPPER/LOWER/ZONE LED

SUB セクションの現在有効な鍵域を表示します。

ボリューム・フェーダー

SUB セクションの音量を調整します。

[STRINGS] [PAD] [HARPSI/MALLET] [BASS] ボタン

SUB 音色を4種類のタイプから選びます。

[1] [2] [3] [4] ボタン

選択したタイプのバリエーションを4種類から選びます。

[EFX] [REVERB] ボタン

SUB セクションのエフェクトやリバーブ(残響効果)をON/OFFします。

* これらのボタンを長押しすると、エディットメニューのそれぞれの設定ページへショートカットできます。

各部の機能と名称

6 ディスプレイ部



ディスプレイ

通常は[PIANO] [E.PIANO] [SUB] (MIDI OUTセクションの場合は[ZONE1] [ZONE2] [ZONE3] [ZONE4])のうち、選択されたセクションの音色名やパラメータの値を表示します。その他様々な機能を使う場合には、それぞれの値や状態を表示します。

[A] [B] [C] [D] ノブ

表示中のパラメータの値をリアルタイムにコントロールします。

* エディットメニューのノブアサイン設定ページでパラメータを自由に割り当てることができ、演奏中に好みのパラメータを操作することができます。(詳細はP.48をご確認ください)

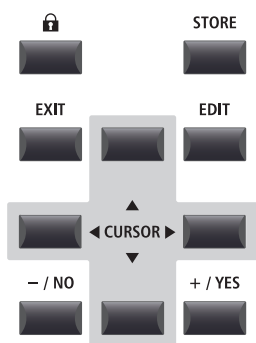
[INT/MIDI] ボタン

LCDに表示される機能を切り替えます。
INT(音色セクション)⇄MIDI(4-MIDI ZONE)

[F1] [F2] [F3] [F4] ボタン

通常はディスプレイに表示されるセクションを選択します。レコーダーなどのその他のモードでは、そのときの機能が画面上に表示されます。

7 エディット部



[LOCK] (🔒) ボタン

パネルスイッチをロックして、演奏中の誤操作を防止します。ボタンが点灯しているとき、ロックされます。

[STORE] ボタン

各音色やパネルの設定状態を、SETUPとして本体内部に保存します。また、各SOUNDそれぞれの設定状態や電源オン時の設定を保存できます。

[EXIT] ボタン

エディットモードから抜けたり、前のページへ戻ります。

[EDIT] ボタン

エディットモードへ入ります。エディットメニューが表示されているときは、選択されたそれぞれのパラメータエディットのページへ移行します。

[CURSOR] ボタン

画面中のカーソルを移動させたり、エディットモードのページをスクロールさせます。

[+ / YES] [- / NO] ボタン

カーソルで選択した項目の値を設定します。動作確認が必要な画面では、実行するか否かを決定します。

8 GLOBAL セクション



[LOCAL OFF] ボタン

[LOCAL OFF] ボタンを点灯させると、本体の鍵盤を弾いても本体から発音せず、MIDI入力のみ発音します。

[EQ] ボタン

EQをON/OFFします。
長押しすることでEQの調整画面を表示します。

[TRANSPOSE] ボタン

トランスポーズ(移調)機能をON/OFFします。
長押しすることでトランスポーズの設定画面を呼び出します。

9 MIDI OUT セクション

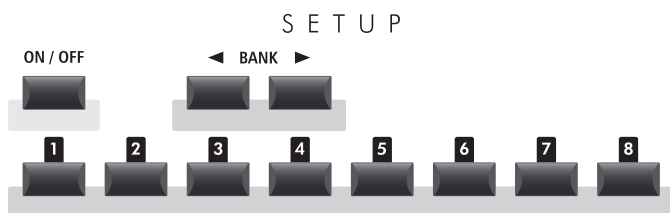


[ZONE1] [ZONE2] [ZONE3] [ZONE4] ボタン

それぞれの4つのMIDIゾーンをON/OFFします。

* 長押しすることで対応するMIDIゾーンのセッティング画面に移動します。

10 SETUP セクション



[ON/OFF] ボタン

SETUP モードをON/OFFします。

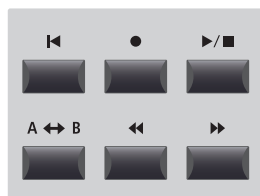
[BANK] ボタン

AからZまでの26バンクからSETUPのバンクを選択します。

メモリボタン

選択中のバンクから[1]～[8]のSETUPメモリを選択します。

11 RECORDER セクション



[ON/OFF] ボタン

[RECORDER] セクションの機能をON/OFFします。

[METRONOME] ボタン

メトロノーム機能をON/OFFします。

◀ (リセット) ボタン

MP11SEのレコーダをリセットします。
(リセット：MP3/WAVファイルの始めに戻る)

● (録音) ▶/■ (再生/停止) ボタン

内部メモリに録音したり、再生したりUSBメモリに保存されたMP3/WAVファイルを再生/停止します。

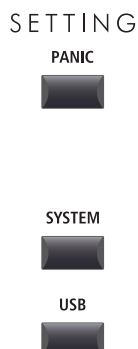
A ↔ B (A-Bループ) ボタン

録音データの任意の箇所区切り、そのみを繰り返し再生することができます。

◀◀ (早戻し) ▶▶ (早送り) ボタン

作業中の録音された曲や、MP3/WAVファイルを早戻し/早送りします。

12 SETTING セクション



[PANIC] ボタン

長押しすると、パネルの設定を電源オン時の状態へ戻し、オールノートオフとリセットオールコントローラーのメッセージをMIDI送信します。

[SYSTEM] ボタン

MP11SEのシステム全体に関わる基本設定を行います。

[USB] ボタン

USBデバイス内のファイル操作を行います。

2 フロントパネル：端子



ヘッドホン端子

ヘッドホン端子はMP11SE前面左下(口棒左端)にあります。ステレオ標準プラグのヘッドホンをご使用ください。

USB to DEVICE 端子

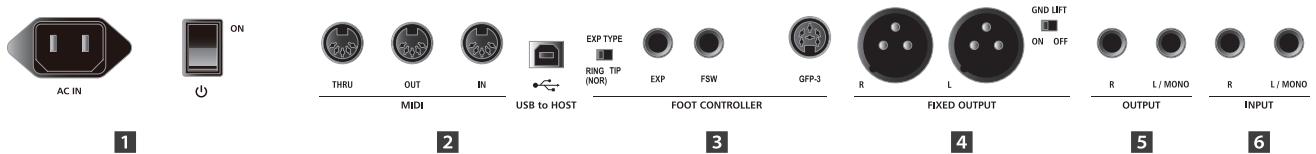
USB to Device 端子はコントロールパネル右端前面(右拍子木の上部)にあります。

FATまたはFAT32でフォーマットされたUSBメモリや、USBフロッピーディスクドライブを接続します。

保存されている曲を再生したり、MP11SEで録音した曲をUSBメモリに保存することもできます。

* ワイヤレスフラッシュメモリーは使用できません。

3 リアパネル



1 電源部



AC IN



ON

AC IN 端子

電源コードでAC100Vのコンセントと接続します。

POWERスイッチ

電源のON/OFFを行います。

ご使用後は必ず電源をお切りください。

* 電源オフ時、内部メモリーにデータ書き込みを行うことがあります。LCDディスプレイ消灯前に電源プラグを抜かないでください。

* オートパワーオフ機能を使用される場合は一定時間操作がないときに自動的に電源がOFFされます。詳細はP. 101をご確認ください。

2 MIDIセクション



THRU



OUT



IN



USB to HOST

MIDI

MIDI THRU/OUT/IN 端子

MIDI規格に対応している楽器と接続する端子です。

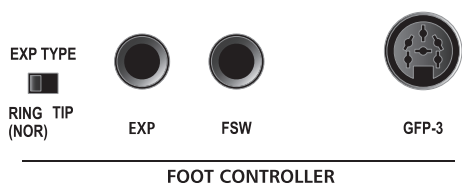
USB to HOST 端子

市販のUSBケーブルでコンピュータと接続すると、MIDIデバイスとして認識され通常のMIDIインターフェイスと同様にMIDIメッセージを送受信することができます。

* [USBtoHOST]端子を使ってコンピュータと接続するには、ご使用のOSに依ってドライバー・ソフトウェアのインストールが必要になる場合があります。(P. 118の「USB MIDI ドライバ」参照)

* USB-MIDIとMIDI IN/OUTは同時に使用することが可能です。MIDIの内部接続に関してはシステムメニューのMIDIの項(P. 104)をご確認ください。

3 FOOT CONTROLLER セクション



EXP TYPE	説明
RING (NOR)	TRS プラグの「Ring」がペダル信号の場合
TIP	TRS プラグの「Tip」がペダル信号の場合

EXP TYPE スイッチ

エクспレッションペダルは、メーカーによって TRS プラグの極性が異なります。ペダルが効かない場合やペダルを接続することで本体が誤動作する場合は、このスイッチを切り替えてご使用ください。

EXP 端子

市販のエクспレッションペダルを接続します。

* ペダルの仕様によっては踏込/開放時に、最大/最少値が出力されない場合がありますが、その際は、P. 103 にしたがってキャリブレーションを行ってください。

FSW 端子

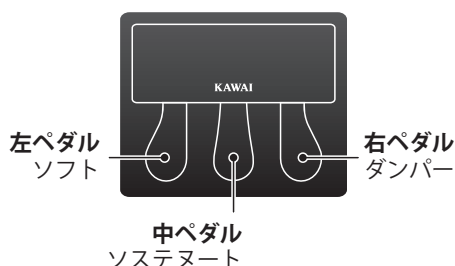
市販のフットスイッチを接続します。

GFP-3 端子

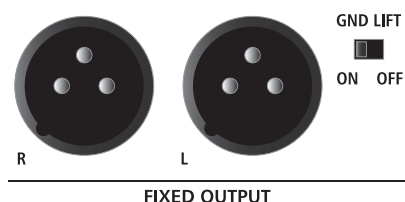
同梱の 3 本ペダル GFP-3 を接続します。

初期設定では左のペダルはソフトペダル、中央のペダルはソステヌートペダル、右のペダルはダンパーペダルとして機能します。

* これらのフットコントローラーは、エディットメニューでそれぞれの機能を設定可能です。(P. 56 参照)



4 FIXED OUTPUT セクション



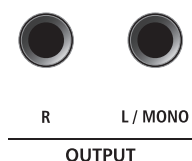
FIXED (R, L) 端子

XLR 端子を使って、本機と PA 機器を接続します。全体の音量を調整する VOLUME フェーダーはバイパスして出力されます。

GND LIFT スイッチ

XLR 端子で接続した機器との間にグラウンドループが生じると、ノイズの原因になることがあります。グラウンドリフト SW は、ON にすることでこのグラウンドループを遮断します。通常は OFF に設定しておきます。

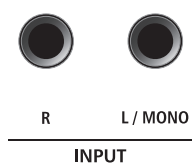
5 OUTPUT セクション



NORMAL (R, L/MONO) 端子

標準プラグを使って、本機と PA 機器やキーボードアンプを接続します。L/MONO 端子のみ接続した場合は、モノラル出力されます。

6 INPUT セクション



NORMAL (R, L/MONO) 端子

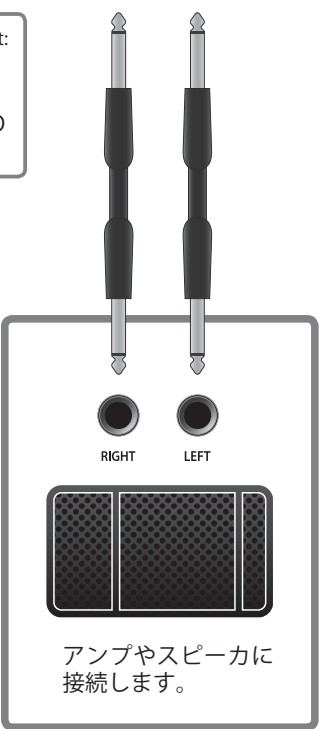
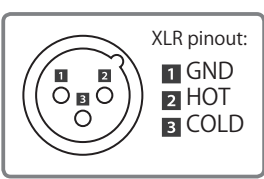
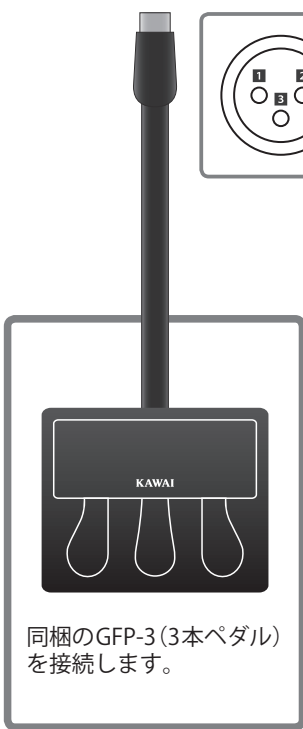
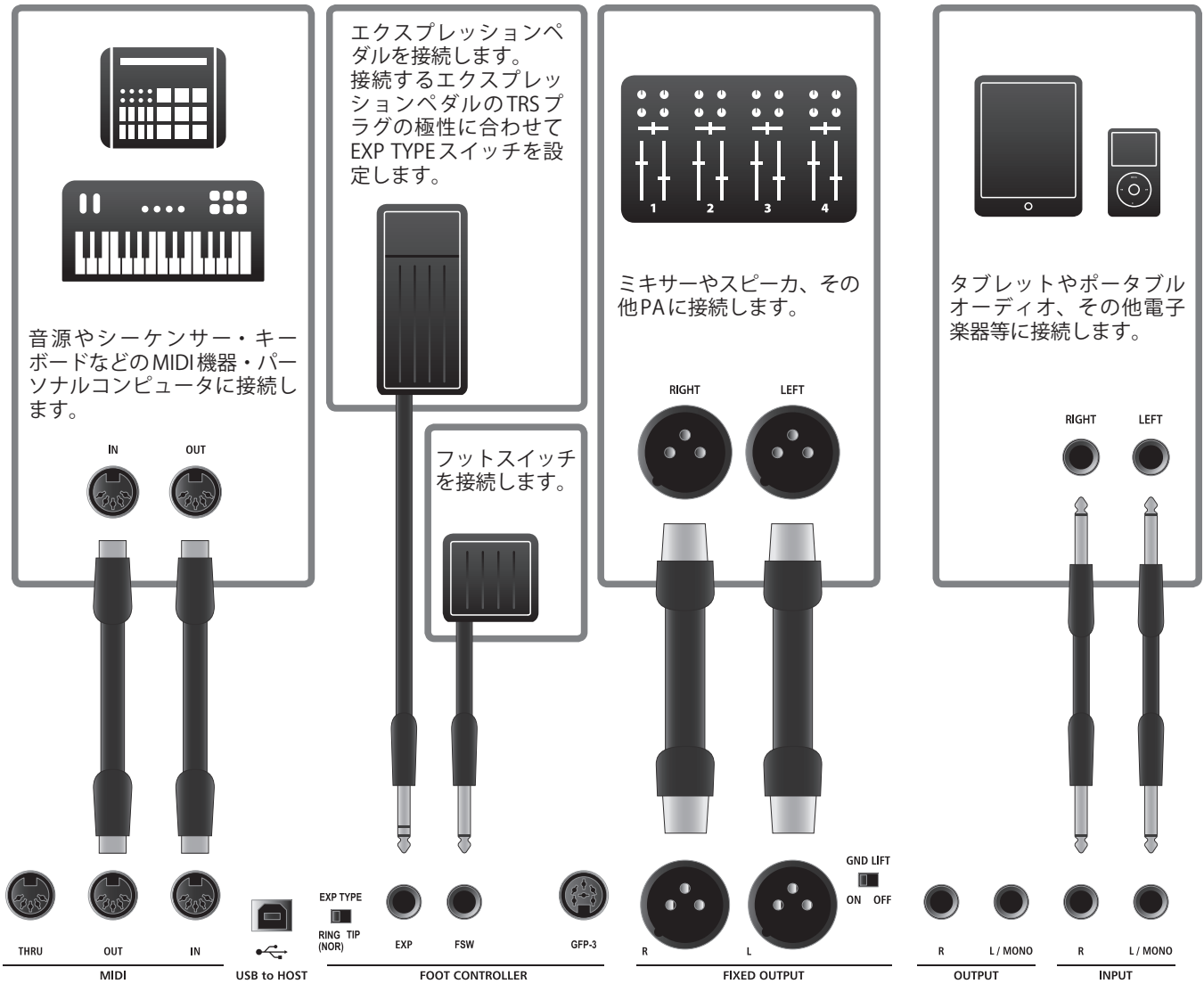
標準プラグを使って、本機と他の電子楽器やオーディオ機器を接続します。

入力レベルは、LINE IN フェーダーで調整します。L/MONO 端子のみ接続した場合は、モノラル入力されます。

* ラインインから入力された音もオーディオレコーダーに録音されます。

他の機器との接続

ご使用前の準備



セクションの内部接続

■ アンプ・スピーカの接続

MP11SEはスピーカーを内蔵していませんので、PA機器やキーボードアンプ、またはヘッドホンに接続して演奏します。

オーディオ出力機器へ接続後、リアパネル右にある電源スイッチをONにしてMP11SEの電源を入れてください。

■ MP11SEのセクションについて

MP11SEは3つの内部音色セクションを持っています。それぞれのセクションは専用のボリュームフェーダーを持ち、個別にON/OFFできます。

PIANO、E.PIANO、SUBの内部音色セクションは、それぞれ複数の音色を持っており、4つの音色カテゴリボタンとそれぞれのカテゴリに分類された複数のバリエーションを選択可能です。

PIANOとSUBセクションは専用のEFX(エフェクト)モジュールを1つずつ、E.PIANOセクションは、専用のEFXモジュールを2つと、さらにアンプシミュレーターを装備しています。

MIDI OUTセクションは4つの独立したゾーンに分かれています。内部音色同様、様々なエディットパラメータを設定、調整できます。

送受信チャンネル、MMC、鍵域、ノブアサイン等。

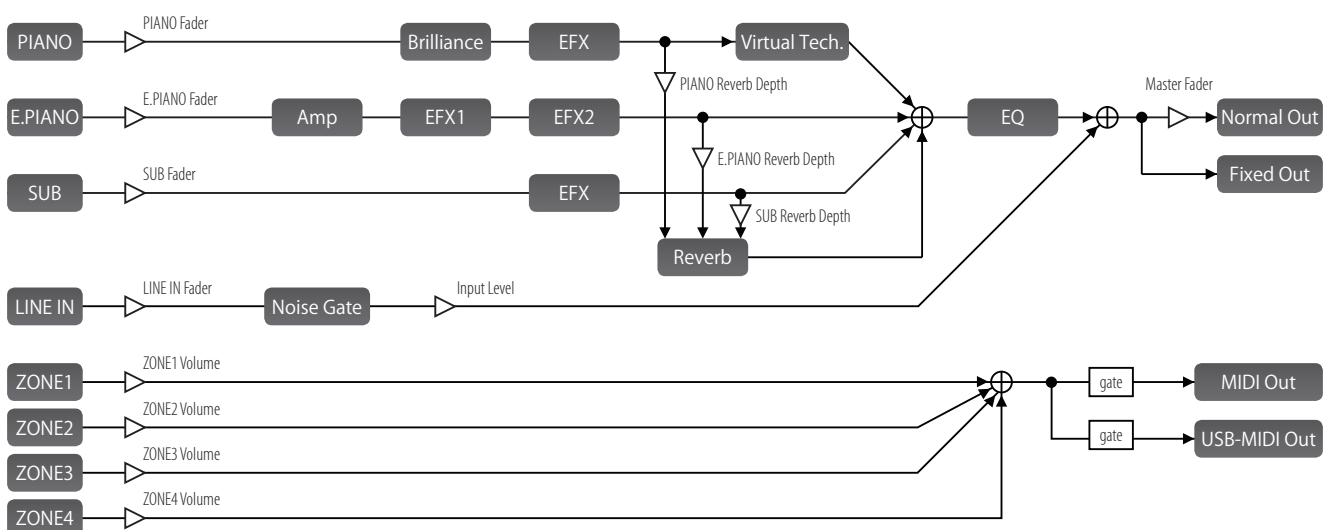
調整した各内部音色はそれぞれプリセット音色として記憶でき、目的の音色にカスタマイズすることができます。これら演奏セクションの設定は、208個のセットアップメモリに記憶することができます。

リバーブセッティングは各セクション共通であり、DEPTHをそれぞれのセクションごとにコントロールすることができます。

VOLUME マスターフェーダーはNORMAL出力とヘッドホン出力に効きます。通常、FIXED出力をPA機器に、NORMAL出力をキーボードアンプへと接続することで、PA機器への出力レベルを固定させたまま、ステージ上でのモニター音量を手元のマスターフェーダーで容易に調整できます。

■ 内部ブロック図

MP11SEの4つの演奏セクションの内部構造を示します。



基本操作

1 音色を選ぶ

MP11SEのPIANO、E.PIANO、SUBの3つの内部音色セクションは、それぞれ同じように操作することができます。このページでは、基本的な音色選択について説明します。

■ セクションをONにする

演奏したいセクションの[ON/OFF]ボタンを押して点灯させます。

[ON/OFF]ボタンの点灯しているセクションが発音状態です。

セクションがOFFになっていて、ディスプレイにそのセクションが表示されているときは音色名の前に*が付きます。

セクションがOFFになって
*SK Concert Grand

* Receive Mode (P. 104) で「Section」が選ばれている場合、MIDI入力はセクションのON/OFFに関わらず発音します。



■ 音色を選ぶ

PIANOセクションをONにして、その他のセクションをOFFにします。

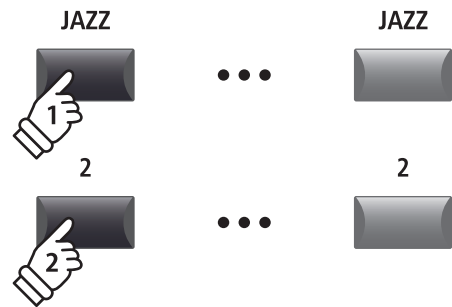
カテゴリボタンを押し、その次にバリエーションボタンを押します。

選択されたボタンが点灯し、そのカテゴリのリストがディスプレイにポップアップ表示されます。

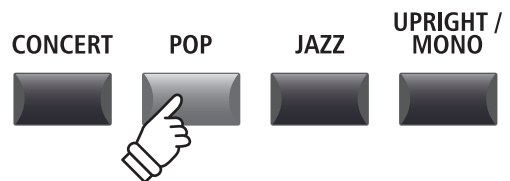
バリエーションリスト 選択した音色



異なるカテゴリ、バリエーションを選択すると、それに対応する音色に切り替わります。



例) Jazz Grandを選びます。
[JAZZ]ボタンを押し、バリエーション[2]ボタンを押します。

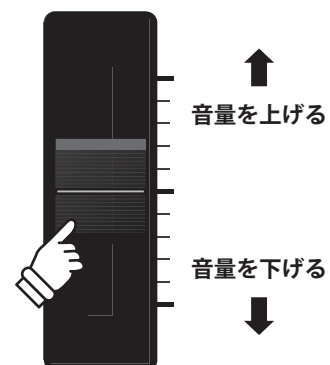


■ 音量を調整する

各セクションの[ON/OFF]ボタン下のボリューム・フェーダーにより、それぞれの音量を調整します。

そのセクションの音量が、他のセクションとは独立して増減します。

内部音色セクション全ての音量を同時に調整したい場合には、パネル左のボリュームフェーダーを調整してください。(P. 10をご確認ください)



2 ディスプレイ/コントロールノブ

通常の演奏モードでは、ディスプレイに選択されたセクションの音色名と4つのA、B、C、Dノブのパラメータが表示されています。

それぞれのノブの機能はエディットメニューで割り当てることができ、様々なパラメータを、4つのノブを使って演奏中リアルタイムにコントロールすることができます。さらに、PIANO、E.PIANO、SUBの3つの音色セクションとMIDI OUTセクションのZONE1～4の4ゾーンのノブ・パラメータはそれぞれ2つのグループを持ち、幅広いコントロールが可能です。

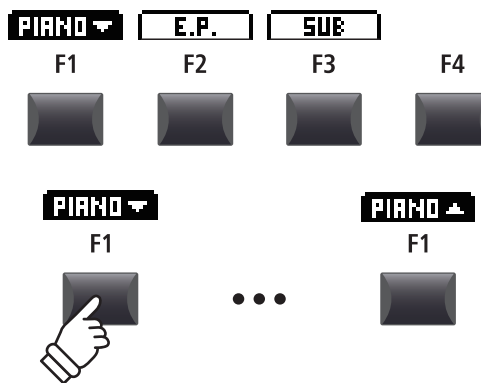


■ セクションとノブグループを選ぶ

ディスプレイ下のファンクション・ボタン[F1] [F2] [F3] [F4]を押して、目的のセクションの選択画面を表示させます。

選んだセクション名が反転し、選択中の音色のノブ・パラメータの第1グループが表示されます。

再度同じファンクション・ボタンを押すと、ノブ・パラメータの第2グループが表示されます。



■ 内部音色セクションとMIDI OUTセクションの切り替え

[INT/MIDI] ボタンを押すとディスプレイに表示される画面が内部音色設定とMIDIの設定が交互に切り替わります。

* MIDIゾーンについての詳細はP.35をご確認ください。

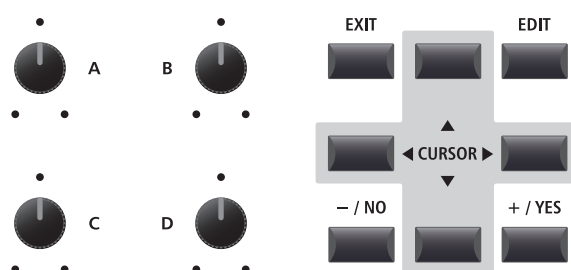


■ パラメータを調整する

ディスプレイ横の4つのコントロールノブを回して、表示されたノブ・グループのパラメータを調整します。

* それぞれのノブの機能はエディットメニューで割り当てることができます。(P.48の「7 Knob Assign(ノブアサイン)」参照)

[CURSOR] ボタンでカーソルを移動させ、[-/NO] [+ / YES] ボタンで、値を調整することもできます。



3 リバーブ (REVERB)

リバーブは、MP11SEの音に残響効果を加えます。MP11SEは6種類の高品位なリバーブを用意しています。

各音色セクションは、個別に[ON/OFF]ボタンがあり、DEPTH(リバーブの深さ)はセクションごとにコントロールできます。

* エディットメニューのREVERB Type/Pre Delay/Timeパラメータは全てのセクションに共通です。

■ リバーブタイプ

タイプ内容	説明
Room	小さな部屋での残響音をシミュレートしています。
Lounge	ラウンジの残響音をシミュレートしています。
Small Hall	小さなホールでの残響音をシミュレートしています。
Concert Hall	コンサートホールでの残響音をシミュレートしています。
Live Hall	ライブホールでの残響音をシミュレートしています。
Cathedral	大聖堂での残響音をシミュレートしています。

■ リバーブのON/OFF

目的のセクションの[REVERB]ボタンを押して、そのセクションのリバーブをON/OFFします。

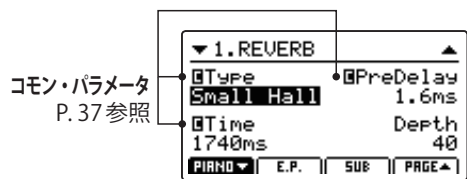
[REVERB]ボタンが点灯/消灯して、リバーブの現在の状態を示します。



■ リバーブタイプやその他のパラメータを変更する

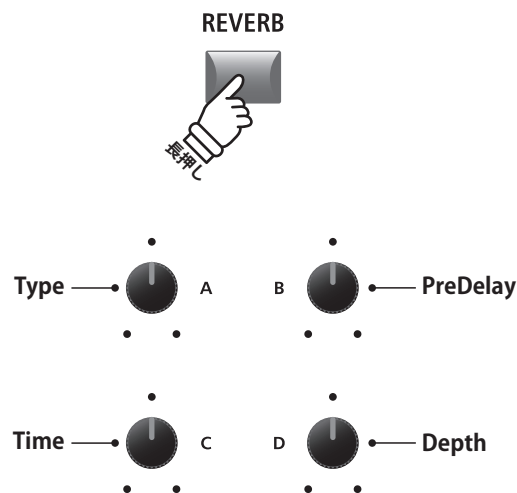
目的のセクションの[REVERB]ボタンを長押しします。

現在選ばれているセクションのエディットメニューのリバーブ設定ページがディスプレイに表示されます。



4つのコントロールノブを回して、リバーブ・タイプやその他のリバーブ・パラメータを調整します。

再度、[REVERB]ボタンを長押しして、設定ページから抜けます。



■ リバーブパラメータ

ノブ	パラメータ	説明	値
A	Type	リバーブの種類を選びます。	—
B	PreDelay	残響が始まるまでの時間を設定します。	0 ~ 200ms
C	Time	残響の長さを設定します。	300ms ~ 10s(タイプにより異なる)
D	Depth	残響の深さを設定します。	0 ~ 127

4 エフェクト (EFX)

リバーブ以外にも音色にさまざまな効果を加えることができます。MP11SEは129種類の高品位なエフェクトを用意しています。

PIANOセクションとSUBセクションは1つのエフェクトモジュールを、E.PIANOセクションは直列に接続された2つのエフェクトモジュールを持っています。

エフェクトタイプはカテゴリによって分類されています。

■ EFXカテゴリ

	カテゴリ	タイプ		カテゴリ	タイプ		カテゴリ	タイプ		カテゴリ	タイプ
1	Chorus	8	7	Delay/Rev	8	13	Groove	4	19	Enhancer+	8
2	Flanger	5	8	PitchShift	3	14	Misc.	2	20	P.Shift+	6
3	Phaser	6	9	Compressor	2	15	Chorus+	6	21	Comp+	8
4	Wah	6	10	OverDrive	3	16	Phaser+	6	22	OverDrive+	8
5	Tremolo	6	11	EQ/Filter	5	17	Wah+	6	23	Parallel	6
6	AutoPan	4	12	Rotary	5	18	EQ+	8	TOTAL		129

* 15～23はコンビネーションエフェクトです。詳細は付録ページでご確認いただけます。

■ エフェクトのON/OFF

目的のセクションの[EFX]ボタンを押して、そのセクションのエフェクトをON/OFFします。

[EFX]ボタンが点灯/消灯して、エフェクトの現在の状態を示します。

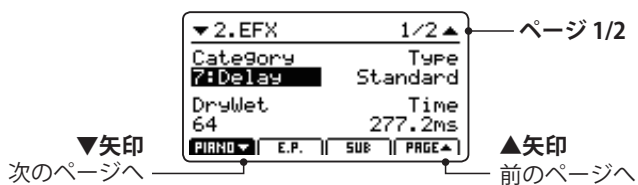
* E.PIANOセクションの[EFX1]と[EFX2]ボタンも同様にON/OFFできます。



■ エフェクト・タイプやその他のパラメータを変更する

目的のセクションの[EFX]ボタンを長押しします。

現在選ばれているセクションのエディットメニューのエフェクト設定ページがディスプレイに表示されます。

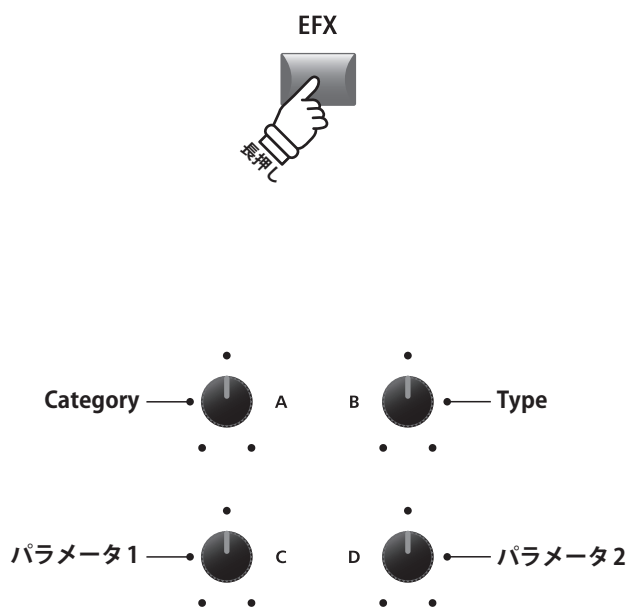


4つのコントロールノブを回して、エフェクトカテゴリ・タイプやその他のエフェクト・パラメータを調整します。

* エフェクトのパラメータの数はエフェクトタイプに依存します。

* [F1], [F2], [F3] (対応するセクション) または [F4] ボタンを押すと次のページに移動します。

再度、[EFX]ボタンを長押しし、設定ページから抜けます。



* ノブにアサインされるパラメータは表示されているページによって変化します。

5 アンプシミュレータ (E.PIANO セクション)

アンプやスピーカー・キャビネットの音色のキャラクターは、ビンテージエレピのサウンドにとって重要な要素です。MP11SEのアンプシミュレータは5つのアンプタイプと様々なパラメータを調整することができます。

■ アンプタイプ

アンプタイプ	説明
S. Case	スーツケースタイプのアンプで主にビンテージエレピに使用されます。
M. Stack	ポピュラーなスタックタイプの真空管アンプをシミュレートしています。
J. Combo	代表的なトランジスタアンプをシミュレートしています。
F. Bass	真空管ベース・アンプをシミュレートしています。
L. Cabi	ドローバーオルガン等に好んで使用されるアンプをシミュレートしています。

■ アンプシミュレータのON/OFF

E.PIANO セクションの[AMP] ボタンを押して、アンプシミュレータをON/OFFします。

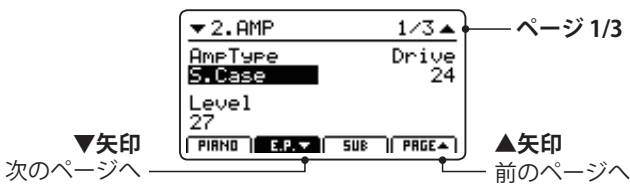
[AMP] ボタンが点灯/消灯して、アンプシミュレータの現在の状態を示します。



■ アンプタイプの変更とドライブ、レベルの調整

E.PIANO セクションの[AMP] ボタンを長押しします。

現在選ばれているセクションのエディットメニューのアンプ設定ページがディスプレイに表示されます。

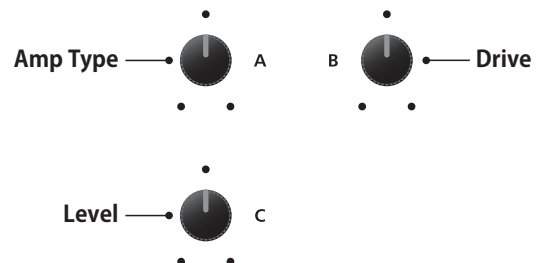


[A] [B] [C] のコントロールノブを回して、アンプ・タイプ、ドライブ、レベルを調整します。

* パラメータの詳細はP.23をご確認ください。

* [F2] または [F4] ボタンを押すと別のパラメータが表示されます。

再度 [AMP] ボタンを長押しして、設定ページから抜けます。



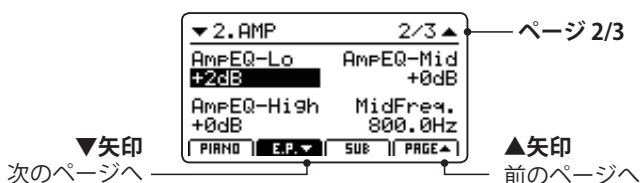
* 上のノブアサインは表示されているページによって変化します。

■ アンプシミュレータのパラメータ

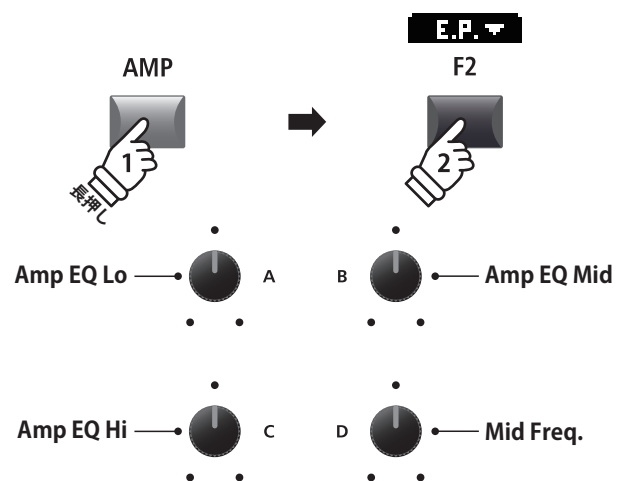
ページ	ノブ	パラメータ	説明	調整範囲
1	A	Amp Type	アンプタイプを変更します。	P. 22 参照
	B	Drive	アンプのドライブレベルを調整します。	0 ~ 127
	C	Level	アンプのボリュームを調整します。	0 ~ 127
2	A	Amp EQ Lo	アンプの低音域のゲインを調整します。	-10dB ~ +10dB
	B	Amp EQ Mid	アンプの中音域のゲインを調整します。	-10dB ~ +10dB
	C	Amp EQ Hi	アンプの高音域のゲインを調整します。	-10dB ~ +10dB
	D	Mid Frequency	アンプの中音域の中心周波数を調節します。	200Hz ~ 3150Hz
3	A	Mic Type	アンプの音を集音するマイクの種類を選択します。	Condencer/Dinamic
	B	Mic Position	マイクの配置を調整します。	OnAxis/OffAxis
	C	Ambience	遠くに配置されたステレオマイクのみキシング割合を調整します。	0 ~ 127

■ アンプシミュレータのパラメータ調整

E.PIANOセクションの[AMP]ボタンを長押しし、さらに[F2]ボタンを押すとアンプの調整ページの2ページ目のパラメータが画面に表示されます。



ノブ[A][B][C][D]を回すと、表示されているEQ Lo, Mid, HighのゲインとMidの周波数を調整することができます。

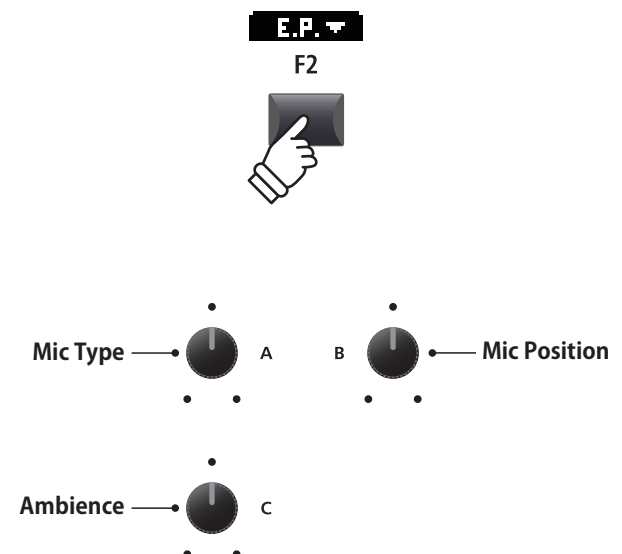


[F2] ボタンを再び押します。

アンプの調整ページの3ページ目が表示されます。



ノブ[A][B][C]を回すとマイクタイプ、ポジション、及びアンビエンスのパラメータを調整することができます。



6 キーレンジ (鍵域指定)

キーレンジの設定はそれぞれの音色セクションごとに可能です。

初期値はそれぞれの音色セクションで全鍵 (88key) 発音可能です。

鍵域 (UPPER/LOWER/ZONE) を指定することで、任意の鍵域のみ発音可能にすることができます。

■ 鍵域のタイプ

鍵域のタイプ	KEY RANGE LED	説明
FULL	全て消灯	対応するセクションは全鍵発音します。
LOWER	LOWER 点灯	鍵域は指定された鍵盤 (スプリットポイント) を境に2つのパートに分けられ、指定された鍵盤より下の鍵盤のみ発音します。
UPPER	UPPER 点灯	鍵域は指定された鍵盤 (スプリットポイント) を境に2つのパートに分けられ、指定された鍵盤より上の鍵盤のみ発音します。
ZONE	LOWER/UPPER 点灯	二つの指定された鍵盤 (ゾーン) の間のみ発音します。

■ 鍵域タイプの選択

[KEY RANGE] ボタンを押す度に別の鍵域タイプが選択されます。

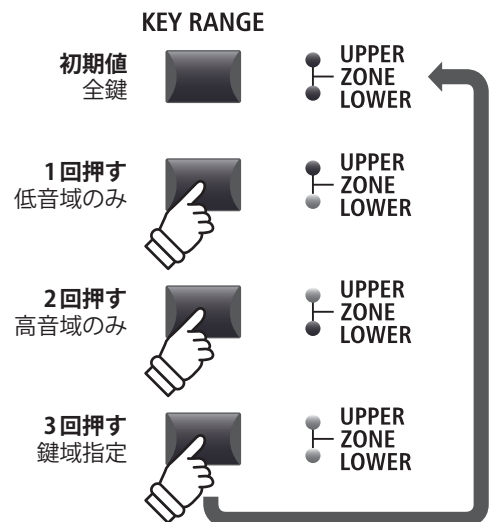
右の図のように4回押すと1巡します。

LED表示は選択されている鍵域タイプを示しています。

* スプリットポイントの初期値はF#3です。

* ZONEの場合、初期状態では全鍵発音します。

* スプリットポイントは全セクション共通のパラメータです。共通パラメータの詳細はP.37をご確認ください。

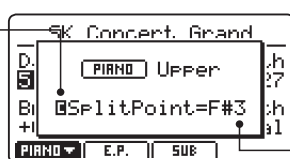


■ スプリットポイントを確認する

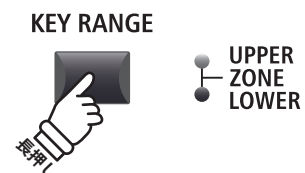
[KEY RANGE] ボタンでLOWERまたはUPPERを選んだ状態で[KEY RANGE] ボタンを長押ししてください。

現在のスプリットポイントがディスプレイに表示されます。

コモン・パラメータ
P.37 参照



現在指定されている
スプリットポイント
F#3



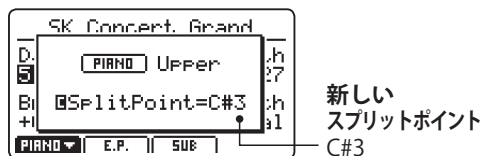
ボタンを離すと表示は消えます。

■ スプリットポイントを指定する

[KEY RANGE] ボタンでLOWERまたはUPPERを選んだ状態で:

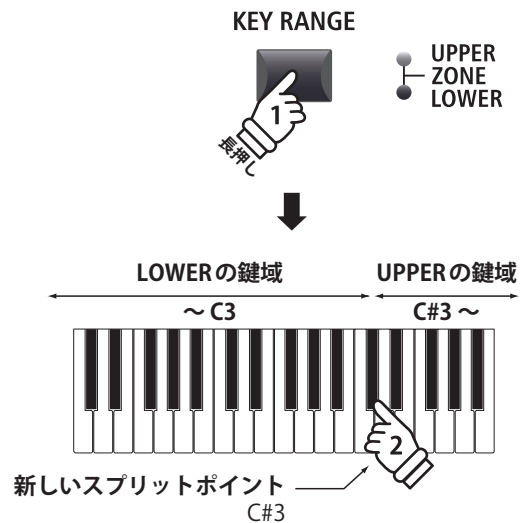
[KEY RANGE] ボタンを長押ししたまま、スプリットポイントにしたい鍵盤を押します。

押された鍵盤名がディスプレイに表示され、その鍵盤が新しいスプリットポイントになります。



[KEY RANGE] ボタンを離すとスプリットポイントの表示が消えます。

* スプリットポイントはすべての内部音色セクションとMIDIゾーンで共通です(コモンパラメータ)。詳細はP.37をご確認ください。



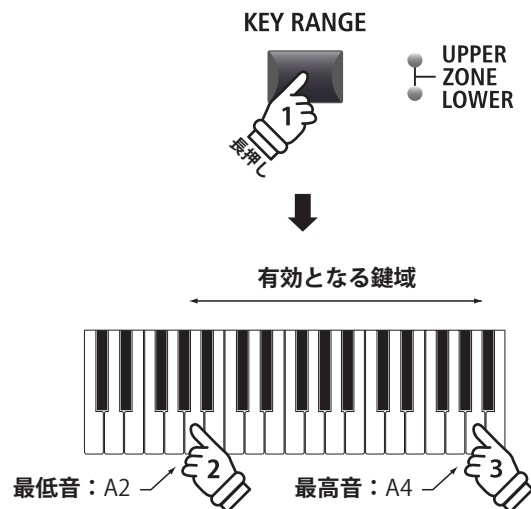
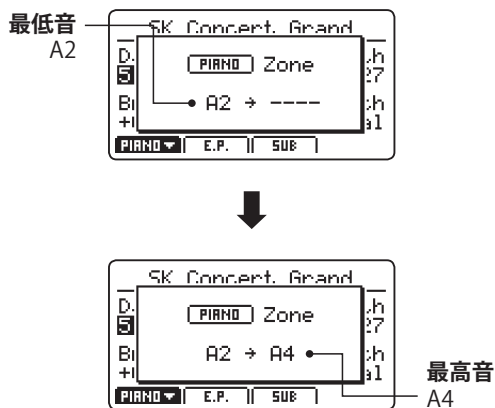
例) C#3をスプリットポイントにしたいときは[KEY RANGE] ボタンを長押しした状態でC#3の鍵盤を押します。

■ 鍵域(ゾーン)を指定する

[KEY RANGE] ボタンを押してZoneタイプ(UPPER/LOWER 点灯)を選んだ状態で:

[KEY RANGE] ボタンを長押しし、その状態で有効にしたい鍵域の最低音を押し、その次に有効にしたい鍵域の最高音を押します。

押された鍵盤名がディスプレイに表示され、その鍵域が新しいZONEになります。



例) A2-A4を有効鍵域(ZONE)に設定にしたいときは[KEY RANGE] ボタンを長押しした状態でA2(ZONEの最低音)を押し、次にそのままA4(ZONEの最高音)の鍵盤を押します。その後、[KEY RANGE] ボタンを離します。

[KEY RANGE] ボタンを離すと表示が消えます。

* 鍵域(ZONE)はセクションごとに指定することができます。KEY RANGEパラメータについての詳細はP.45をご確認ください。

* [KEY RANGE] ボタンを長押しすることで、現在指定されているZONEを確認することができます。

内部音色セクション/パラメータ

1 PIANO セクション

MP11SEのPIANOセクションは、CONCERT、POP、JAZZ、UPRIGHT/MONOの4つのカテゴリに配置された12個の異なるピアノ音色を用意しています。各ピアノ音色は、複数のマイクポジションにより膨大にサンプリングし、丁寧に調整されたカワイのコンサートグランドピアノEXを含むカワイのピアノ音色です。様々な音楽スタイルに適した秀逸なピアノ音色を搭載しています。

■ ピアノセクションの音色

カテゴリ	No.	音色名	説明
CONCERT	1	SK Concert Grand	カワイ最高峰のフルコンサートグランドピアノSK-EX。輝きのあるクリアな音色、豊潤な低音が特長です。
	2	EX Concert Grand	ピアノコンクールで活躍してきたフルコンサートグランドピアノ。華麗さと品格に満ちた流麗な音色が特長です。
	3	SK-5 Grand	中型のグランドピアノ。豊かで深みのある低音と、エレガントで艶やかな音色、粒立ち良い音の立ち上がりが特長です。
POP	1	Pop Piano	ポピュラーミュージックに適したマイクポジションで収録した明るく刺激的なグランドピアノ音色です。
	2	EX Studio Grand	スタジオ用に調整したEX Concert Grand。明るく力強い音色が特徴です。
	3	SK-5 Studio Grand	スタジオ用に調整したSK-5。力強くはっきりした音色でポップス曲に最適です。
JAZZ	1	SK Jazz Grand	スタジオ用に調整したSK Concert Grand。太くてクリアな音色が特長です。
	2	Jazz Grand	トラディショナルジャズに適したマイクポジションで収録したグランドピアノ。暖かく力強い音色が特徴です。
	3	Standard Grand	クリアなコンサートグランド音色です。
UPRIGHT / MONO	1	Upright Piano	アップライトピアノ音色です。
	2	Mono SK Grand	モノラルのSK Concert Grandです。
	3	Mono EX Grand	モノラルのEX Concert Grandです。

■ PIANO セクションのバーチャルテクニシャンについて

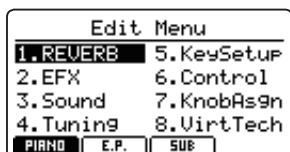
調律はアコースティックピアノには欠くことができません。調律師は調律/整調/整音作業により、ピアニストの趣好に合わせてピアノの調整をします。

PIANOセクションのバーチャルテクニシャン・パラメータはこれらの作業をシミュレートし、演奏者の好みに近いピアノに調整することができます。

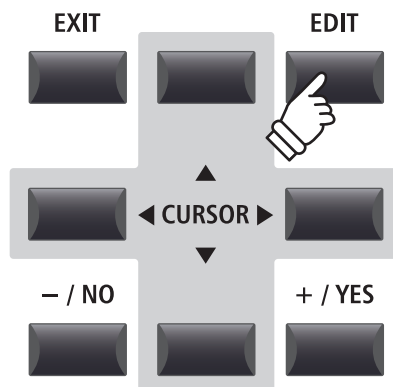
■ バーチャルテクニシャンのエディットメニューに入る

PIANO セクションを選んだ状態で([F1] ボタンを押した状態で) [EDIT] ボタンを押します。

PIANO セクションのエディットメニューがディスプレイに表示されます。



十字カーソルボタンを押して8.VirtTechを選択し、[+/YES] ボタンを押してバーチャルテクニシャンのパラメータページに移動します。



■ バーチャルテクニシャンのパラメーター一覧

ページ	ノブ	パラメータ	説明	値
1	A	Voicing	弦を叩くハンマーの状態(硬さ)を調整します。	下部参照
	B	String Resonance	ピアノの弦の共鳴効果の量を調整します	OFF, 1 ~ 10
	C	Undamped Resonance	開放弦の共鳴効果の量を調整します。	OFF, 1 ~ 10
	D	Damper Resonance	ダンパーを踏んだときのピアノ全体の共鳴効果の量を調整します。	OFF, 1 ~ 10
2	A	Key-off Effect	鍵盤を強く弾いてから離れたときにダンパーが弦に触れる音の音量を調整します。	OFF, 1 ~ 10
	B	Damper Noise	ダンパーを踏んだときと離れたときに発生する音の音量を調整します。	OFF, 1 ~ 10
	C	Hammer Delay	鍵盤を弾いてからのハンマーが動作する際の遅れ(タイミング)を調整します。	OFF, 1 ~ 10
	D	Fall-back Noise	鍵盤アクションが戻る際の音の音量を調整します。	OFF, 1 ~ 10
3	A	Topboard	大屋根の開き具合を調整します。	下部参照
	B	Stereo Width	ピアノ・サウンドの左右の拡がり調整します。	0 ~ 127
	C	Brilliance	ピアノの音色の明るさ(艶)を調整します。	-10dB ~ +10dB

* Voicingのタイプ: Normal, Mellow1, Mellow2, Dynamic, Bright1, Bright2, User1 ~ 5
Topboardのタイプ: Close, Open1, Open2, Open3

* バーチャルテクニシャンパラメータについての詳細はP. 49をご確認ください。

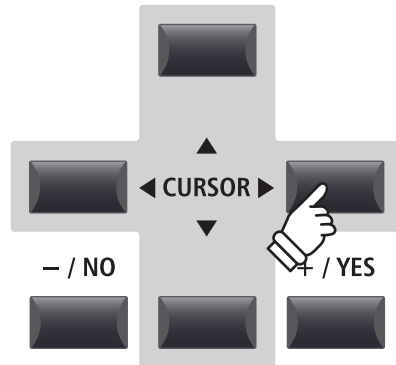
1 PIANO セクション (続き)

■ バーチャルテクニシャンのパラメータを調整する

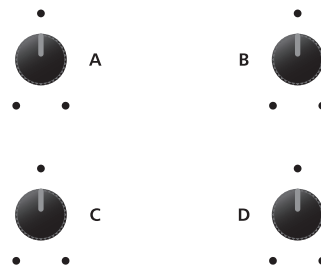
バーチャルテクニシャンのパラメータ表示画面で十字カーソルボタンでパラメータを選択します。

* カーソルの上下ボタンまたは[F1]、[F4]ボタンでページを移動することができます。

[+/YES] ボタン、[-/NO] ボタンを押すことで値を増減(調節)することができます。

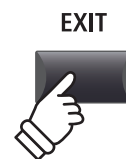


または



また、ノブ[A] [B] [C] [D]を回すことでも画面上で対応する値を調整することができます。

[EXIT] ボタンを押すことでエディットメニューに戻ります。



2 E.PIANO セクション

MP11SEのE.PIANOセクションは、TINE、REED、MODERN、E.GRAND/CLAVIの4つのカテゴリに配置された12個の異なるエレクトリックピアノサウンドを用意しています。

各エレクトリックピアノサウンドは、キーオフ時のレスポンスまでオリジナルのビンテージ楽器を忠実に再現、ビンテージエレピのリアルなサウンドをお楽しみいただけます。

* ビンテージエレピ特有のキーオフノイズの音量とタイミングを調整することができます。(P. 50の「Key-Off Noise/Key-Off Delay (E.PIANOセクション)」参照)

また、最大2つまで使用可能なエフェクトと、アンプやスピーカーキャビネットのシミュレーションが、豊かなサウンドを生み出します。

■ E.PIANO セクションの音色

カテゴリ	No.	音色名	説明
TINE	1	Tine EP 1	金属片をハンマーでたたくタイプのエレクトリックピアノです。
	2	Tine EP 2	金属的なアタックを強調し、より明るい音へ調整されたモデルのサウンドです。
	3	Tine EP 3	明るいアタックを持ったエレピサウンドです。
REED	1	Reed EP 1	振動板をハンマーで叩いて発音する構造の代表的なエレクトリックピアノサウンドです。
	2	Reed EP 2	強打したときに独特の歪み気味のトーンを持つ、明るい音に調整されたサウンドです。
	3	Reed EP 3	中音域を強調し、より暖かい音に調整されたサウンドです。
MODERN	1	Modern EP 1	TINE EP タイプの音を電子的に再現した、典型的なシンセエレピ音色です。
	2	Modern EP 2	豊かな響きを持つシンセエレピ音色です。
	3	Modern EP 3	より暖かいサウンドのシンセエレピ音色です。
E.GRAND / CLAVI	1	Electric Grand	強いアタック音を持つエレクトリックグランドピアノです。
	2	Clavi 1	ファンクミュージックに適したセッティングのキーボードサウンドです。
	3	Clavi 2	よりナチュラルなピックアップのセッティングのクラビサウンドです。

■ アンプシミュレータとバーチャルテクニシャンについて

P. 22に説明されている通り、E.PIANOセクションはアンプシミュレータを使用することができます。様々なタイプのアンプシミュレータがあり、EQやマイクセッティングを調整することにより好みの音色を作り出すことができます。また、E.PIANOセクションのバーチャルテクニシャンは鍵盤を離れたときの音を調整することができます。これはビンテージエレクトリックピアノの動作をリアルにシミュレートしたものです。

■ アンプシミュレータのパラメータ

P. 23に詳細の記述がありますのでご確認ください。

■ バーチャルテクニシャンのパラメータ (E.PIANOセクション)

ページ	ノブ	パラメータ	説明	値
1	A	Key-off Noise	鍵盤を離れたときの音の大きさを調整します。	OFF, 1 ~ 127
	B	Key-off Delay	鍵盤を離れたときの音が聞こえるまでの遅れ(時間)を調整します。	0 ~ 127

* 詳細はP. 50をご確認ください。

■ バーチャルテクニシャンの値を調整する

P. 28をご確認ください。

3 SUB セクション

MP11SEのSUBセクションは、STRINGS、PAD、HARPSI/MALLET、BASSの4つのカテゴリに、16種類の音色を用意しています。

これらの音色はPIANO、E.PIANOセクションの音と重ねて演奏したり、スプリット(ゾーン)指定して他の音色と合わせて演奏するのに向いています。もちろん、単音色での演奏もできます。

■ SUBセクションの音色

カテゴリ	No.	音色名	説明
STRINGS	1	String Ensemble	リッチな低音の響きを持つストリングアンサンブル音色です。
	2	Beautiful Str.	スローなアタックを持ち、ピアノとの組み合わせに最適なストリング音色です。
	3	String Pad	美しいストリングパッド音色です。
	4	Warm Strings	穏やかで低音感のあるストリング・アンサンブル音色です。
PAD	1	Pad 1	鋸歯状波で作られた明るいシンセパッドです。
	2	Pad 2	ゆったりとした厚みのあるシンセパッド音色です。
	3	Pad 3	矩形波をベースにしたシンセパッド音色です。
	4	Pad 4	ベルアタックを持つシンセパッド音色です。
HARPSI / MALLET	1	Harpsichord	ステレオ・ハーブシコード音色です。
	2	Vibraphone	温かいサウンドのビブラフォン音色です。
	3	Celesta	可憐なチェレスタ音色です。
	4	Marimba	標準的なマリンバ音色です。
BASS	1	Wood Bass	低音感があり、歌やピアノのバックに適したウッドベース音色です。
	2	Finger Bass	典型的なエレクトリックベース音色です。
	3	Fretless Bass	フレットのないエレクトリックベース音色です。
	4	Wood Bass & Ride	ライドシンバルと共にウッドベース音色が演奏できます。

■ SUBセクションのバーチャルテクニシャンについて

ハーブシコードまたはベース音色が選ばれているとき、SUBセクションのバーチャルテクニシャンは離鍵時、離弦時の音をシミュレートします。

■ バーチャルテクニシャンのパラメータ (SUBセクション)

ページ	ノブ	パラメータ	説明	値
1	A	Key-off Noise	鍵盤を離したときの音の大きさを調整します。	OFF, 1 ~ 127
	B	Key-off Delay	鍵盤を離したときの音が聞こえるまでの遅れ(時間)を調整します。	0 ~ 127

* 上記のパラメータはHarpsicordまたはBass音色を選択したときのみ有効です。

* SUBセクションのバーチャルテクニシャンパラメータの詳細はP. 50をご確認ください。

■ バーチャルテクニシャンのパラメータを調整する

P. 28をご確認ください。

GLOBAL セクション

1 EQ

EQでは、内部音色セクションに対して、4バンドのイコライジング調整ができます。

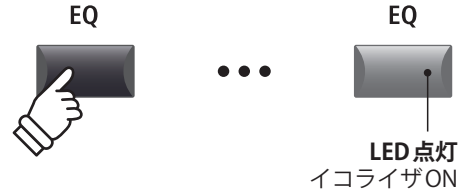
更に中音域の2バンドはパラメトリック・イコライザとして中心周波数とQ値を調整できます。

イコライザの設定は、全ての内部音色セクションに共通です。

■ EQのON/OFF

[EQ] ボタンを押して、イコライザをON/OFFします。

[EQ] ボタンが点灯/消灯して、イコライザの現在の状態を示します。



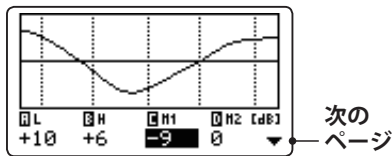
■ EQのパラメータ

ページ	ノブ	パラメータ	説明	値
1	A	Low Gain	低音域 (20 ~ 100Hz) のゲインを調整します。	-10dB ~ +10dB
	B	High Gain	高音域 (5k ~ 20kHz) のゲインを調整します。	-10dB ~ +10dB
	C	Mid1 Gain	中音域1 (200 ~ 3150Hz・可変) のゲインを調整します。	-10dB ~ +10dB
	D	Mid2 Gain	中音域2 (200 ~ 3150Hz・可変) のゲインを調整します。	-10dB ~ +10dB
2	A	Mid1 Q	中音域1のQ値(帯域幅)を設定します。	0.5 ~ 4.0
	B	Mid2 Q	中音域2のQ値(帯域幅)を設定します。	0.5 ~ 4.0
	C	Mid1 Freq.	中音域1の中心周波数を調整します。	200Hz ~ 3150Hz
	D	Mid2 Freq.	中音域2の中心周波数を調整します。	200Hz ~ 3150Hz

■ EQのパラメータの調整

[EQ] ボタンを長押しします。

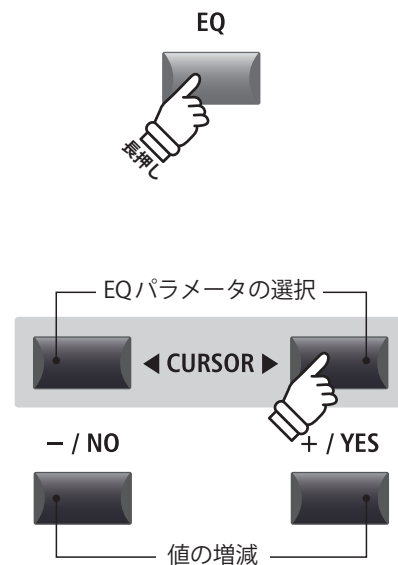
周波数特性を表すページがディスプレイに表示されます。
(ゲイン調整のページ)



カーソルの左右ボタンを押して調整したいEQパラメータを選択し、[+ / YES] ボタンまたは[- / NO] ボタンを押して値を調整します。

また、ノブ[A] [B] [C] [D]を回すことでも画面上で対応する値を調整することができます。

* [F1] ~ [F4] ボタンはパラメータ選択にも使用できます。また、選択されているパラメータに対応する[F1] ~ [F4] ボタンを再度押しすと、帯域・周波数設定ページに移動します。

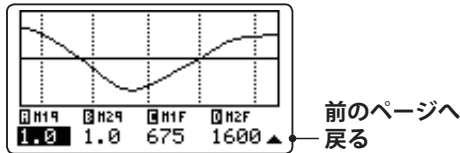


1 EQ(続き)

■ EQのパラメータの調整(続き)

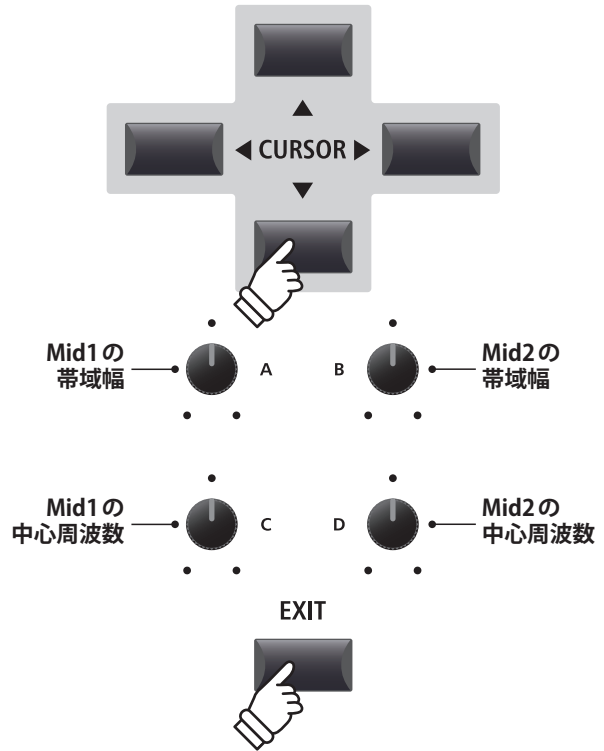
EQのゲイン調整ページが表示されている状態でカーソルボタンの[▼]ボタンを押します。

帯域・周波数設定ページがディスプレイに表示されます。



カーソルの左右ボタンを押して調整したいEQパラメータを選択し、[+ / YES]ボタンまたは[- / NO]ボタンを押して値を調整します。

また、ノブ[A][B][C][D]を回すことでも画面上で対応する値を調整することができます。



[EXIT]ボタンを押すと、メイン画面に戻ります。

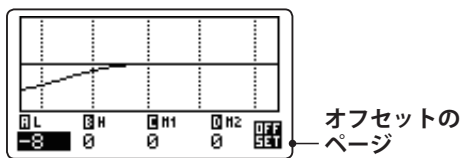
■ EQ Offsetへのショートカット

EQ Offsetはシステムメニューのパラメータで、EQで設定された値を補正(オフセット)する機能です。設定されたEQを変更することなく、システム全体のEQを補正することで、演奏環境に合わせてEQ設定を調整することができます。このショートカット機能により、EQオフセット機能の調整ページに移動することができます。EQ OffsetのON/OFFはシステムメニュー内にあります。

ショートカットの方法：

[EQ]ボタンを長押ししたまま[F1]～[F4]ボタンを押します。

EQ Offsetの画面がディスプレイに表示されます。

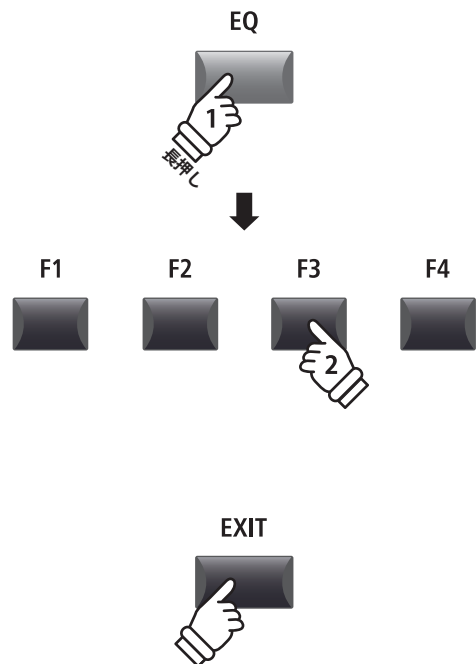


EQ OffsetパラメータはEQパラメータの調整方法と同じです。

* EQ Offsetで調整された値はGlobalセクションのEQで設定された値に加算されます。(-10dB～+10dBを最大とする)

[EXIT]ボタンを押すとEQ画面に戻ります。

再度[EXIT]ボタンを押すと、メイン画面に戻ります。



2 Transpose

トランスポーズ(移調)機能を使って、本機全体の音程を半音単位で変更することができます。

キー(調)の異なる楽器とのアンサンブル演奏や歌の伴奏をするときにとても便利です。弾く鍵盤を変えずに簡単に移調できます。

■ トランスポーズのON/OFF

[TRANSCOPE] ボタンを押して、トランスポーズをON/OFFします。

[TRANSCOPE] ボタンが点灯/消灯して、トランスポーズの現在の状態を示します。

* トランスポーズがOFFされた後もトランスポーズ値を覚えていますが、[TRANSCOPE] ボタンのON/OFFで簡単に設定した調に切り換えることができます。

* 値が0(初期値)のときは、点灯しません。

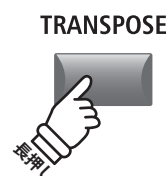


■ トランスポーズの値を表示させる

[TRANSCOPE] ボタンを長押しします。

現在のトランスポーズの値がディスプレイに表示されます。

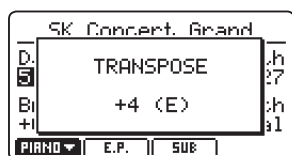
* 値が0(初期値)のときは、トランスポーズはかかりません。



■ トランスポーズ値の設定：方法

[TRANSCOPE] ボタンを押さえたまま、[-/NO] [+ /YES] ボタンを押して、半音単位でトランスポーズ値を増減します。

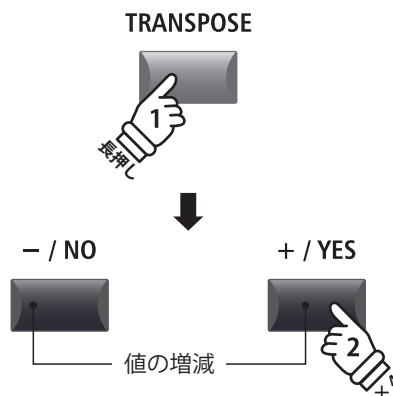
* トランスポーズ値は、-24 ~ +24(4オクターブ)の範囲で設定できます。



[TRANSCOPE] ボタンが点灯/消灯して、トランスポーズの現在の状態を示します。

* トランスポーズ設定画面で[-/NO] [+ /YES] ボタンを同時押しすると、トランスポーズ値は0へ戻ります。

* トランスポーズの値はシステムに自動的に保存されますが、ON/OFFの状態は保存されません。



例) 4半音分、移調(上げる)したい場合
[TRANSCOPE] ボタンを長押しし、押したまま [+ /YES] ボタンを4回押し、[TRANSCOPE] ボタンを離します。

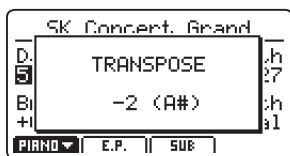
2 Transpose (続き)

■ トランスポーズ値の設定：方法2

[TRANSCOPE] ボタンを押さえたまま、中央のC(ド)の左右の鍵盤を押さえます。

押さえた鍵が、新たなトランスポーズ値となります。

* トランスポーズ値は、-24 ~ +24 (4オクターブ) の範囲で設定できます。



[TRANSCOPE] ボタンが点灯/消灯して、トランスポーズの現在の状態を示します。

* トランスポーズ設定画面で [-/NO] [+/YES] ボタンを同時押しすると、トランスポーズ値は0へ戻ります。

* トランスポーズの値はシステムに自動的に保存されますが、ON/OFFの状態は保存されません。

TRANSCOPE



-24 ← 0 → +24



例) 2半音分、移調(下げる)したい場合
[TRANSCOPE] ボタンを長押しし、押したまま中央のCの下のA# 鍵を押し、[TRANSCOPE] ボタンを離します。

MIDI OUT セクション

MP11SEのMIDI OUTセクションは外部MIDI機器をコントロールするための独立して調節可能な4つのゾーンを備えています。

MIDIチャンネルを各ZONEに割り当て、4つのリアルタイムコントロールノブでパラメータ調整ができます。

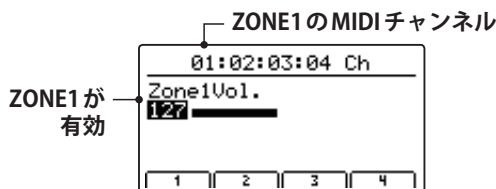
初期設定ではそれぞれのZONEは88鍵全てが発音しますが、内部音色セクションと同様に、有効となる鍵域 (UPPER/LOWER/ZONE) を指定をして出力することができます。

■ MIDI ZONEのON/OFF

MIDI OUTセクションの[ZONE]ボタンを押します。

ボタンを押す度にそのZONEがON/OFFします。
(LEDが点灯・消灯します)

アクティブなZONEとそれぞれのMIDIチャンネルがディスプレイに表示されます。



上記はMIDI ZONEの値を表示した画面で、ZONEをON/OFFすると自動的に表示されます。



例) ZONE1を有効にしたい場合、
[ZONE1]ボタンを押します。

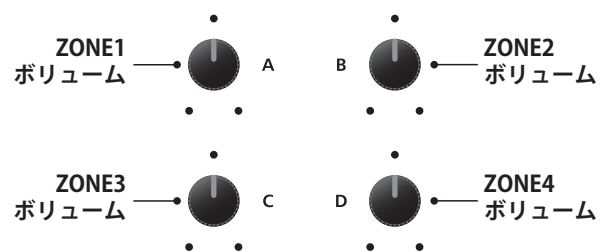
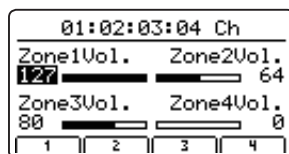
* ZONE1 ~ 4にアサインされているMIDI CHの初期値は01, 02, 03, 04です。それぞれのチャンネルの設定変更方法はP. 51をご確認ください。

■ ZONE ボリュームの調整

任意のZONEがONでMIDIゾーンボリューム調整画面がディスプレイに表示された状態で:

コントロールノブ[A] [B] [C] [D]を回すと、対応したZONEのボリュームが調整できます。

* 調整範囲は0 ~ 127です。

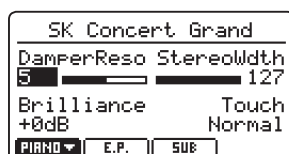
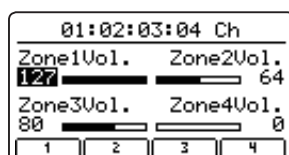


* カーソルボタンと[+/YES] [-/NO]ボタンを使用しても調整可能です。

■ 音色セクションの画面とMIDI OUTセクションの画面の切り替え

[INT/MIDI] ボタンを押す度に、音色セクション設定画面とMIDI OUTセクション設定画面が切り替わります。

INT / MIDI



MIDI OUT セクション

■ ZONE パラメータの調整 (MIDI コントロールチェンジ)

MIDI ZONE ボリューム調整画面から：

[F1] ～ [F4] ボタンを押します。

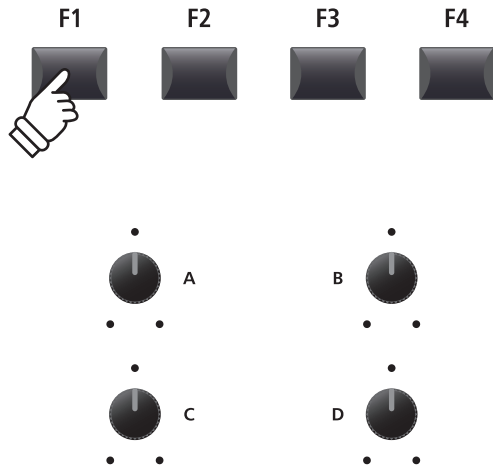
選ばれた ZONE の MIDI コントロールチェンジの画面がディスプレイに表示されます。



各ノブ[A] [B] [C] [D]を回すことで、それぞれに設定されたコントロールチェンジのパラメータを送信することができます。

* ノブに割り当てるコントロールチェンジについての詳細は P. 58 をご確認ください。

* 現在選択されている ZONE に対応した [F1] ～ [F4] ボタンを押すと、パラメータの 2 ページ目に切り替わります。

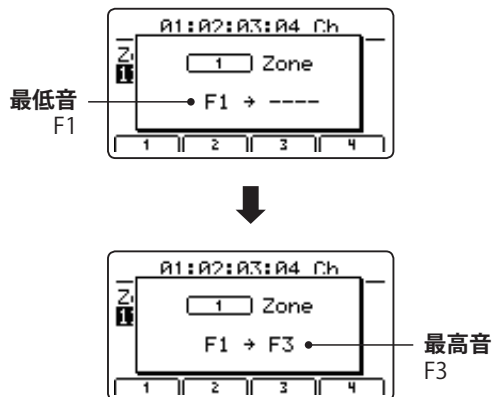


* カーソルボタンと [+ / YES] [- / NO] ボタンを使用しても調整できます。

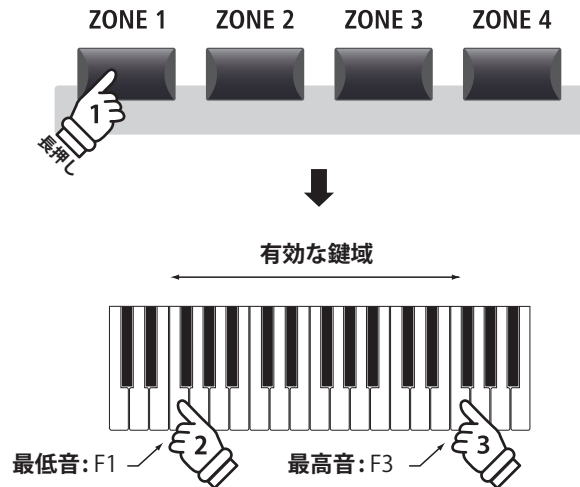
■ MIDI ZONE の鍵域指定

[ZONE] ボタンを長押しし、その状態で有効にしたい鍵域の最低音を押し、その次に有効にしたい鍵域の最高音を押しします。

その際、LCD には鍵域が表示されます。



* 鍵域指定をリセット (88 鍵が有効に) するには [ZONE] ボタンを長押しした状態で、鍵盤の最低音を押し、その後最高音を押しします。



例) ZONE1 の鍵域を F1 ～ F3 に設定する。
[ZONE1] を長押ししたまま、最初に F1 鍵を押し、その後 F3 鍵を押します。

■ LOCAL OFF (ローカルオフ) ボタン

[LOCAL OFF] ボタンを押して点灯させると、MP11SE の鍵盤と内部音源の接続が遮断されます。

通常は [LOCAL OFF] ボタンを消灯させて、MP11SE の鍵盤と内部音源を接続させます。

外部機器のエコーバック (ソフトスルー) 機能がオンになっている場合、[LOCAL OFF] ボタンを点灯させて、ローカルオフの状態にしてください。

演奏した音の二重発音を防ぐことができます。



エディットメニューの概要 (PIANO, E.PIANO, SUB)

エディットメニューには、MP11SEの内部音色セクションの設定を変更することができる様々なパラメータがあります。パラメータはカテゴリごとにまとめられており、目的のパラメータへのアクセスが容易です。

* エディットメニューはMIDI OUTセクションにも使用することが可能です。(P. 53 をご確認ください)

このパラメータ群は、他の調整可能な設定とともにセットアップメモリに保存できます (P. 60の「ストアセットアップ」参照)。MP11SEは、26バンク×8セットアップの合計208セットアップメモリを用意しています。

■ コモンパラメータ (Eアイコン) について

基本的に、PIANO、E.PIANO、SUBの3つの内部音色のパラメータの設定は、それぞれのセクションに独立に効きますが、Eアイコンで印の付けられたパラメータは、3セクション共通のパラメータです。

例えば、E Reverb Typeをピアノセクションで変更すると、自動的にE.PIANOセクションとSUBセクションのReverb Typeパラメータも変更されます。さらに、E Split Pointは全ての内部音色セクションとMIDI ZONEで共通です。

■ PIANO/E.PIANO/SUB セクションのパラメータ

No.	カテゴリ	パラメータ
1	REVERB	E Type, E Pre Delay, E Time, Depth
2	EFX	Category, Type, Parameters (prm1~prm10, depending on EFX type)
	AMP	Amp Type, Drive, Level, Amp EQ Lo, Amp EQ Mid, Amp EQ Hi, Mid Freq., Mic Type, Mic Position, Ambience
3	Sound	E Master Volume, Panpot, Filter Cut-off, Filter Resonance, DCA Attack Time, DCA Decay Time, DCA Sustain Level, DCA Release Time, DCF Attack Time, DCF Attack Level, DCF Decay Time, DCF Sustain Level, DCF Release Time, DCF Touch Depth, DCA Touch Depth, Vibrate Depth, Vibrate Rate, Vibrate Delay, Octave Layer Switch, Octave Layer Level, Octave Layer Range, Octave Layer Detune, Layer Vocal, Layer Bell, Layer Air
4	Tuning	Fine Tune, Stretch Tuning, Temperament, Key of Temperament
5	Key Setup	Touch Curve, Dynamics, Key Volume, Minimum Touch, Octave Shift, Zone Transpose, Key Scaling Damping, Key Scaling Key, Key Range Type, E Split Point, Key Range Zone Lo, Key Range Zone Hi
6	Controllers	Right Pedal, E Right Pedal Assign, Damper Pedal Mode, Center Pedal, E Center Pedal Assign, Left Pedal, E Left Pedal Assign, Pitch Bend, Pitch Bend Range, Soft Pedal Depth, Modulation Wheel, Modulation Wheel Assign, Modulation Depth Range, Foot Switch Pedal, E Foot Switch Pedal Assign, Expression Pedal, E Expression Pedal Assign
7	Knob Assign	Knob A Assign, Knob B Assign, Knob C Assign, Knob D Assign, Knob2 A Assign, Knob2 B Assign, Knob2 C Assign, Knob2 D Assign
8	Virtual Technician	PIANO: Voicing, String Resonance, Undamped Resonance, Damper Resonance, Key-off Effect, Damper Noise, Hammer Delay, Fall-back Noise, Topboard, Stereo Width, Brilliance E.PIANO/SUB*: Key-off Noise, Key-off Delay

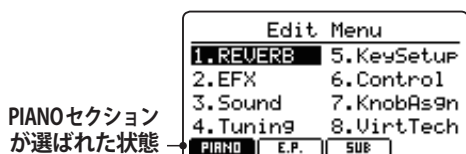
* SUBセクションのバーチャルテクニシャンパラメータはHarpichordとBass音色にのみ有効です。

■ エディットメニューに入る

PIANO/E.PIANO/SUBのどれかが選ばれた状態で：

[EDIT] ボタンを押します。

[EDIT] ボタンのLEDが点灯し、選ばれているセクションのエディットメニューがディスプレイに表示されます。



PIANOセクションが選ばれた状態

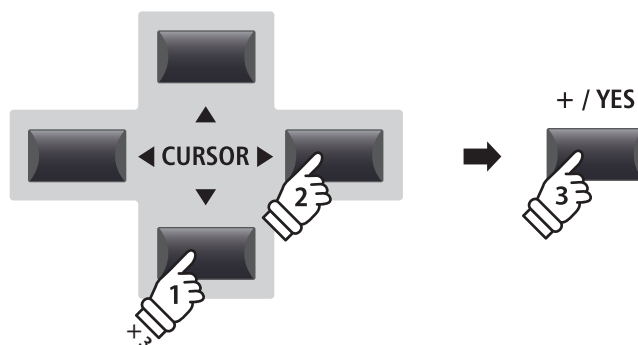
* セクションを変更するには[F1] ~ [F3] ボタンを押します。

エディットメニューの概要 (PIANO, E.PIANO, SUB)

■ パラメータのカテゴリを選択する

エディットメニュー画面を表示した状態で：

十字カーソルボタンを押して設定したいカテゴリに移動し、[+ / YES] ボタンを押してそのカテゴリを選択します。



例) バーチャルテクニシャンカテゴリを選択するには、カーソル[▼]ボタンを3回押し、その後カーソル(◀)を一度押し、[+ / YES] ボタンを押します。

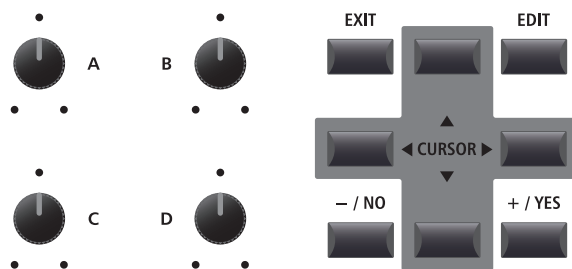
■ パラメータの調整

パラメータのカテゴリを選択した状態で：

各ノブ[A] [B] [C] [D]を回すことで、それぞれに設定されたパラメータを調整することができます。

また、パラメータは十字カーソルと[+ / YES] [- / NO] ボタンでも調整することが可能です。

[EXIT] ボタンを押すとカテゴリ選択画面に戻り、もう一度押すとメイン画面に戻ります。



⚠ 他の音色を選ぶと、パラメータの設定内容は失われてしまいますのでご注意ください。
* 設定した内容は、[STORE] ボタンを使って本体のメモリに保存します。(P. 59の「STORE ボタン」参照)

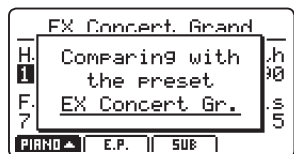
■ クイックコンペア

選択中のバリエーションボタンを押すと、“クイックコンペア”機能により、エディット中の音色と保存されている元の音色と、即座に比較することができます。

エディットモード中に：

現在調整している音色ボタンを押します。

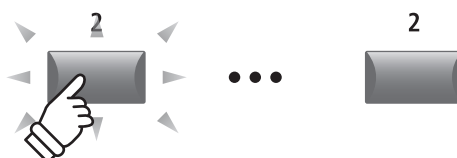
バリエーションボタンのLEDが点滅し、調整前の音色で発音します。



再度バリエーションボタンを押すと点滅が点灯に戻り、調整中の音色で発音します。



例えば、EX Concert Grand (PIANO セクション、CONCERT カテゴリ、バリエーション2)の調整中に比較する場合は、PIANO セクションのバリエーション[2]ボタンを押します。
[2]ボタンが点滅し、鍵盤を弾くと、保存されている調整前の音色が発音します。
再度、[2]ボタンを押すと、点滅が点灯に戻り、調整中の音色に戻ります。



エディットメニューのパラメータ (PIANO, E.PIANO, SUB)

1 Reverb (リバーブ)

1. Type (タイプ)

6タイプ

リバーブタイプを選びます。

- * 詳細はP. 20をご確認ください。
- * このパラメータは3つの内部音色セクション全てに共通です。
- * このパラメータはSOUNDには保存されません。(SETUPには保存可能です)

2. Pre Delay (プリディレイ)

VALUE : 0 ~ 200ms

リバーブの残響効果が開始するまでの遅延時間を調整します。

- * 詳細はP. 20をご確認ください。
- * このパラメータは3つの内部音色セクション全てに共通です。
- * このパラメータはセットアップ (SETUP) にのみ保存され、各音色のリセット (SOUND) には保存されません。

3. Time (タイム)

VALUE : 300ms ~ 10.0s

リバーブの残響時間を調整します。

- * 詳細はP. 20をご確認ください。
- * このパラメータは3つの内部音色セクション全てに共通です。
- * このパラメータはセットアップ (SETUP) にのみ保存され、各音色のリセット (SOUND) には保存されません。

4. Depth (デプス)

VALUE : 0 ~ 127

リバーブの残響効果の深さを調整します。

- * 詳細はP. 20をご確認ください。

2.1 EFX (エフェクト)

1. Category (カテゴリ)

23カテゴリ

エフェクトのカテゴリを選びます。

- * 詳細はP. 21をご確認ください。
- * E.PIANO セクションは [EFX1] と [EFX2] の2ページがあります。

2. Type (タイプ)

129タイプ

エフェクト・タイプを選びます。

- * 詳細はP. 21をご確認ください。
- * E.PIANO セクションは [EFX1] と [EFX2] の2ページがあります。

3. Parameters (パラメータ)

N/A

これらのパラメータは、選択されたエフェクト・タイプによって異なります。

エフェクトのかかり具合 (Dry/Wet) や、デプス (Depth)、スピード (Speed)、フィードバック (Feedback) などを調整します。

- * 詳細はP. 21をご確認ください。

2.2 AMP (アンプシミュレータ) (E.PIANO)

1. Amp Type (アンプ・タイプ)

5タイプ

アンプシミュレータのタイプを選択します。

* 詳細はP.22をご確認ください。

2. Drive (ドライブ)

VALUE : 0 ~ 127

アンプシミュレータの歪みの量を調整します。

* 詳細はP.22をご確認ください。

3. Level (レベル)

VALUE : 0 ~ 127

アンプシミュレータの音量を調整します。

* 詳細はP.22をご確認ください。

4. Amp EQ Lo (アンプEQ低音域)

VALUE : -10 dB ~ +10 dB

アンプシミュレータの低音域の周波数帯域をブースト/カットします。

* アンプEQはGLOABL EQとは独立して機能します。

* 詳細はP.22をご確認ください。

5. Amp EQ Mid (アンプEQ中音域)

VALUE : -10 dB ~ +10 dB

アンプシミュレータの中音域の周波数帯域をブースト/カットします。

* アンプEQはGLOABL EQとは独立して機能します。

* 詳細はP.22をご確認ください。

6. Amp EQ Hi (アンプEQ高音域)

VALUE : -10 dB ~ +10 dB

アンプシミュレータの高音域の周波数帯域をブースト/カットします。

* アンプEQはGLOABL EQとは独立して機能します。

* 詳細はP.22をご確認ください。

7. Mid Frequency (中音域の周波数)

VALUE : 200Hz ~ 3150Hz

AMP EQ Midパラメータの中心周波数を設定します。

* アンプEQはGLOBAL EQとは独立して機能します。

* 詳細はP.22をご確認ください。

8. Mic Type (マイクの種類)

Condenser/Dynamic

アンプの音を集音するマイクの種類を選択します。

Mic Type	説明
Condenser	周波数レンジが広く、繊細なサウンドが特長で、スタジオレコーディングなどによく使用されます。
Dynamic	中音域の強調されたパワフルなサウンドが特長で、ライブなどによく使用されます。

* 詳細はP.22をご確認ください。

9. Mic Position (マイクの配置)

OnAxis/OFFAxis

マイクの配置の違いをシミュレートします。

Mic Position	説明
On Axis	スピーカの中心軸を狙った配置です。中高域が強く出るのが特徴です。
Off Axis	スピーカの中心軸からずらした配置です。滑らかで拡がりがあるのが特徴です。

* 詳細はP.22をご確認ください。

10. Ambience

VALUE : 0 ~ 127

少し離れた場所に置かれたステレオマイクの音をミックスします。音の拡がりや空気感が再現されます。

* 詳細はP.22をご確認ください。

3 Sound

1. Master Volume(マスターボリューム) VALUE : 0 ~ 127

セットアップ全体の音量を設定します。STORE(P. 60)したセットアップを呼び出す際の各セットアップ間の音量バランスを調節します。

* このパラメータは3つの内部音色セクション全てに共通です。

* このパラメータはSOUND には保存されません。(SETUP には保存可能です)

3. Filter Cut-off(カットオフ) VALUE : -64 ~ +63

カットオフ周波数を調整します。値を大きくすると、サウンドが明るくなり、値を小さくすると、こもったサウンドになります。

5. DCA Attack Time VALUE : -64 ~ +63

音の立ち上がりの時間を調整します。値を大きくすると立ち上がりの時間が長くなり、音色のアタックが遅くなります。

7. DCA Sustain Level VALUE : -64 ~ +63

鍵盤を押さえている間に到達する音量レベルを調整します。

9. DCF Attack Time VALUE : -64 ~ +63

フィルタの立ち上がりの時間を調整します。値を大きくするとフィルタの立ち上がりの時間が長くなります。

11. DCF Decay Time VALUE : -64 ~ +63

アタックレベルからサステインレベルまでフィルタが到達する時間を調整します。

13. DCF Release Time VALUE : -64 ~ +63

鍵盤を離してからカットオフ周波数までの到達時間を調整します。

15. DCA Touch Depth VALUE : -64 ~ +63

タッチによる音量変化の効きを調整します。

2. Panpot(パンポット) VALUE : L64 ~ R63

ステレオの音像の中での左右の定位を調整します。

4. Filter Resonance(レゾナンス) VALUE : -64 ~ +63

カットオフ周波数周辺の倍音の量を調整します。

6. DCA Decay Time VALUE : -64 ~ +63

アタック後のサステインのレベルまで音量が下がる時間を調整します。

8. DCA Release Time VALUE : -64 ~ +63

鍵盤を離してから音が消えるまでの時間を調整します。

10. DCF Attack Level VALUE : -64 ~ +63

フィルタの立ち上がりの目標レベルを調整します。

12. DCF Sustain Level VALUE : -64 ~ +63

鍵盤を押さえている間に到達するフィルタのレベルを調整します。

14. DCF Touch Depth VALUE : -64 ~ +63

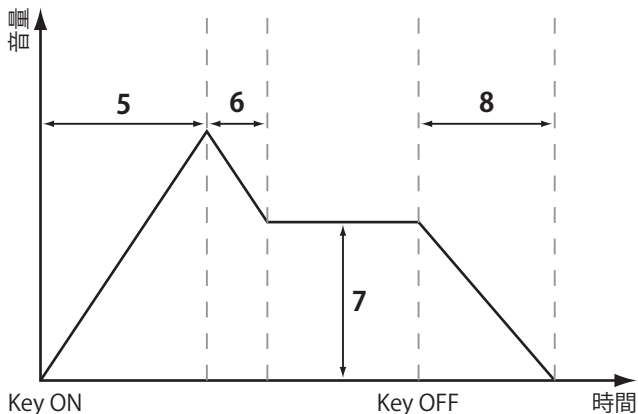
タッチによるフィルタ変化の効きを調整します。

3 Sound (続き)

■ DCAパラメータについて

DCA (Digitally Controlled Amplifier) パラメータはエンベロープのボリューム調整に使用します。

下の図はMP11SEのDCAパラメータを示しています。



16. Vibrate Depth

VALUE : -64 ~ +63

ビブラートの深さを調整します。

18. Vibrate Delay

VALUE : -64 ~ +63

ビブラートが始まるまでの時間を調整します。

19. Octave Layer Switch

OFF, On

SUBセクションの音色に追加するオクターブ音をON/OFFします。

21. Octave Layer Range

VALUE : -2 ~ +2

オクターブレイヤーに使用するオクターブ音のシフト量を設定します。

23. Layer Vocal

VALUE : OFF, 1 ~ 127

追加するボーカル音の音量を調整します。

25. Layer Air

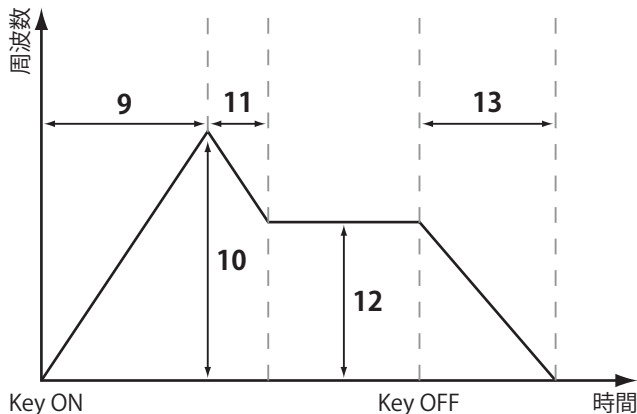
VALUE : OFF, 1 ~ 127

追加するAir音の音量を調整します。

■ DCFパラメータについて

DCF (Digitally Controlled Filter) パラメータは音色に付加されるローパスフィルタの調整に使用します。

下の図はMP11SEのDCFパラメータを示しています。



17. Vibrate Rate

VALUE : -64 ~ +63

ビブラートのスピードを調整します。

20. Octave Layer Level

VALUE : 0 ~ 127

追加されるオクターブ音の音量を調整します。

22. Octave Layer Detune

VALUE : -64 ~ +63

オクターブレイヤーのチューニングを調整します。

24. Layer Bell

VALUE : OFF, 1 ~ 127

追加するベル音色の音量を調整します。

4 Tuning (チューニング)

1. Fine Tune

VALUE : -64 ~ +63

セクション間での音程調整を約± 1/2半音の間で設定します。

2. Stretch Tuning (ストレッチチューニング)

9タイプ + 5USER

ストレッチチューニングに関する設定を行います。OFF, Narrow1/2, Normal, Wide1/2/3/4/5の9種類から、選択できます。

また、USERを選ぶことで鍵盤ごとの調整が可能になります。

ピアノは、より自然な響きを得る為、通常、基本となる音律に対して低音をより低く、高音はより高く調律されます。このような調律方法をストレッチチューニングといいます。

“Normal”は標準的なチューニング、“Wide”はピアノの独奏に適したチューニングです。

* ユーザーストレッチチューニングを設定する方法についてはP. 109をご確認ください。

3. Temperament (音律)

7タイプ + 2USER

音律を選択します。

* ユーザー音律を設定する方法についてはP. 107をご確認ください。

4. Key of Temperament (音律の主音)

RANGE : C ~ B

平均律以外の音律は調号に合わせた音律ですので、音律の主音を設定します。

演奏する曲の調号に合わせます。

■ 音律の種類

種類	内容
Equal Temperament (Equal)	平均律。オクターブを等分割した現在では標準的な調律法です。どの調でも同じ響きを得られるという特徴があります。
Pure Temperament (Pure Maj./Pure Min.)	純正律(長調)。3度と5度のうなりをなくした調律法で、合唱音楽では、現在でも随所にこの音律に基づいた演奏が行われています。 純正律(短調)。純正律は長調と短調で異なります。長調と同様の効果を短調でも得られます。
Pythagorean Temperament (Pythagorean)	Pythagorean(ピタゴラス音律)。5度のうなりをなくした調律法で、和音よりもメロディーを演奏すると非常に美しいのが特徴です。
Meantone Temperament (Meantone)	Meantone(中全音律)。3度のうなりをなくした調律法で純正律の特徴の5度が著しく不協和であることを改良したので、平均律よりも和音が美しく響きます。
Werkmeister III Temperament (Werkmeis)	Werkmeister(ヴェルクマイスター第三法)。ピタゴラスと中全音律を組み合わせた音律で、純正3度は存在せず、平均律的な平坦な調律法です。
Kirnberger III Temperament (Kirnberg)	Kirnberger(キルンベルガー第三法)。ピタゴラスと中全音律を組み合わせた音律で、3度が純正に響く調と5度が純正に響く調を併せ持つことで調性の性格を反映できる調律法です。
User Temperament (Sys.User1/2)	音律を自由に設定することができます。

* User1/2を調整するにはP. 107をご確認ください。

5 Key Setup (キーボードセットアップ)

1. Touch Curve

6タイプ+5 USER

選択したセクションのタッチカーブを選択します。

* ユーザータッチカーブの作成についてはP. 106をご確認ください。

2. Dynamics

VALUE : OFF, 1 ~ 10

タッチレスポンスを調整します。

バリューが10(初期値)のとき、タッチレスポンスは通常のタッチカーブのままです。

値を減少させていくと、徐々にベロシティの変化幅が小さくなります。

値をOffにすると、タッチカーブは完全にフラットになり、ベロシティは固定されます。

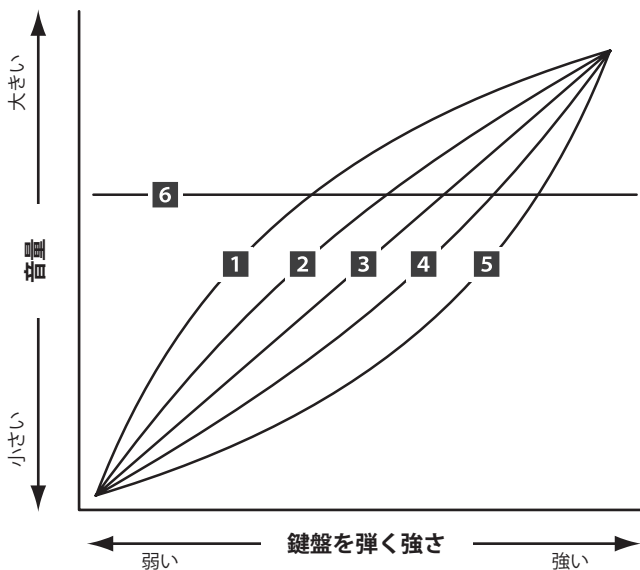
■ タッチカーブの種類

タッチカーブ	No	説明
Light +	1	弱いタッチで弾いても大きな音がでます。
Light	2	オルガンプレーヤー向けのタッチカーブです。
Normal	3	アコースティックピアノと同程度のタッチで音量が変化します。
Heavy	4	強いタッチでの演奏に向いています。
Heavy +	5	指の力の強い人向けのタッチカーブです。
Off (constant)	6	タッチの強弱に関わらず一定の音量で発音します。
User* (User 1~User 5)	-	ユーザーが入力したタッチによりタッチカーブが作成されます。

* ユーザータッチカーブの作成方法はP. 106をご確認ください。

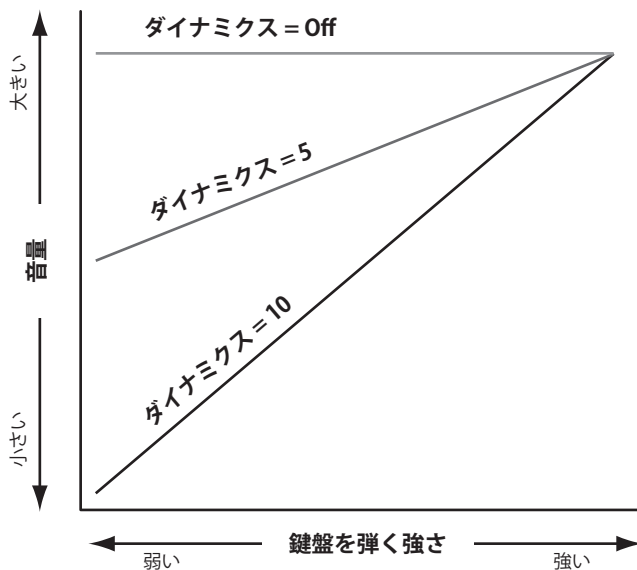
■ タッチカーブのグラフ

このグラフは異なるタッチカーブの違いによる鍵盤を弾く強さと発音する音量の関係を示したものです。



■ ダイナミクスグラフ

このグラフはダイナミクスの違いによる鍵盤を弾く強さと発音する音量の関係を示したものです。



3. Key Volume

5タイプ+5 USER

鍵盤ごとの音量を調整します。オフと4種類のプリセットから選択できます。
また、USERを選ぶことで鍵盤ごとの調整が可能になります。

名称	説明
Off	通常の状態です。
High Damping	上の音域に行くにしたがって、音量が次第に減少します。
Low Damping	下の音域に行くにしたがって、音量が次第に減少します。
High&Low Damping	上と下の音域に行くにしたがって、音量が次第に減少します。
Center Damping	中央の鍵盤の音量が次第に減少します。
User	88鍵それぞれの音量(88鍵ボリューム)をお好みに調整できます。

* ユーザー 88 鍵ボリュームを設定する方法についてはP. 108をご確認ください。

7. Key Scaling Damping

ON, OFF

キースケーリング機能をOn/Offします。

キースケーリングとは：

高音域に行くにしたがって、ベロシティを次第に減少させます。ピアノとストリングスを重ねて演奏する際、高音域でストリングスのレベルを下げたい場合等に便利です。

9. Key Range Type

Off, Upper, Lower, Zone

このパラメータは選択されたセクションのKey Range Type (有効となる鍵域)を選択します。

タイプ	説明
Off	88 鍵全てが有効な鍵域です。
Upper	スプリットポイントを境に高音側のみに有効です。
Lower	スプリットポイントを境に低音側のみに有効です。
Zone	指定された2点の間のみ有効です。

* このパラメータはSOUNDには保存されません。(SETUPには保存可能です)

11. Key Range Zone Lo

RANGE : A0 ~ C8

ZONE (鍵域) の低音側の鍵盤を指定します。

* Key Range の機能の詳細はP. 24をご確認ください。

* このパラメータはSOUNDには保存されません。(SETUPには保存可能です)

4. Minimum Touch

VALUE : 1 ~ 20

一番小さい音が出るタッチの強さを設定することができます。

5. Octave Shift

VALUE : -3 ~ +3 オクターブ

選択した音色のオクターブシフト値を設定します。

* このパラメータはSOUNDには保存されません。(SETUPには保存可能です)

6. Zone Transpose

VALUE : -12 ~ +12

選択した音色の移調量を設定します。

* このパラメータはSOUNDには保存されません。(SETUPには保存可能です)

8. Key Scaling Key

RANGE : A0 ~ C8

キースケーリングを開始する鍵盤を指定します。
この鍵盤より上の音域に行くにしたがって、ベロシティが次第に減少します。

10. Split Point

RANGE : A0 ~ C8

鍵盤の分割点を指定します。
その点を境にUPPER/LOWER鍵盤が指定されます。

* Key Range 機能の詳細はP. 24をご確認ください。

* このパラメータは音色セクション・MIDI OUTセクション共通です。

* このパラメータはSOUNDには保存されません。(SETUPには保存可能です)

12. Key Range Zone Hi

RANGE : A0 ~ C8

ZONE (鍵域) の高音側の鍵盤を指定します。

* Key Range の機能の詳細はP. 24をご確認ください。

* このパラメータはSOUNDには保存されません。(SETUPには保存可能です)

6 Controllers (コントローラー)

1. Right Pedal

ON, OFF

選択しているセクションの音色に対して、GFP-3ペダルの動作の有効/無効を設定するパラメータです。

* このパラメータはSOUNDには保存されません。(SETUPには保存可能です)

3. Damper Pedal Mode

Normal, Hold

ダンパーペダルの効果を選択します。“Hold”に設定すると、ストリングス等の持続音は、減衰せずに発音を保持し続けることができます。

* このパラメータはSOUNDには保存されません。(SETUPには保存可能です)

4. Center Pedal

ON, OFF

選択しているセクションの音色に対して、GFP-3の中ペダルの動作の有効/無効を設定するパラメータです。

* このパラメータはSOUNDには保存されません。(SETUPには保存可能です)

6. Left Pedal

ON, OFF

選択しているセクションの音色に対して、GFP-3の左ペダルの動作の有効/無効を設定するパラメータです。

* このパラメータはSOUNDには保存されません。(SETUPには保存可能です)

8. Pitch Bend

ON, OFF

選択しているセクションの音色に対して、ピッチベンドホイール動作の有効/無効を設定するパラメータです。

10. Soft Pedal Depth

VALUE : 1 ~ 10

ソフトペダルの効果のかかる強さを調整します。

* このパラメータはSOUNDには保存されません。(SETUPには保存可能です)

2. Right Pedal Assign

18 functions (PIANO, SUB)
28 functions (E.PIANO)

GFP-3の右ペダルに割り当てる機能を選択します。

* このパラメータはPIANO/E.PIANO/SUBセクション共通です。

* このパラメータはSOUNDには保存されません。(SETUPには保存可能です)

5. Center Pedal Assign

GFP-3の中ペダルに割り当てる機能を選択します。

* このパラメータはPIANO/E.PIANO/SUBセクション共通です。

* このパラメータはSOUNDには保存されません。(SETUPには保存可能です)

7. Left Pedal Assign

18 functions (PIANO, SUB)
28 functions (E.PIANO)

GFP-3の左ペダルに割り当てる機能を選択します。

* このパラメータはPIANO/E.PIANO/SUBセクション共通です。

* このパラメータはSOUNDには保存されません。(SETUPには保存可能です)

9. Pitch Bend Range

VALUE : 0 ~ 7

ベンダーを動かしたときの音程の変化範囲を半音単位で指定します。

* 変化範囲の最大値は、PIANO/E.PIANO/SUBセクション(0 ~ 7)とMIDI OUTセクション(0 ~ 12)で異なります。

11. Modulation Wheel

ON, REVERSE, OFF

選択しているセクションの音色に対して、モジュレーションホイール動作の有効/無効を設定するパラメータです。

「REVERSE」を選択すると動作が反転し、ホイールを上げるにしたがって小さな値が出力されます。

13. Modulation Depth Range

VALUE : 0 ~ 127

ピッチモジュレーション効果のピッチ変化幅を設定します。600/127centステップで変化幅を設定します。

14. Foot Switch Pedal

ON, OFF

選択しているセクションの音色に対して、フットスイッチ動作の有効/無効を設定するパラメータです。

- * 接続するペダルについてはP. 16をご確認ください。
- * このパラメータはSOUNDには保存されません。(SETUPには保存可能です)

16. Expression Pedal

ON, REVERSE, OFF

選択しているセクションの音色に対して、エクスプレッションペダル動作の有効/無効を設定するパラメータです。

「REVERSE」を選択すると動作が反転し、ペダルを踏み込むにしたがって出力される値が小さくなります。

- * 接続するペダルについてはP. 16をご確認ください。
- * このパラメータはSOUNDには保存されません。(SETUPには保存可能です)

12. Modulation Wheel Assign

18 functions (PIANO, SUB)
28 functions (E.PIANO)

モジュレーションホイールに割り当てる機能を選択します。

15. Foot Switch Pedal Assign

18 functions (PIANO, SUB)
28 functions (E.PIANO)

フットスイッチに割り当てる機能を選択します。

- * このパラメータはPIANO/E.PIANO/SUB セクション共通です。
- * 接続するペダルについてはP. 16をご確認ください。
- * このパラメータはSOUNDには保存されません。(SETUPには保存可能です)

17. Expression Pedal Assign

18 functions (PIANO, SUB)
28 functions (E.PIANO)

エクスプレッションペダルに割り当てる機能を選択します。

- * このパラメータはPIANO/E.PIANO/SUB セクション共通です。
- * 接続するペダルについてはP. 16をご確認ください。
- * このパラメータはSOUNDには保存されません。(SETUPには保存可能です)

■ ペダル・ホイールに割り当て可能な機能

機能	機能	機能
Modulation	Damper	Resonance
Panpot	Sostenuto	Cut-off
Expression	Soft	EFX Parameter 1 ~ 10 (piano, sub) EFX1 Parameter 1 ~ 10, EFX2 Parameter 1 ~ 10 (e.piano)

7 Knob Assign (ノブアサイン)

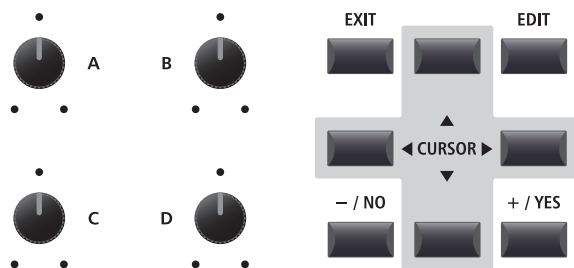
通常の演奏モードでの[A] [B] [C] [D]の4つのコントロールノブに、エディットメニューのパラメータを割り当てることができ、必要なパラメータを演奏中リアルタイムにコントロールすることができます。ノブアサインは、各セクションごとに2つのパラメータグループを持っており、演奏中4×2=8パラメータまでのコントロールを可能にします。

■それぞれのノブにパラメータを割り当てる

目的のセクションのノブアサイン画面へ入ります。

4つのコントロールノブを回して、演奏モードでコントロールしたいエディットモードのパラメータを割り当てます。
(P. 37の「PIANO/E.PIANO/SUBセクションのパラメータ」参照)

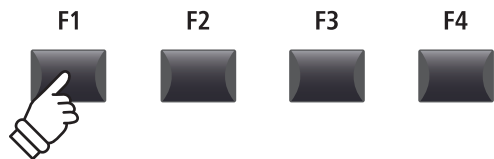
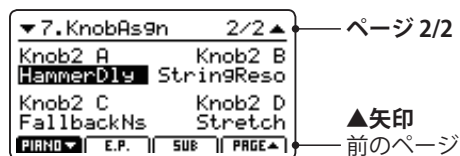
パラメータは十字カーソルボタンと[+/YES] [-/NO]ボタンで変更することもできます。



エディットメニュー



[F1] ([F2] [F3]) ボタンまたは[CURSOR▲] [CURSOR▼] ボタンを押して、第1、第2のノブグループを切り替えることができます。



* 割り当て可能な機能は音色セクションによって若干異なります。詳細はP. 142をご確認ください。

* 演奏モードでのパラメータ調整方法についてはP. 19をご確認ください。

■ EFX(エフェクト)パラメータ名の代用語

調整可能なパラメータ名や数はエフェクトごとに異なります。

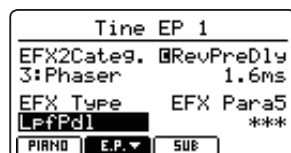
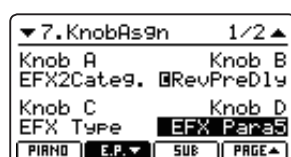
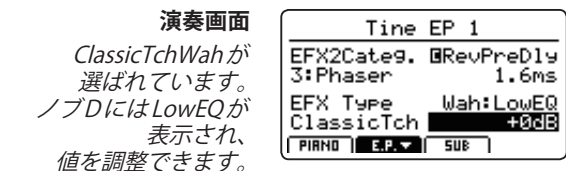
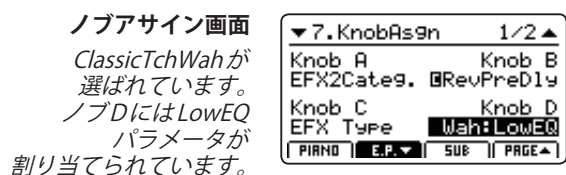
EFXパラメータを4つのノブに割り当てると、選択しているエフェクトに有効なパラメータ名が表示されます。

(下の例ではWah : LowEQが割り当てられています)

この設定の状態と異なるエフェクトに変更した場合、(下の例ではPhaserを選択)ノブに割り当てられたパラメータ番号がない場合があります。

(調整可能なパラメータが少なくなった場合)

その場合、代替名がディスプレイに表示され、そのノブを使用しても何も起こりません。



ノブアサイン画面
エフェクトを変更し
LpfPdlWahを選ぶと
ノブDの割り当て名が
EFX Para5に変更されます。
(無効なパラメータ)

演奏画面
エフェクトを変更し
LpfPdlWahが選ばれており
ノブDの割り当て名が
EFX Para5に
変更されています。
(無効なパラメータ)

8 Virtual Technician (PIANO セクション)

1. Voicing (ボイシング)

6タイプ+5 USER

アコースティックピアノのハンマーフェルト調整をシミュレートした効果で、次の6種類の中より選べます。また、USERを選ぶことで鍵盤ごとの調整が可能になります。

Voicing types (ボイシング・タイプ)

Voicing type	説明
Normal	通常の設定です。
Mellow 1	やわらかめのハンマーをシミュレートしたソフトな音色になります。
Mellow 2	Mellow 1 よりやわらかなハンマーをシミュレートした音色になります。
Dynamic	タッチの強弱に応じてソフトな音色からブライトな音色までダイナミックに変化します。
Bright 1	硬めのハンマーをシミュレートしたブライトな音色になります。
Bright 2	Bright 1 より硬めのハンマーをシミュレートした音色になります。
User	任意の鍵盤に対してハンマーフェルト調整が可能になります。

* ユーザー VOICING を設定する方法についてはP. 110をご確認ください。

2. String Resonance

VALUE : OFF, 1 ~ 10

ストリングレゾナンスの音量を調整します。

ピアノは各鍵盤ごとに弦が張られています。ある鍵盤を押さえた状態で他の鍵盤を弾くと、2つの鍵盤の音程の関係によって弦の共鳴が発生し、ピアノ特有の響きが生まれます。これを「ストリングレゾナンス」と呼んでいます。

4. Damper Resonance

VALUE : OFF, 1 ~ 10

ダンパーレゾナンスの音量を調整します。

ダンパーペダルを踏んだとき、全てのダンパーが持ち上げられて全ての弦が自由に振動できるようになります。ダンパーペダルを踏んだ状態で演奏すると、弾いた音だけでなく、他の弦全体の共鳴が発生します。これを「ダンパーレゾナンス」と呼んでいます。

6. Damper Noise

VALUE : OFF, 1 ~ 10

ダンパーノイズの音量を調整します。

ダンパーペダルを踏んだときと、離れたとき、ダンパーヘッドが弦に触れたり、離れたりする際のノイズ音が発生します。このノイズの音量を調整します。

8. Fall-back Noise

VALUE : OFF, 1 ~ 10

鍵盤を離れた後、鍵盤アクションが戻ったときに発生するノイズ音の音量を調整します。

3. Undamped Resonance

VALUE : OFF, 1 ~ 10

開放弦レゾナンスの音量を調整します。

グランドピアノの高音部はダンパーが付いておらず、その高音部の弦はダンパーペダルを踏む／踏まないにかかわらず常に開放されている状態となっています。開放弦レゾナンスは、その常に開放されている高音部の弦共鳴をシミュレートします。

5. Key-off Effect

VALUE : OFF, 1 ~ 10

キーオフエフェクトの音量を調整します。

特に鍵盤の低音域で、鍵盤を強く弾いて急に離れたときに、弦の振動が止まる直前にダンパーが弦に触れる音が発生します。このキーオフ時の効果音の音量を調整できます。

7. Hammer Delay

VALUE : OFF, 1 ~ 10

ピアノシモで弾いたときは、ハンマーが弦を叩くタイミングがわずかに遅くなります。このハンマーの遅れを演奏しやすいタイミングに調整します。

9. Topboard

Close, Open1, Open2, Open3

グランドピアノの大屋根の開き具合による音の違いをシミュレートします。

8 Virtual Technician (PIANO セクション) (続き)

10. Stereo Width

VALUE : 0 ~ 127

ステレオ音の拡がり具合を調整します。

0にするとモノラルになります。

11. Brilliance

VALUE : -10dB ~ +10dB

音の明るさを調整します。

8 Virtual Technician (E.PIANO, SUB セクション)

1. Key-off Noise

VALUE : OFF, 1 ~ 127

E.Piano 音色選択時、離鍵時にハンマーが戻るときのシミュレート音の大きさを調整します。

SUB 音色選択時はハープシコード、ベース音においてリリース時の音をシミュレートしています。

2. Key-off Delay

VALUE : 0 ~ 127

離鍵時のKey-off Noiseが聞こえるまでの遅延時間を調整します。

エディットメニューの概要 (MIDI OUT)

エディットメニューはMIDI OUTセクションのパラメータも調整することができます。Soundセクションのエディットと同様に、パラメータはグループごとに分類されており、外部MIDI機器を直接コントロールできるように設計されています。

このパラメータ群は、他の調整可能な設定とともにセットアップメモリに保存できます。(P. 60の「ストアセットアップ」参照)MP11SEは、26バンク×8セットアップの合計208セットアップメモリを用意しています。

■ コモンパラメータについて (🔑アイコン)

状態にかかわらず、MIDI OUTセクションのパラメータセッティングはZONE1～ZONE4までそれぞれ独立して設定できます。しかし🔑アイコンがついたパラメータは全MIDI ZONE共通です。例えば、“🔑Right Pedal Assign”パラメータをZONE1で変更すると、自動的にZONE2～ZONE4の“🔑Right Pedal Assign”パラメータは自動的に変更されます。先述の通り、“🔑Split Point”はすべての内部音色セクションと4つのMIDI ZONEに共通のパラメータです。

■ システムパラメータについて (SYSアイコン)

SYSアイコンマークのあるMIDI OUTセクションのパラメータはシステムパラメータで、変更すると自動的に保存されます。([STORE]ボタンを使う必要がありません)

■ MIDI OUTセクションのパラメータ

No.	カテゴリ	パラメータ
1	Channel/Program	MIDI Transmitting Channel, Program, Bank MSB, Bank LSB
2	SETUP	Send Program, Send Bank, Send Volume, Send Knobs
3	Transmit SYS	Transmit System Exclusive, Transmit Recorder
4	MMC SYS	Transmit MMC, MMC Device ID, MMC Commands
5	Key Setup	Touch Curve, Dynamics, Transmit Keyboard, Octave Shift, Zone Transpose, Key Scaling Damping, Key Scaling Key, Key Range Type, 🔑 Split Point, Key Range Zone Lo, Key Range Zone Hi, Solo, Solo Mode
6	Controllers	Right Pedal, 🔑 Right Pedal Assign, Half Pedal Values, Center Pedal, 🔑 Center Pedal Assign, Left Pedal, 🔑 Left Pedal Assign, Pitch Bend, Pitch Bend Range, Modulation Wheel, Modulation Wheel Assign, Modulation Depth Range, Foot Switch Pedal, 🔑 Foot Switch Pedal Assign, Expression Pedal, 🔑 Expression Pedal Assign
7	Knob Assign	Knob A Assign, Knob B Assign, Knob C Assign, Knob D Assign, Knob2 A Assign, Knob2 B Assign, Knob2 C Assign, Knob2 D Assign

■ エディットメニューに入る

MIDI OUTセクションの画面が表示された状態で(P. 35参照)：

[EDIT]ボタンを押してください。

モードに入ると[EDIT]ボタンのLEDが点灯し、選択されたZONEのエディットメニューがディスプレイに表示されます。



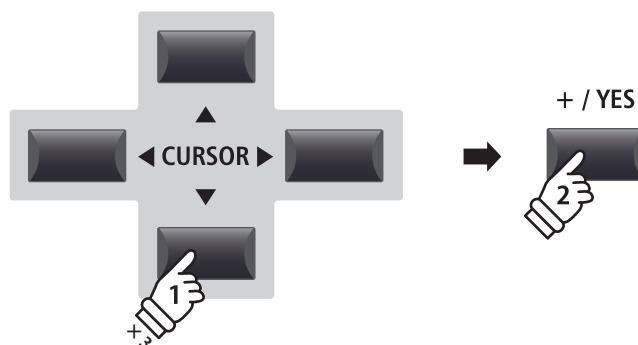
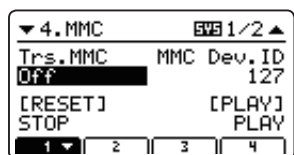
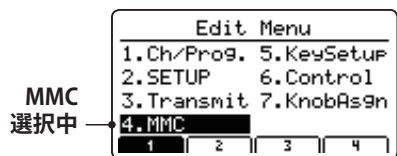
* MIDI ZONEを変更するには[F1]～[F4]ボタンを押してください。

エディットメニューの概要 (MIDI OUT)

■ パラメータのカテゴリを選択する

エディットメニューが表示された状態で：

カーソルボタンで所望のカテゴリを選択し [+ / YES] ボタンを押してカテゴリを選択します。



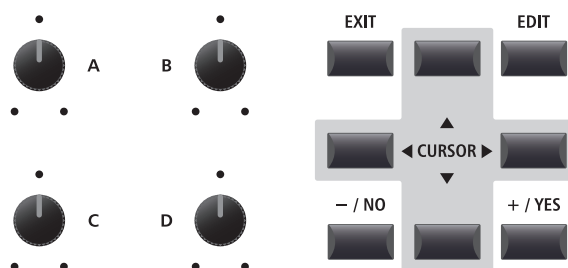
例) MMCカテゴリに入るには、カーソル[▼]ボタンを3度押し、その後 [+ / YES] ボタンを押します。

■ パラメータの調整

パラメータが表示された状態で：

各ノブ[A] [B] [C] [D]を回すことで、それぞれに設定されたパラメータを調整することができます。

また、パラメータは十字カーソルと [+ / YES] [- / NO] ボタンでも調整することが可能です。



[EXIT] ボタンを押すとカテゴリ選択画面に戻り、もう一度押すと通常演奏画面に戻ります。



エディットメニューのパラメータ (MIDI OUT)

1 Channel/Program

1. MIDI Transmitting Channel (MIDI送信チャンネル)

CHANNEL : 01Ch ~ 16Ch

選択されているゾーンのMIDI送信チャンネルを指定します。

- * 初期設定ではZone1~4はMIDI 01Ch~04Chが割り当てられています。
- * 指定されているMIDIチャンネルと接続されているMIDI機器の受信チャンネルを合わせてください。

3/4. Bank MSB/Bank LSB

VALUE : 0 ~ 127

セットアップが呼び出されたとき、送信されるプログラムバンクナンバー値の上位(MSB)と下位(LSB)を設定します。

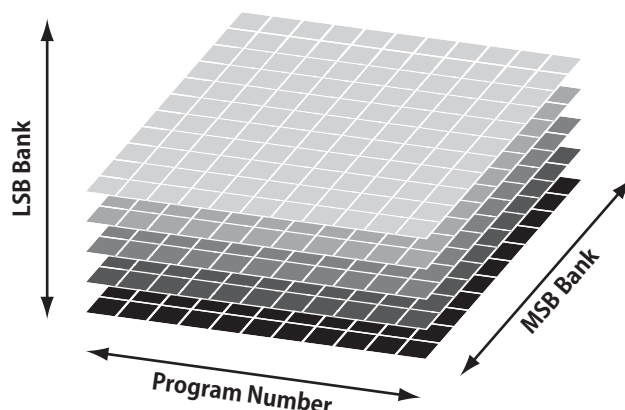
MIDI規格は128のプログラム番号を用意していますが、バンク番号により、そのスペースを拡張することができます。

- * バンク、プログラム番号の詳細については、接続されたMIDI機器の取扱説明書を参照してください。

2. Program

VALUE : 1 ~ 128

セットアップが呼び出されたとき、送信されるプログラムナンバー値を設定します。外部MIDI機器で選択したい音色に対応したプログラム番号を選択してください。



2 SETUP

1. Send Program

ON, OFF

セットアップを選択したとき、プログラム・チェンジを送信するか(On)、送信しないか(Off)を設定します。

セットアップを選択して外部MIDI機器の音色を変更したい場合は、このパラメータをOnにしてください。

3. Send Volume

ON, OFF

セットアップを選択したとき、ボリューム・メッセージを送信するか(On)、送信しないか(Off)を設定します。

セットアップを選択して外部MIDI機器のボリュームを変更したい場合は、このパラメータをOnにしてください。

- * このパラメータをOffに設定していても、MIDI OUTセクションのボリューム・フェーダーを動かしたときはボリュームメッセージが送信されます。

2. Send Bank

ON, OFF

セットアップを選択したとき、バンク番号(MSB, LSB)を送信するか(On)、送信しないか(Off)を設定します。

プログラム・チェンジ送信する際、外部MIDI機器のバンクを変更したい場合は、このパラメータをOnにしてください。

4. Send Knobs

ON, OFF

セットアップを選択したとき、コントロールノブの設定を送信するか(On)、送信しないか(Off)を設定します。

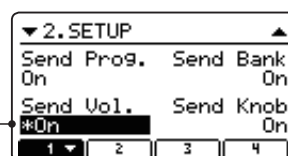
- * このパラメータをOffに設定していても、MIDI OUTセクションのコントロールノブを動かしたときは各メッセージが送信されます。

■ システムメニュー内のセットアップパラメータについて

上記の送信パラメータはシステムメニュー内MIDIカテゴリのSETUP PROGRAM, BANK, Volume, KnobパラメータがONになっていないと効きません。

システムメニュー内のSETUPパラメータがOFFにセットされるとき、関係しているパラメータの横にアスタリスク(*)が表示され、無効となります。

アスタリスク：
パラメータはシステムメニューでOFFになっているため無効です。



3 Transmit

Transmitカテゴリのパラメータはすべてシステムパラメータです。これらのパラメータは自動的にシステムに保存するため、それぞれのSETUPにSTORE(保存)する必要はありません。

1. Transmit System Exclusive ON, OFF

外部のMIDI機器にシステムエクスクルーシブ(SYSEX)データを送信するかどうかを設定します。

* System Exclusive データについての詳細はP. 135をご確認ください。

2. Transmit Recorder ON, OFF

内部に録音された曲を外部MIDI機器に送信するかどうかを設定します。

4 MMC

MMCカテゴリのパラメータはすべてシステムパラメータです。これらのパラメータは自動的にシステムに保存するため、それぞれのSETUPにSTORE(保存)する必要はありません。

1. Transmit MMC ON, OFF

外部のMIDI機器にMP11SEのレコーダーコントロールボタンでMMC(MIDI Machine Control)を送信するかどうかを設定します。

2. MMC Dev. ID VALUE : 0 ~ 127

MMC(MIDIMachineControl)のデバイスIDを決定します。

3. MMC Commands 13 MMC COMMANDS, 3 REALTIME COMMANDS

MMCやリアルタイムコマンドを6つのレコーダーコントロールボタンに割り当てます。

* 初期値では、主要なMMCコマンドはレコーダーセクションのボタンに割り当てられています。

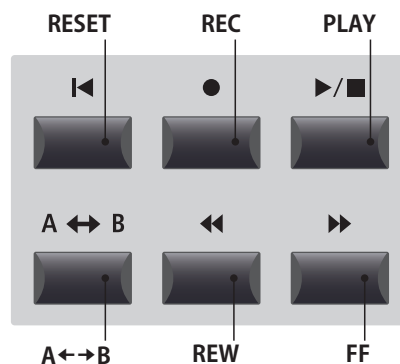
■ 割り当て可能なレコーダー制御コマンド

MMC Commands			
01	STOP	08	RECORD PAUSE
02	PLAY	09	PAUSE
03	DEFERRED PLAY	0A	EJECT
04	FAST FORWARD	0B	CHASE
05	REWIND	0C	COMMAND ERROR RESET
06	RECORD STROBE	0D	MMC RESET
07	RECORD EXIT		

Realtime Commands	
FA	Realtime START
FB	Realtime CONTINUE
FC	Realtime STOP

■ レコーダ制御ボタン

下の絵は6つのレコーダー制御ボタン名を示しています。:



5 Key Setup (キーボードセットアップ)

1. Touch Curve

6タイプ+5 USER

選択したセクションのタッチカーブを選択します。

- * タッチカーブについての詳細はP. 44をご確認ください。
- * ユーザータッチカーブの作成についてはP. 106をご確認ください。

3. Transmit Keyboard

ON, OFF

鍵盤のノート ON/OFF イベントデータを外部のMIDI機器に送信するかどうかを設定します。

4. Octave Shift

VALUE : -3 ~ +3 オクターブ

選択した音色のオクターブシフト値を設定します。

6. Key Scaling Damping

ON, OFF

キースケーリング機能をOn/Offします。

8. Key Range Type

Off, Upper, Lower, Zone

このパラメータは選択されたセクションのKey Range Type (有効となる鍵域)を選択します。

タイプ	説明
Off	88 鍵全てが有効な鍵域です。
Upper	スプリットポイントを境に高音側のみ有効です。
Lower	スプリットポイントを境に低音側のみ有効です。
Zone	指定された2点の間のみ有効です。

* このパラメータはSOUNDには保存されません。(SETUPには保存可能です)

12. Solo

ON, OFF

2鍵以上同時に弾いたとき、同時に複数音発音するか、単音のみ発音するかを設定します。

外部に接続したモノシンセ等を演奏する際等に有用です。

2. Dynamics

VALUE : OFF, 1 ~ 10

タッチレスポンスを調整します。

バリューが10(初期値)のとき、タッチレスポンスは通常のタッチカーブのままです。

値を減少させていくと、徐々にベロシティの変化幅が小さくなります。

値をOffにすると、タッチカーブは完全にフラットになり、ベロシティは固定されます。

* 詳細はP. 44をご確認ください。

5. Zone Transpose

VALUE : -12 ~ +12

選択した音色の移調量を設定します。

7. Key Scaling Key

RANGE : A0 ~ C8

キースケーリングを開始する鍵盤を指定します。この鍵盤より上の音域に行くにしたがって、ベロシティが次第に減少します。

9. Split Point

RANGE : A0 ~ C8

鍵盤の分割点を指定します。その点を境にUPPER/LOWER鍵盤に分割されます。

- * Key Range機能の詳細はP. 24をご確認ください。
- * このパラメータは音色セクション・MIDI OUTセクション共通です。

10./11. Key Range Zone Lo/Hi

RANGE : A0 ~ C8

ZONE(鍵域)の最低音/最高音の鍵盤を指定します。

* Key Rangeの機能の詳細はP. 24をご確認ください。

13. Solo Mode

Last, High, Low

選択されているゾーンのソロモードを選択します。

Soloモード	説明
Last	最後に押さえた鍵盤の音のみ発音します。
High	押さえた鍵盤の内、最高音のみ発音します。
Low	押さえた鍵盤の内、最低音のみ発音します。

6 Controllers (コントローラー)

1. Right Pedal

ON, OFF

選択している ZONE に対して、GFP-3 ペダルの動作の有効/無効を設定するパラメータです。

2. Right Pedal Assign

CC#0 ~ CC#119, Aftertouch

GFP-3 の右ペダルに割り当てる機能を選択します。

* このパラメータは ZONE1/2/3/4 で共通です。

3. Half Pedal Values

Normal, High, Low, Mid High, Mid Low

選択している ZONE でのハーフペダルを送信するレンジを決定します。

外部音源を制御する際、ダンパーペダルの効きはじめのポイントが機器によって異なる場合に便利です。

タイプ	値	説明
Normal (default)	0 ~ 127	ダンパーペダル効果が効き始めるポイントから踏み込むにしたがって 0 ~ 127 の値を出力します。
High	0, 64 ~ 127	ダンパーペダル効果が効き始めるポイントまでは 0、踏み込むにしたがって 64 ~ 127 までの値を出力します。
Low	0 ~ 63, 127	ダンパーペダル効果が効き始めるポイントから踏み込むにしたがって 0 ~ 63 までの値を出力し、いっばいに踏み込むと 127 を出力します。
Mid High	0, 50 ~ 100, 127	ダンパーペダル効果が効き始めるポイントまでは 0、踏み込むにしたがって 50 ~ 100 までの値を出力し、いっばいに踏み込むと 127 を出力します。
Mid Low	0, 25 ~ 75, 127	ダンパーペダル効果が効き始めるポイントまでは 0、踏み込むにしたがって 25 ~ 75 までの値を出力し、いっばいに踏み込むと 127 を出力します。

4. Center Pedal

ON, OFF

選択している ZONE に対して、GFP-3 の中ペダルの動作の有効/無効を設定するパラメータです。

5. Center Pedal Assign

CC#0 ~ CC#119, Aftertouch

GFP-3 の中ペダルに割り当てる機能を選択します。

* このパラメータは ZONE1/2/3/4 で共通です。

6. Left Pedal

ON, OFF

選択している ZONE に対して、GFP-3 の左ペダルの動作の有効/無効を設定するパラメータです。

7. Left Pedal Assign

CC#0 ~ CC#119, Aftertouch

GFP-3 の左ペダルに割り当てる機能を選択します。

* このパラメータは ZONE1/2/3/4 で共通です。

8. Pitch Bend

ON, OFF

選択している ZONE に対して、ピッチベンドホイール動作の有効/無効を設定するパラメータです。

9. Pitch Bend Range

VALUE : 0 ~ 12

ベンダーを動かしたときの音程の変化範囲を半音単位で指定します。

* 変化範囲の最大値は、インターナル・セクション (0 ~ 7) と MIDI OUT セクション (0 ~ 12) で異なります。

10. Modulation Wheel

ON, REVERSE, OFF

選択している ZONE に対して、モジュレーションホイール動作の有効/無効を設定するパラメータです。

「REVERSE」を選択すると動作が反転し、ホイールを上げるにしたがって小さな値が出力されます。

11. Modulation Wheel Assign

CC#0 ~ CC#119, Aftertouch

モジュレーションホイールに割り当てる機能を選択します。

12. Modulation Depth Range

VALUE : 0 ~ 127

ピッチモジュレーション効果のピッチ変化幅を設定します。

600/127centステップで変化幅を設定します。

13. Foot Switch Pedal

ON, OFF

選択しているZONEに対して、フットスイッチ動作の有効/無効を設定するパラメーターです。

* 接続するペダルについてはP. 16をご確認ください。

15. Expression Pedal

ON, REVERSE, OFF

選択しているZONEに対して、エクスプレッションペダル動作の有効/無効を設定するパラメーターです。

「REVERSE」を選択すると動作が反転し、ペダルを踏み込むにしたがって出力される値が小さくなります。

* 接続するペダルについてはP. 16をご確認ください。

14. Foot Switch Pedal Assign

18 functions (PIANO, SUB)
28 functions (E.PIANO)

フットスイッチに割り当てる機能を選択します。

* このパラメータはZONE1/2/3/4で共通です。

* 接続するペダルについてはP. 16をご確認ください。

16. Expression Pedal Assign

CC#0 ~ CC#119,
Aftertouch

エクスプレッションペダルに割り当てる機能を選択します。

* このパラメータはZONE1/2/3/4で共通です。

* 接続するペダルについてはP. 16をご確認ください。

7 Knob Assign (ノブアサイン)

通常の演奏モードでの[A] [B] [C] [D]の4つのコントロールノブに、お好みのコントロールチェンジ番号やAfterTouchメッセージを割り当てることができ、必要なパラメータを演奏中リアルタイムにコントロールすることができます。

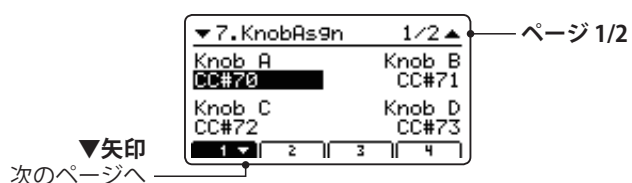
ノブアサインは、各ZONEごとに2つのパラメータグループを持っており、演奏中4×2(ページ)=8パラメータのコントロールが可能です。

■ ノブにパラメータを割り当てる

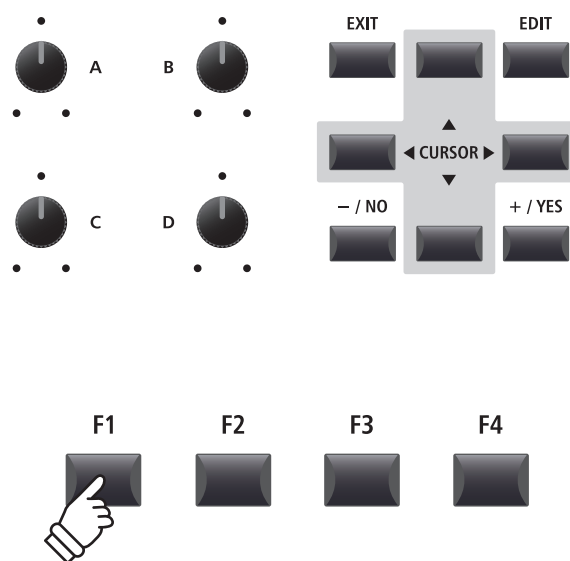
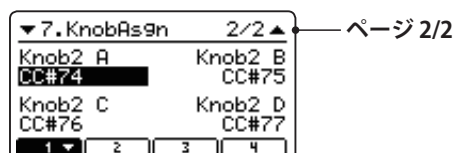
ZONEのノブアサイン画面にて：

4つのコントロールノブを操作して、希望するCC#をそれぞれのノブに割り当てます。

割り当てるMIDI CCメッセージはカーソルボタンと[+/YES] [-/NO]ボタンでも変更できます。



[F1] ~ [F4] ボタンを押すと該当するZONEが選択され、もう一度押すとページが切り替わります。



* 詳細はP. 19をご確認ください。

STORE ボタンの概要について

エディットメニューとコントロールノブを使って調整した音色の設定は、[STORE(ストア)] ボタンで内部メモリに保存できます。

他の音色を選択したり、電源OFFを行うと、調整した音色の設定は失われてしまいますので、必要な設定は[STORE] ボタンを使って保存してください。

[STORE] ボタンには、各音色ごとの設定(SOUND)、パネル全体の設定(SETUP)、電源オン時のパネルの設定(POWERON)のそれぞれを保存する3つの機能があります。

■ STORE ボタンの機能

機能	説明
SOUND	各セクションのバリエーションボタンへ、選択している音色のエディットメニューの設定*を保存します。
SETUP	選択したセットアップメモリへ、システムパラメータを除く全てのエディットメニューの設定と、音色セクションのボタン・ノブ状態、EQの設定を保存します。
POWERON	電源オン時の設定として、システムパラメータを除く全てのエディットメニューの設定と、音色セクションのボタン・ノブ状態、EQの設定を保存します。

* Commonパラメータと鍵域設定は除きます。CommonパラメータについてはP. 37を、鍵域設定についてはP. 45をご確認ください。

1 STORE SOUND(ストアサウンド)

各セクションのバリエーションボタンへ、選択している音色の(コモンパラメータを除く)エディットメニューの設定を保存します。

1. STORE(ストア)画面へ入る

[STORE] ボタンを押してボタンを点灯させます。
LEDが点灯し、ディスプレイにSTORE(ストア)画面が表示されます。



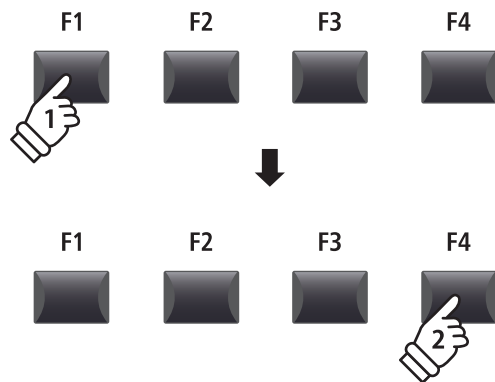
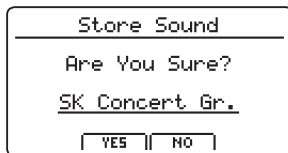
2. STORE SOUND(ストアサウンド)機能を選ぶ

[F1] ボタン(SOUND)を押してSTORE SOUND(ストアサウンド)機能を選びます。

* MIDI OUTセクションが選ばれている場合は、[F1] (SOUND) ボタンは表示されません。



[F4] (EXEC) ボタンを押すと、ディスプレイに確認画面が表示されます。



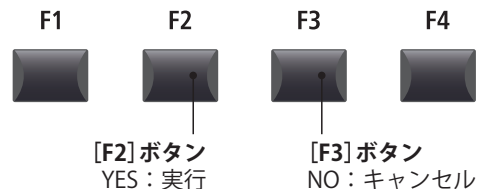
3. STORE SOUND(ストアサウンド)を実行する

[+/YES] または [F2] を押すと、選択したセクションのサウンドに保存されます。

[-/NO] ボタンまたは [F3] ボタンを押すと、STORE(ストア)画面に戻ります。

* 保存を実行すると、それまでの音色の設定は上書きされますのでご注意ください。

* 内部メモリへの書き込み時は絶対に電源を切らないでください。保存したデータが消えてしまいます。



2 STORE SETUP(ストアセットアップ)

選択したセットアップ・メモリへ、システムパラメータを除く全てのエディットメニューの設定と、音色セクションのボタン・ノブ状態、EQの設定を保存します。(208セット保存できます)

1. STORE(ストア)画面へ入る

[STORE] ボタンを押してボタンを点灯させます。

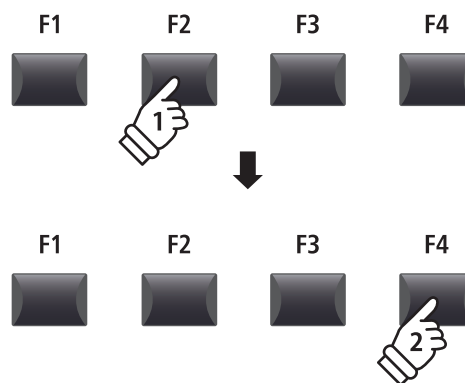
ディスプレイにSTORE(ストア)画面が表示されます。



2. STORE SETUP(ストアセットアップ)機能を選ぶ

[F2] (SETUP) ボタンを押してSTORE SETUP(ストアセットアップ)機能を選びます。

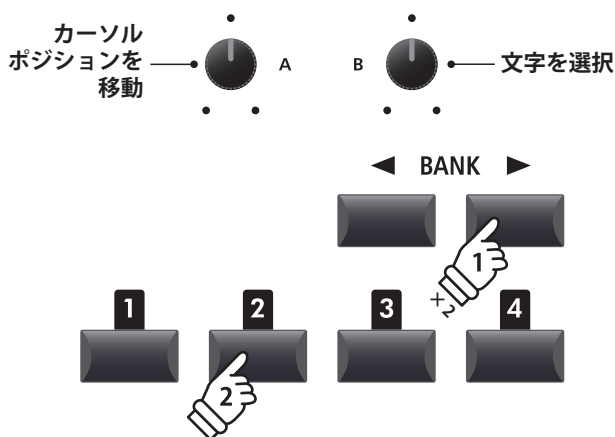
ディスプレイにセットアップ名編集画面が表示されます。



3. セットアップ名を編集し、保存先を指定する

ノブ[A][B]を使って、セットアップ名を編集します。

[BANK ◀] [BANK ▶] ボタンと [1] ~ [8] のセットアップメモリボタンを押して、新しいセットアップのメモリを選びます。



[F4] ボタン (EXEC) を押すと、ディスプレイに確認画面が表示されます。

例) SETUPメモリのC-2を選択する際は[BANK ▶] ボタンを2回押し、その後メモリボタン 2 を押します。

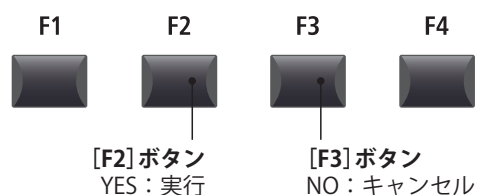
4. STORE SETUP(ストアセットアップ)を実行する

[+/YES] または [F2] ボタンを押すと、保存が実行されます。

[-/NO] ボタンまたは [F3] ボタンを押すと、STORE(ストア)画面に戻ります。

* 保存を実行すると、それまでのセットアップの設定は上書きされますのでご注意ください。

* 内部メモリへの書き込み時は絶対に電源を切らないでください。保存したデータが消えてしまいます。ご注意ください。



3 STORE POWER ON(ストアパワーオン)

電源オン時の設定として、3つの音色セクションのボタン・ノブ状態、EQの設定を保存します。

1. STORE(ストア)画面へ入る

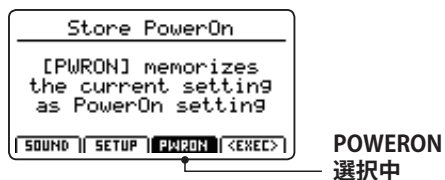
[STORE] ボタンを押して、ボタンを点灯させます。

ディスプレイにSTORE(ストア)画面が表示されます。

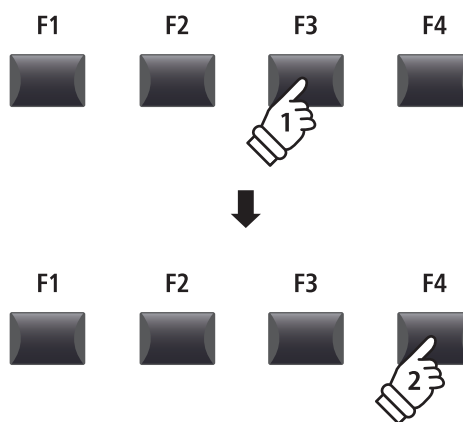
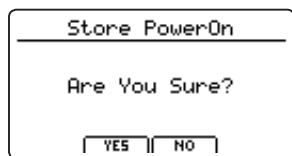


2. STORE POWERON(ストアパワーオン)機能を選ぶ

[F3] (POWERON) ボタンを押してSTORE POWERON(ストアパワーオン)機能を選びます。



[F4] (EXEC) ボタンを押すと、ディスプレイに確認画面が表示されます。



3. STORE POWERON(ストアパワーオン)を実行する

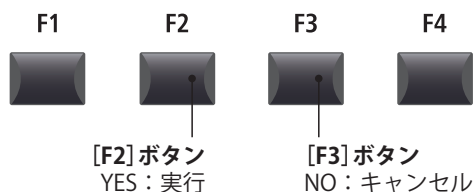
[+/YES] または [F2] ボタンを押すと、保存が実行されます。

[-/NO] ボタンまたは [F3] ボタンを押すと、STORE(ストア)画面に戻ります。

* 保存を実行すると、それまでのパワーオン設定は上書きされますのでご注意ください。

* 内部メモリへの書き込み時は絶対に電源を切らないでください。保存したデータが消えてしまいます。ご注意ください。

* 3つの音色セクションで選ばれているそれぞれのSOUNDの設定の書き換えは行われません。全てのエディットメニューの設定を書き換えたい場合は、各セクションで選ばれているSOUNDをそれぞれ保存してください。(P.59参照)



セットアップメモリ

MP11SEでは選択した音色やセクションの音量、各種パラメータのセッティングやEQ設定などをセットアップに保存しておき、いつでもすぐに呼び出すことができます。

[1]～[8]の8つのボタンと、A～Zの26バンクを使用して合計208のセットアップを保存することができます。このページでは、バンクとセットアップメモリを選択して、セットアップを呼び出す方法について説明します。

■ セットアップモードをONにする

セットアップセクションの[ON/OFF]ボタンを押します。

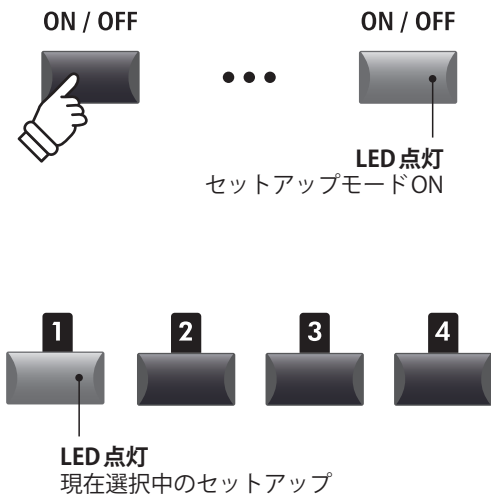
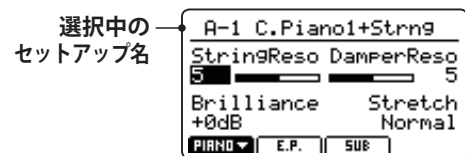
LEDが点灯し、セットアップモードに入り、現在選択中のセットアップのLEDが点灯します。

セットアップモードがONのとき、現在選択中のバンク内のセットアップのリストが表示され、選ばれているメモリがハイライト表示されます。

* セットアップセクションをONにすると、前回選択したセットアップメモリが自動的に呼び出されます。



数秒後、演奏モードの画面が表示され、選ばれているセットアップ名が画面上部に表示されます。

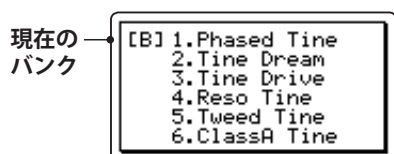


■ セットアップを選ぶ

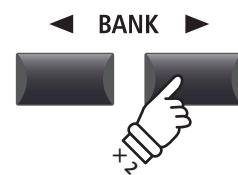
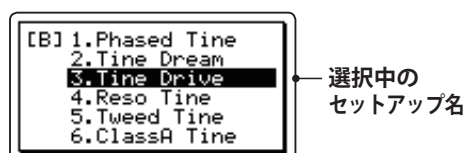
セットアップモードがONの状態です：

[BANK◀] [BANK▶]ボタンを押して、セットアップのバンクを選びます。

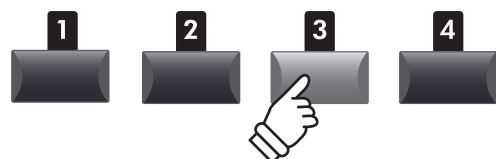
バンクを選ぶと、ディスプレイに選んだバンクのセットアップリストが表示されます。



セットアップ・リストが表示されている間に、目的のセットアップメモリのボタンを押します。



例) バンクBを選ぶ際は[BANK▶]ボタンを1回押します。



例) セットアップメモリ 3 を選ぶには[3 SETUP]メモリボタンを押します。

* 現在のバンク内で別のセットアップメモリを呼び出す際は画面にリストが表示されていなくても可能です。

レコーダーについて

MP11SEは自分の演奏を本体に録音したり、USBメモリに直接録音(保存)することができます。

■ MP11SE レコーダー仕様

	MIDIレコーダー (内部メモリ)	オーディオレコーダー (USBメモリ)
保存フォーマット	SMF (MIDI)	MP3/WAV (オーディオ)
最大曲サイズ	約90,000音	(USBメモリの容量による)
最大曲数	10ソング	(USBメモリの容量による)
使用例	アイディアスケッチ、パフォーマンスの録音、コンピュータでの編集等 —	友人へのe-mail送信、オーディオCD作成等
再生方法	MP11SE本体で再生/外部MIDI機器で再生	MP11SE本体で再生/オーディオプレイヤー等で再生
テンポ調整	有り	無し
オーバーダビング	無し	有り
データ変換	MP3/WAVに変換録音可	—

■ レコーダー画面へ入る

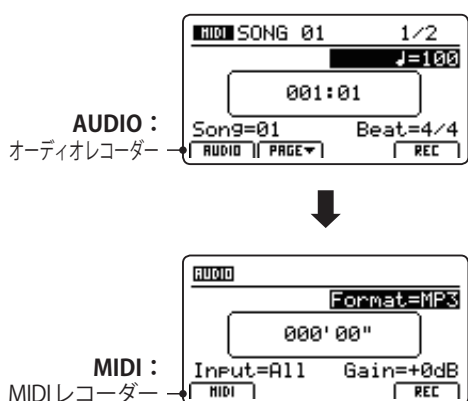
[RECORDER] ボタンを押して、ボタンを点灯させます。

レコーダー機能がONになり、ディスプレイにレコーダー画面が表示されます。



■ レコーダーモードを選ぶ

[F1] ボタンを押して、MIDIレコーダーと、オーディオレコーダーを切り替えます。



- * レコーダーモードに入っているとき、USBメモリが接続されていれば、自動的にUSBオーディオレコーダーが選択されます。
- * レコーダーモードに入っているとき、USBメモリが接続されていなければ、自動的に内部MIDIレコーダー選択されます。

■ USB機能

USBメモリに保存されたファイルの消去(Delete)やファイル名変更(Rename)は、USBメニューで行うことができます。(P.92「USBメニューについて」参照)

MIDI レコーダー (内部メモリ)

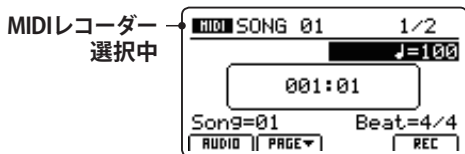
MP11SEのMIDIレコーダーは内部メモリに10曲まで録音することができます。また、録音した曲はSMF (Standard MIDI File)として、またはMP3/WAV形式に変換してUSBメモリに保存することができます。

1 内部メモリに録音する

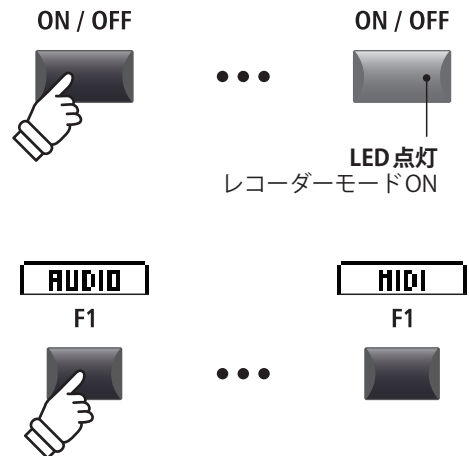
1. レコーダーモードに入る

RECORDERセクションの[ON/OFF]ボタンを押して、ボタンを点灯させます。

レコーダー機能がONになり、ディスプレイにはMIDIレコーダー画面が表示されます。



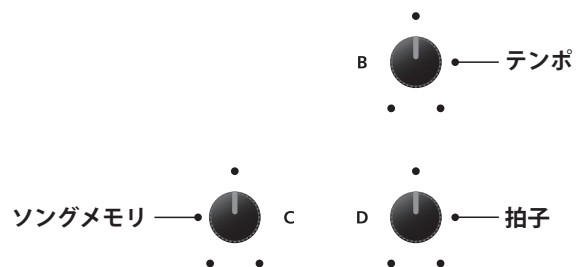
USBメモリが接続されている場合、[F1]ボタン(MIDI)を押して、MIDIレコーダー機能を選びます。



2. ソングメモリを選び、テンポ、ビートを選択する

ノブ[C]を回して新しく録音するソングメモリを選びます。

- * 10曲の内部メモリが用意されています。
- * すでに選択したソングメモリに何か録音されていた場合は自動的に消去され、新たなデータが録音されます。
- * リズムパターン/メトロノームを使つての録音に関してはP. 90をご確認ください。

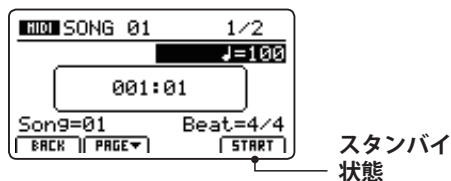


3. 録音の準備

[●]ボタン(REC)を押します。

[●]ボタン(REC)が点滅し、録音スタンバイ状態を示します。

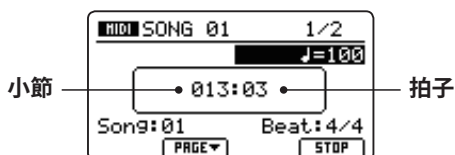
* レコーダー画面で[F4]ボタンを押すことでも録音スタンバイ状態に入れます。



4. 録音を開始する

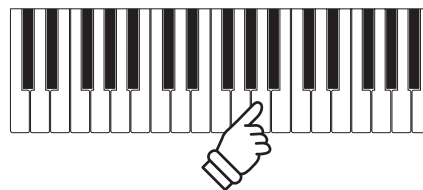
演奏を始めると自動的に録音がスタートします。このとき [●] (REC) ボタンと [▶/■] ボタン (PLAY/STOP) が点灯します。

録音が始まると録音時間の表示が進みます。



* 録音待機状態から、[▶/■] ボタン (PLAY/STOP) を押すことでも、録音が始まります。

* [METRONOME] ボタンを点灯させている場合、1小節分のカウントイン後に録音が始まります。
詳細はP.90をご確認ください。



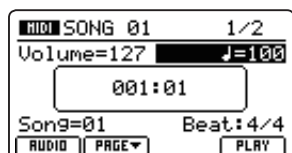
5. 録音を停止する

[▶/■] ボタン (PLAY/STOP) を押します。

[●] ボタン (REC) と [▶/■] ボタン (PLAY/STOP) が消灯し録音が終了します。

* [F4] ボタンを押すことでも録音をとめることができます。

録音を停止するとMIDI再生画面が表示されます。



録音されたデータの再生に関してはP.66をご確認ください。



* 最大録音容量は約90000音です。

* 録音中に記憶容量がいっぱいになったときは [●] ボタン (REC) と [▶/■] ボタン (PLAY/STOP) が消灯し、録音が中止されます。中止される直前までの演奏は録音されます。

* 内部メモリへの書き込み中は、絶対に電源を切らないでください。保存したデータが消えてしまいます。

* レコーダーに録音した内容は本体の電源を切っても消えません。

2 MIDI ソングを再生する

内部メモリに保存されたMIDIソングを再生します。録音直後に再生する場合はステップ3から始めてください。

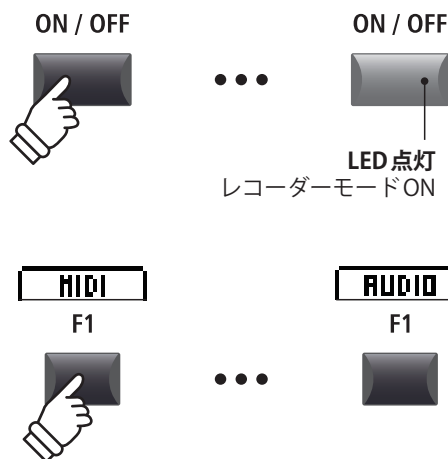
1. MIDI レコーダ画面に入る

RECORDERセクションの[ON/OFF] ボタンを押して、ボタンを点灯させます。

レコーダー機能がONになり、ディスプレイにレコーダー画面が表示されます。



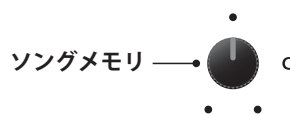
USBメモリが接続されている場合、[F1]ボタン(MIDI)を押して、MIDIレコーダ機能を選びます。



2. 再生するソング(曲)を選択する

ノブ[C]を回し、再生するソングメモリを選ぶ。

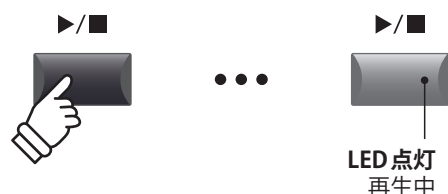
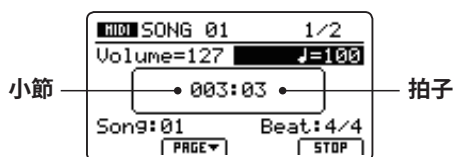
* 再生中はソングの選択はできません。



3. 曲を再生する

[▶/■]ボタン(PLAY/STOP)を押すと、[▶/■]ボタンが点灯し、再生がスタートします。

* [F4]ボタンを押すことでも再生を開始できます。



再生音量とテンポの調整

ノブ[A]及び[B]を回して再生の音量と曲のテンポを変更できます。

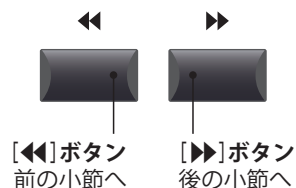
* 音量とテンポは再生中にも変更可能です。



再生箇所の移動

[◀◀][▶▶]ボタンで、早送り、早戻しができます。

* 再生箇所は再生中にも移動可能です。



4. 曲を停止する

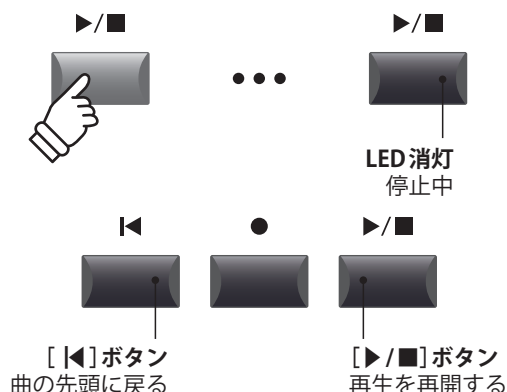
曲を再生している状態で：

[▶/■]ボタン (PLAY/STOP) を押します。

LEDが消灯し、再生が停止します。

* [F4] ボタンを押すことでも再生を停止できます。

再び[▶/■]ボタン (PLAY/STOP) を押すと、停止した位置から再生を開始します。[◀]ボタンを押すと曲の先頭に戻ります。



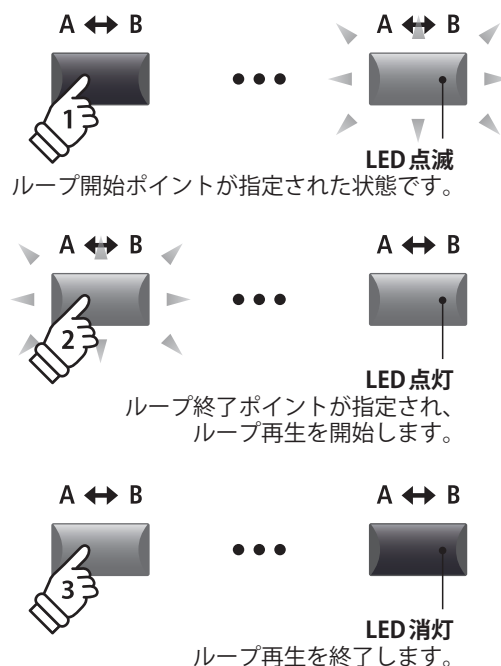
A-Bリピート

A-Bリピート機能を使うと、曲の一部を繰り返しループ再生することができます。

ソング再生中に[A↔B]ボタンを押すと、ループ開始ポイントが指定され、[A↔B]ボタンが点滅します。

再度[A↔B]ボタンを押すと、ループ終了ポイントが指定され、[A↔B]ボタンが点灯して指定された区間が繰り返し再生されます。

A-Bリピートで繰り返し再生されているとき、再度、[A↔B]ボタンを押すと、[A↔B]ボタンが消灯して繰り返し再生が解除されます。

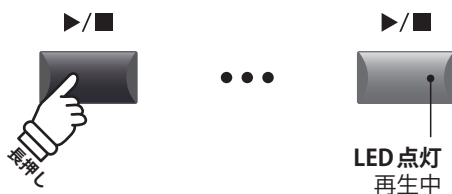
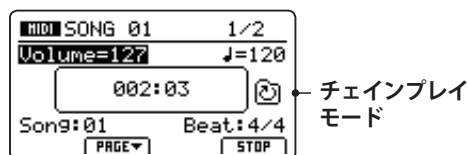


連続再生(チェインプレイ)モード

レコーダーに保存された曲を連続して順番に再生するモードです。

[▶/■]ボタン (PLAY/STOP) を長押しします。

チェインプレイアイコンがディスプレイに表示され、曲が連続して順番に再生されます。



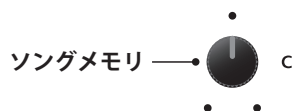
3 SMF形式で保存する

録音したMIDIソングを、SMF(Standard MIDI File)形式でUSBメモリに保存します。

1. 曲を選択する

レコーダーモードをONにして、曲を録音した後：

ノブ[C]を回してUSBメモリに保存したいソングを選びます。



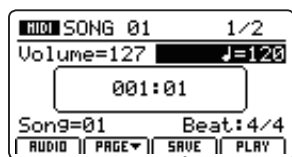
2. USBメモリを接続する

USBポートにUSBメモリを接続してください。

* USBメモリは、FATまたは、FAT32でフォーマットされているものを使用してください。

メモリが認識されると、[F3]ボタン(SAVE)がディスプレイに表示されます。

* このSAVEボタンは、すでに曲がメモリに録音されているときのみ表示されます。

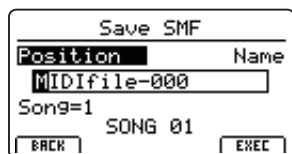
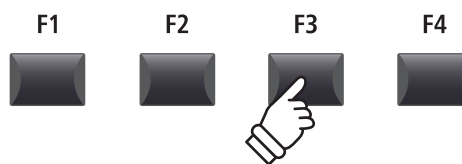


SAVE機能

3. 保存する

[F3]ボタン(SAVE)を押します。

ディスプレイにSave SMF画面が表示されます。



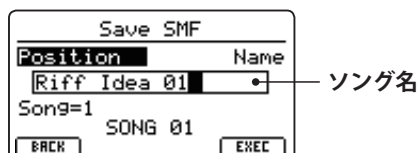
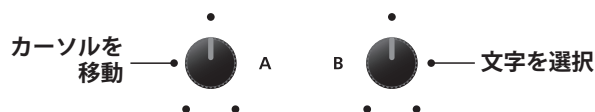
* 使用できる文字一覧はP.94を参照してください。

4. ファイル名を入力する

ノブ[A][B]を回してファイル名を入力する。

* ファイル名は18文字が最大です。

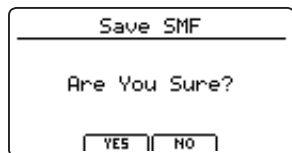
* ファイルはUSBメモリのルートフォルダに保存されます。異なるフォルダへは保存できません。



ソング名

5. 保存を実行する

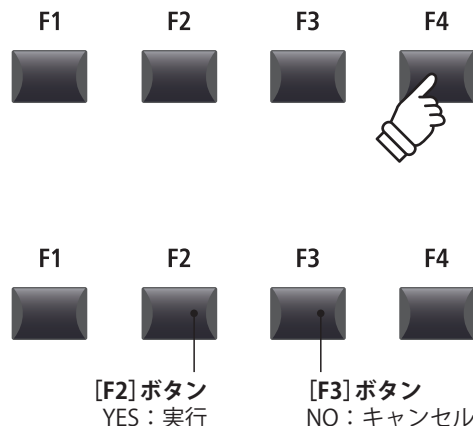
[F4] ボタン (EXEC) を押すと、ディスプレイに確認画面が表示されます。



[+]/YES または [F2] ボタンを押すと、保存が実行されます。

[-]/NO ボタンまたは [F3] ボタンを押すと、STORE (ストア) 画面に戻ります。

* 内部メモリへの書き込み中は、絶対に電源を切らないでください。保存したデータが消えてしまいます。



4 SMF を内部メモリへLOAD (ロード) する

USB メモリの SMF を内部メモリへLOAD (ロード) します。

■ USB メモリの準備

まず、用意した SMF を USB メモリへコピーします。

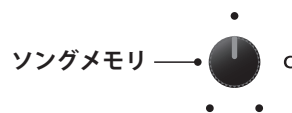


1. 空いている内部メモリを選択する

レコーダーモードを ON にした状態で：

ノブ [C] を回して空きソングを選択します。

* すでに録音済みのソングを選択し、上書きすることも可能です。



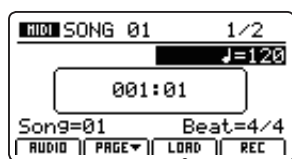
2. USB メモリを接続します

USB ポートに USB メモリを接続します。

* USB メモリは、FAT または、FAT32 でフォーマットされているものを使用してください。

USB メモリを認識し、LOAD ボタンがディスプレイに表示されます。

* LOAD ボタンは選択されている内部ソングが空のときのみ表示されます。内部ソングを消去したい場合は P.72 をご確認ください。



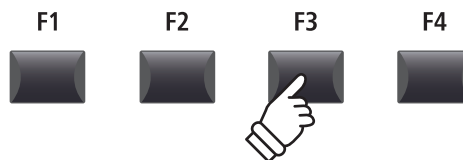
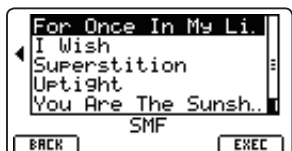
LOAD 機能

4 SMFを内部メモリへLOAD(ロード)する(続き)

3. LOAD(ロード)SMF機能を選ぶ

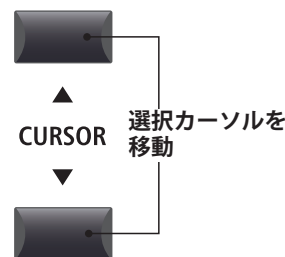
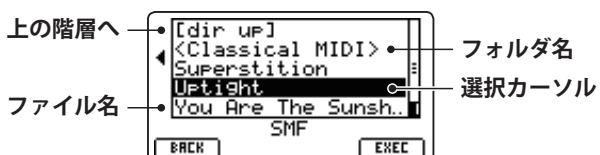
[F3] ボタンを押します。(LOAD)

USB ファイルのルート階層にある SMF ファイルがディスプレイに表示されます。



■ USBのファイル/フォルダリスト画面について

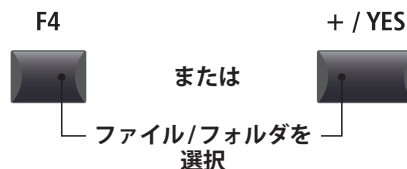
MP11SEのファイルリスト画面はルート階層の関係するファイルとフォルダを表示します。



カーソル上下ボタンで選択カーソルを移動します。

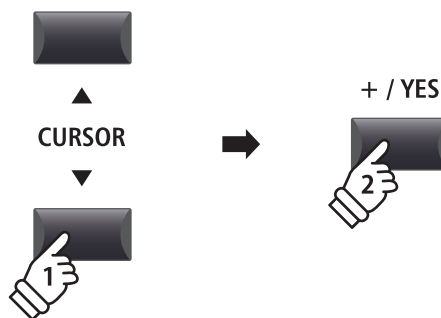
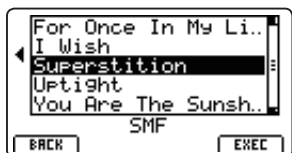
* ノブ[A]でもカーソルを移動することができます。

ファイル/フォルダを選択した状態で[F4] ボタン (EXEC) または「+ / YES」ボタンを押してファイルを選択またはフォルダ内に移動します。



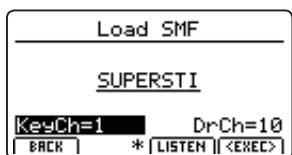
4. SMF ファイルをロードする

カーソル上下ボタンを押して、MIDI ファイルを選択します。



[F4] ボタンまたは [+ / YES] ボタンを押します。

LOAD SMF 画面がディスプレイに表示されます。

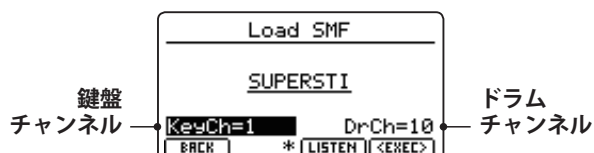


5. 鍵盤チャンネルとドラムチャンネルを選択する

MP11SEのMIDIレコーダーの鍵盤チャンネルとドラムチャンネルに、SMFのどのチャンネルを使用するかをノブ[C][D]を使って指定します。

* MP11SEは、SMFファイルの内容に基づいて自動的に適切なキーボードとドラムトラックを検出します。

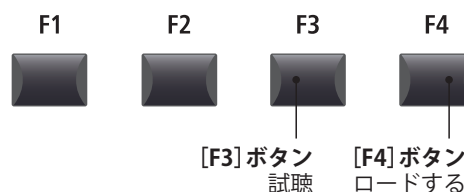
* MP11SEで作られたSMFファイルでは、ドラムトラックはOFFになります。



[F3] ボタン (LISTEN) を押すと、現在のチャンネル設定を試聴することができます。

[F4] ボタン (EXEC) を押すと、選択したSMFファイルを内部メモリにロードします。

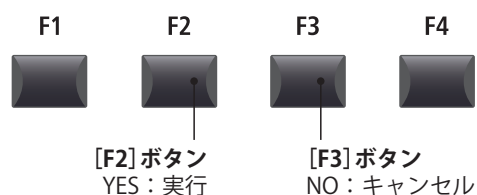
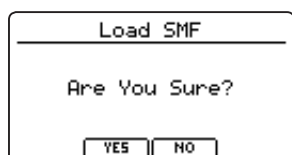
LOAD SMF 確認画面がLCDに表示されます。



6. SMFをLOAD(ロード)する

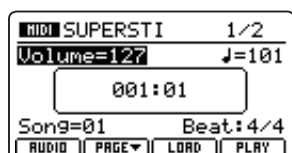
[F2] ボタンまたは[+ / YES] ボタンを押すとSMFが内部メモリへロードされます。

[F3] ボタンまたは[- / NO] ボタンを押すと前の画面に戻ります。



7. LOAD(ロード)したSMFファイルを再生する

SMFファイルをLOAD(ロード)すると、レコーダー画面がディスプレイに表示されます。



再生方法についてはP. 66をご確認ください。

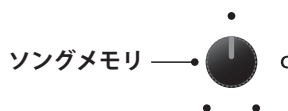
5 内部メモリを消去する

MP11SE本体の不要なソング(曲)を消去して、メモリを空き状態にします。

1. 消去するソングメモリを選ぶ

MIDIレコーダー画面に入った状態で：

ノブ[C]を回して消去したい内部ソングメモリを選択します。

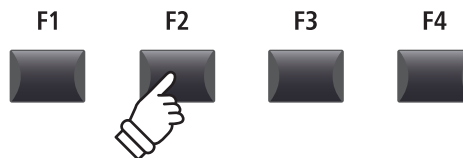
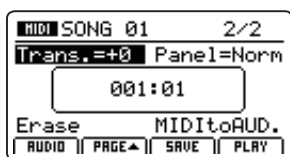


* 全ての曲を一度に消去したい場合は、システムメニューのリセットレコーダー機能を使用してください。(P.111をご確認ください)

2. レコーダー機能の2ページ目を表示する

[F2] ボタンを押します。

レコーダー機能の2ページ目が表示されます。



* カーソル上下ボタンでもページを行き来できます。

3. Erase (消去) を選択する

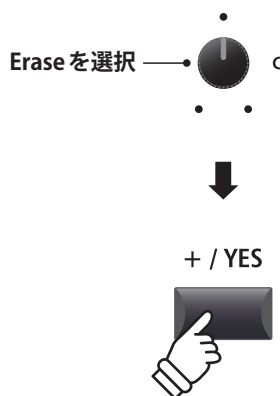
ノブ[C]を回して、カーソルを「Erase」に合わせます。(ハイライト表示)



* 十字カーソルボタンでもカーソル移動可能です。

[+/YES] ボタンを押して、Eraseを選択します。

確認画面がディスプレイに表示されます。

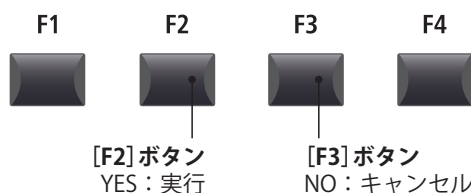
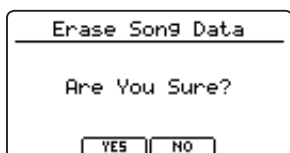


* [●] ボタン (REC) と [[▶/■] ボタン (PLAY/STOP) ボタンを同時に押すことでもソングを消去することができます。

4. 削除する

[F2] ボタンまたは [+/YES] ボタンを押して、削除します。

[F3] ボタンまたは [-/NO] ボタンを押すと前の画面に戻ります。



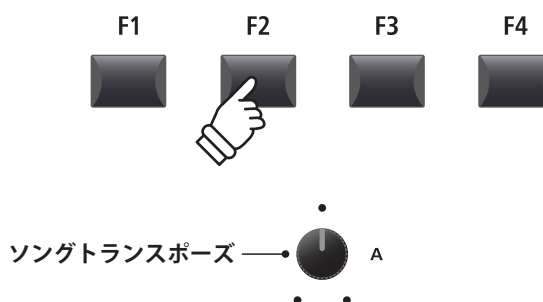
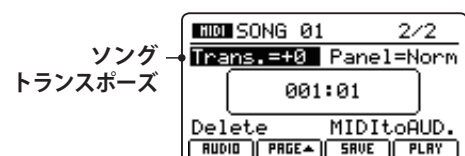
6 曲のトランスポーズ(移調)

MP11SEではLOAD(ロード)したSMFファイルを移調(半音単位)して再生することができます。

■ ソング(曲)のトランスポーズ量を変更する

[F2]ボタンを押して、レコーダー機能の2ページ目を表示します。

ノブ[A]を回してトランスポーズ(移調)量を調整します。



* トランスポーズの範囲は-12 ~ +12(半音)です。

7 パネルモード

内部に録音されたデータを再生する際に、パネルセッティングも再現(現在のパネルセッティングに展開)するかどうかを選択します。

■ パネルモードの種類

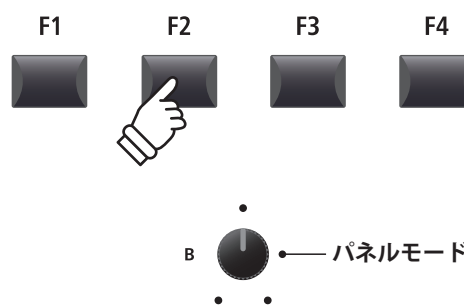
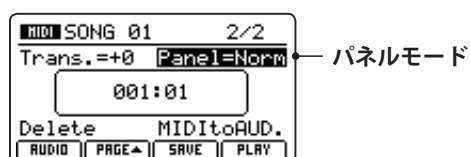
パネルモード	説明
Normal (default)	内部レコーダー再生時、パネルセッティングを再現しない。
Play	内部レコーダー再生時、パネルセッティングを再現(展開)する。(パネルスイッチが切り替わる)

	Normalパネルモード	Playパネルモード
メリット	再生しても現在のパネルセッティングに影響なし。	全ての機能は完全に再現される。
デメリット	データとパネルが独立しているため、エフェクトなどは現在のパネルセッティングで再生される。エフェクト等は録音状態とは異なる場合がある。	録音データの再生によって、現在のパネルセッティングが変更される。

■ パネルモードを変更する

[F2]ボタン(PAGE▼)を押してレコーダー機能の2ページ目を表示します。

ノブ[B]を回してパネルモードタイプを選びます。



8 MIDI to Audio

MIDIをオーディオに変換する機能です。詳細はP.83をご確認ください。

オーディオレコーダー (USBメモリ)

1 オーディオファイルに録音する

MP11SEはラインインも含めたパフォーマンスをMP3やWAV形式で、USBメモリにデジタルオーディオデータとして録音することができます。他の録音機器を用意することなく楽器上でダイレクトに高品質のオーディオ録音ができ、バンドメンバーにメールで送ったり、オーディオプレイヤーで再生したり、ワークステーションで、リミックスしたりと、様々な使い方ができます。

■ オーディオ録音フォーマット仕様

ファイル形式	仕様	ビットレート
MP3	44.1 kHz, 16 bit, Stereo	192 kbit/s (fixed)
WAV	44.1 kHz, 16 bit, Stereo	1,411 kbit/s (uncompressed)

* MPEG Layer-3 audio coding technology licensed from Fraunhofer IIS and Thomson.
MP3 codec is Copyright (c) 1995-2007, SPIRIT

1. USBメモリを接続する

USBデバイスポートにUSBメモリを接続します。

* USBメモリは、FATまたは、FAT32でフォーマットされているものを使用してください。

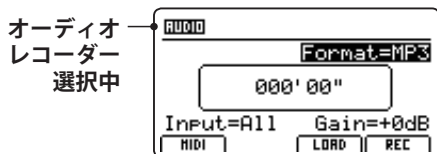


USBメモリが認識されます。

2. レコーダーモードに入る

RECORDERセクションの[ON/OFF]ボタンを押してレコーダーモードに入ります。

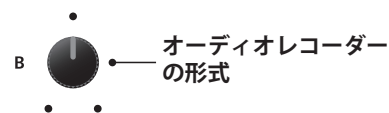
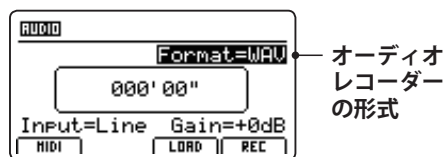
RECORDERセクションの[ON/OFF]ボタンが点灯し、オーディオレコーダー画面がディスプレイに表示されます。



* MIDIレコーダー画面が表示されている場合は、[F1]ボタン(AUDIO)を押して、オーディオレコーダーを選択してください。

■ ファイル形式を選択する

ノブ[B]を回して、目的のオーディオ形式を選択します。



* MP3形式は、WAV形式に比べ、メモリの容量を必要としません。

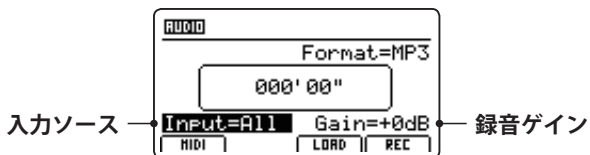
* 1Gバイトのメモリの場合、MP3形式で12時間を越える録音ができます。

■ 入力ソースの選択とゲインの設定

ノブ[C]を回して入力ソースを選択します。

ノブ[D]を回して録音ゲインを設定します。

静かな曲の録音のときはゲインをあげて録音してください。



入力	説明
All	MP11SEの音とラインインの音の両方。
Line	ラインインの音のみを録音。



* ゲインレベルは-18dB ~ +18dBの間で設定可能です。

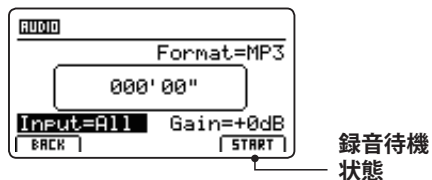
3. 録音待機状態に入る

RECORDERセクションの[●] (REC) ボタンを押します。

このとき[●] (REC) ボタンが点滅し、録音待機状態を示します。

* レコーダーモードから、[F4] ボタンを押すことでも、録音待機状態に移行します。

* USBメモリを挿すと認識に時間がかかることがあります。

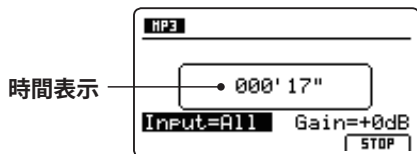
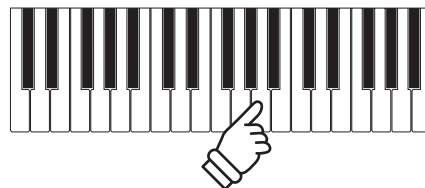


4. 録音をスタートする

演奏を始めると自動的に録音が始まります。

このとき[●] (REC) ボタンと[▶/■] (PLAY/STOP) ボタンが点灯します。

ディスプレイ中央に時間が表示され、録音が始まります。



* 録音待機状態から、[PLAY/STOP ▶/■] ボタンを押すことでも、録音が始まります。

* [METRONOME] ボタンを点灯させると、1小節分のカウントイン後に録音が始まります。

オーディオレコーダー (USBメモリ)

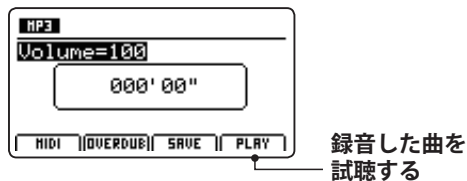
5. 録音をストップし、録音結果を試聴する

[▶/■] (PLAY/STOP) ボタンを押します。

[●] (REC) ボタンと [▶/■] (PLAY/STOP) ボタンが消灯し録音が終了します。

* [F4] ボタンでも録音を停止することができます。

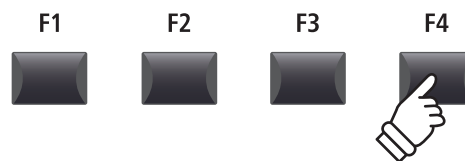
録音を停止するとオーディオプレイヤー画面がディスプレイに表示されます。



[F4] ボタン (PLAY) または [▶/■] ボタン (PLAY/STOP) を押すと録音データを保存する前に視聴することができます。



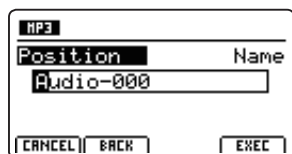
* [●] ボタン (REC) と [▶/■] ボタン (PLAY/STOP) を同時に押すと、録音されたファイルが消去されます。



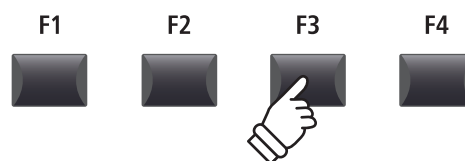
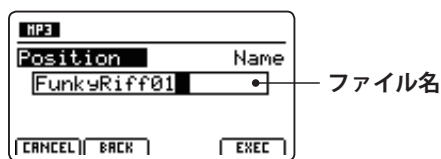
6. ファイル名をつける

[F3] ボタンを押します。(SAVE)

ディスプレイにオーディオファイルのSAVE(セーブ)画面が表示されます。



ノブ[A][B]を使って、ファイル名を編集します。



* ファイル名は最大18文字です。

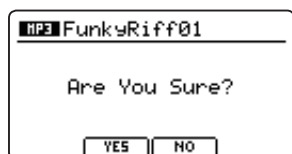
* ファイルはUSBメモリのルートフォルダに保存されます。異なるフォルダへは保存できません。

* 使用できる文字一覧はP.94を参照してください。

7. オーディオファイルを保存する

[F4] ボタンを押します。(EXEC)

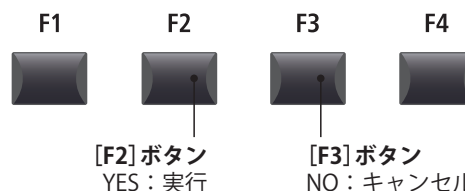
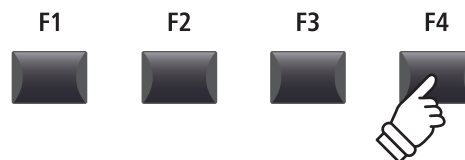
確認画面がディスプレイに表示されます。



[F2] ボタンまたは [+ / YES] ボタンを押すと保存されます。

[F3] ボタンまたは [- / NO] ボタンを押すと前の画面に戻ります。

* 書き込み中は、絶対に電源を切らないでください。保存したデータが消えてしまいます。



2 オーディオファイルを再生する

MP11SEはUSBメモリに保存されたMP3やWAV形式のオーディオファイルを再生できます。

本格的なバックグラウンドトラックを鳴らしながら1人でパフォーマンスしたり、曲を聞いて、コードやメロディを聞き取る作業を行うときなどに便利です。

■ オーディオ再生ファイルフォーマット仕様

ファイル形式	仕様	ビットレート
MP3	32 kHz/44.1 kHz/48 kHz, Mono/Stereo	8 ~ 320 kbit/s (fixed & variable)
WAV	32 kHz/44.1 kHz/48 kHz, Mono/Stereo, 8 bit/16 bit	—

* MPEG Layer-3 audio coding technology licensed from Fraunhofer IIS and Thomson.
MP3 codec is Copyright (c) 1995-2007, SPIRIT

■ USBメモリの準備

まず、用意したMP3またはWAVファイルをUSBメモリへコピーします。

* USBメモリは、FATまたは、FAT32でフォーマットされているものを使用してください。



1. USBメモリを接続する

USBデバイスポートにUSBメモリを接続します。

USBメモリが認識されます。



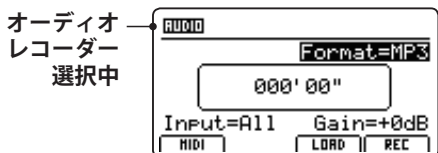
2. レコーダーモードに入る

RECORDERセクションの[ON/OFF]ボタンを押してレコーダーモードに入ります。

RECORDERセクションの[ON/OFF]ボタンが点灯し、オーディオレコーダー画面がディスプレイに表示されます。



レコーダー

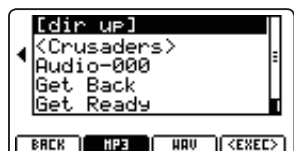
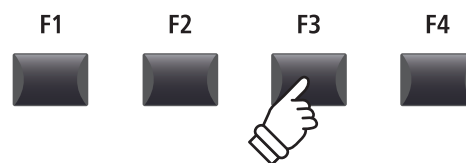


* MIDIレコーダー画面が表示されている場合は、[F1]ボタン(AUDIO)を押して、オーディオレコーダーを選択してください。

3. LOAD(ロード)するファイルを選択する

[F3]ボタンを押します。(LOAD)

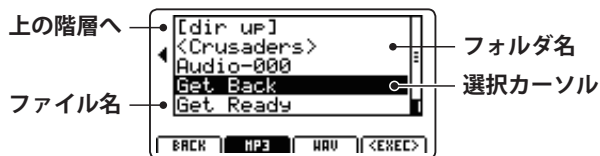
USBメモリのルート階層にあるフォルダとMP3のファイルリストがディスプレイに表示されます。



2 オーディオファイルを再生する (続き)

■ USBメモリのファイル/フォルダリストの画面

MP11SEのファイル/フォルダリスト画面はUSBメモリに保存されているファイルとフォルダをリスト表示します。



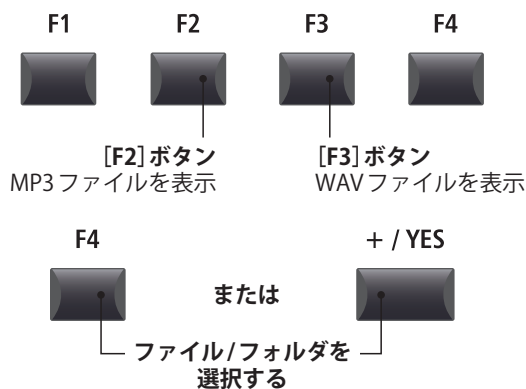
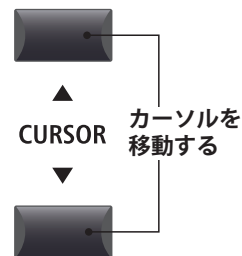
[CURSOR▲] [CURSOR▼] ボタンを使ってカーソルを動かして、ファイルを選択します。

* ノブ[A]を回してもファイルを選択できます。

[F2] [F3] ボタンで、MP3とWAVフォーマットを切り換えることができます。

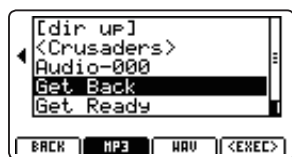
* 初期値ではMP3が選択されています。

[F4] ボタンまたは[+ / YES] ボタンを押して、ファイルまたはフォルダを選択します。



4. LOAD (ロード) するオーディオファイルを選ぶ

[CURSOR▲] [CURSOR▼] ボタンで目的のファイルを選びます。

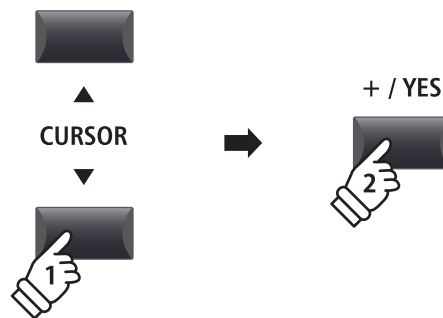


[F4] ボタンまたは[+ / YES] ボタンを押します。

オーディオプレイヤー画面がディスプレイに表示されます。



* ID3タグなどのメタデータを持っている場合は、その曲名/アーティスト名が表示されます。

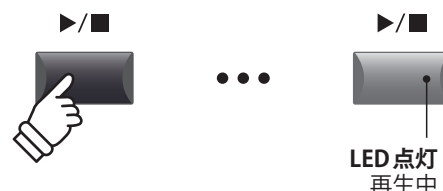


5. 再生する

[▶/■] (PLAY/STOP) ボタンを押します。

[▶/■] (PLAY/STOP) ボタンが点灯し、再生がスタートします。

* [F4] ボタン (PLAY) を押すことでも再生することができます。



■ 再生箇所の移動

[◀◀][▶▶]ボタンで、早送り、早戻しができます。



6. 曲を停止する

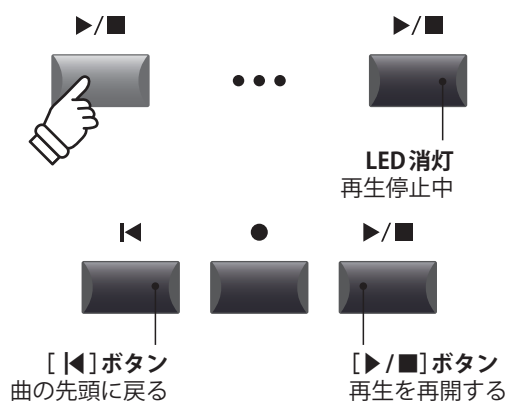
曲を再生している状態で：

[▶/■]ボタン (PLAY/STOP) を押します。

LED が消灯し、再生が停止します。

再び [▶/■] ボタン (PLAY/STOP) を押すと、停止した位置から再生を開始します。また [◀] ボタンでデータの先頭に戻ります。

* [F4] ボタン (STOP) を押すことでも再生を停止できます。



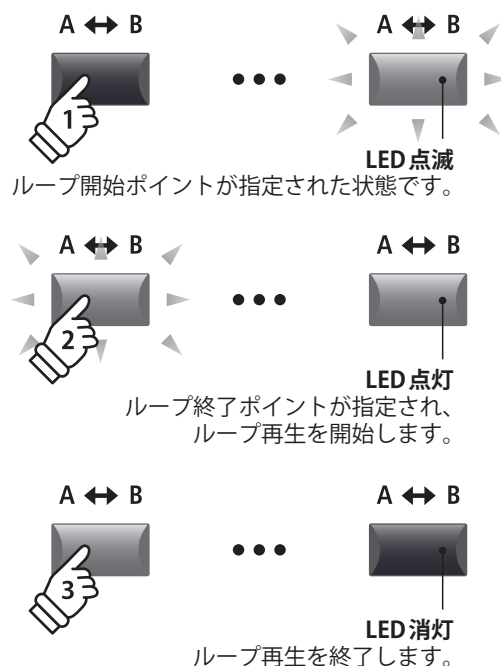
■ A-B リピート

A-B リピート機能を使うと、曲の一部を繰り返しループ再生することができます。

ソング再生中に [A↔B] ボタンを押すと、ループ開始ポイントが指定され、[A↔B] ボタンが点滅します。

再度 [A↔B] ボタンを押すと、ループ終了ポイントが指定され、[A↔B] ボタンが点灯して指定された区間が繰り返し再生されます。

A-B リピートで繰り返し再生されているとき、再度、[A↔B] ボタンを押すと、[A↔B] ボタンが消灯して繰り返し再生が解除されます。

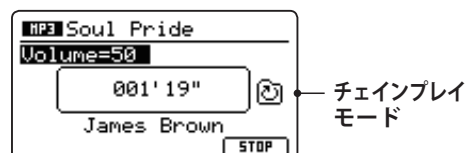


■ 連続再生 (チェインプレイ) モード

フォルダ内に保存されたオーディオファイルを連続して順番に再生するモードです。

[▶/■] ボタン (PLAY/STOP) を長押しします。

チェインプレイアイコンがディスプレイに表示され、曲が連続して順番に再生されます。



3 オーバーダビングする

MP11SE上で直接既存のオーディオのファイルに追加録音し、簡単なマルチトラック録音を行うことができます。

またオーバーダビング録音では、毎回一時的にファイルが作成されますので、一度保存したファイル、既存のオーディオファイルが修正されることはありません。

* 最終的に保存作業を行っていないと、そのときの録音結果は次のオーバーダビング録音で失われますのでご注意ください。

1. USBメモリを接続する

USB デバイスポートにUSBメモリを接続します。

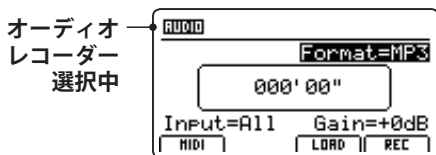
USBメモリが認識されます。



2. レコーダーモードに入る

RECORDER セクションの [ON/OFF] ボタンを押してレコーダーモードに入ります。

RECORDER セクションの [ON/OFF] ボタンが点灯し、オーディオレコーダー画面がディスプレイに表示されます。

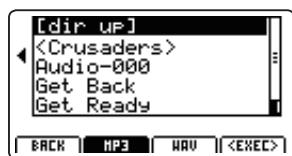
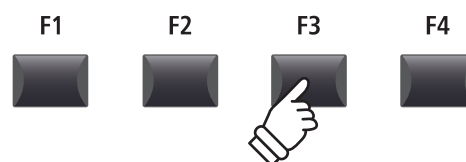


* MIDIレコーダー画面が表示されている場合は、[F1] ボタン (AUDIO) を押して、オーディオレコーダーを選択してください。

3. オーバーダビングしたいファイルを選択する

[F3] ボタンを押します。(LOAD)

USBメモリのルート階層にあるフォルダとMP3のファイルリストがディスプレイに表示されます。



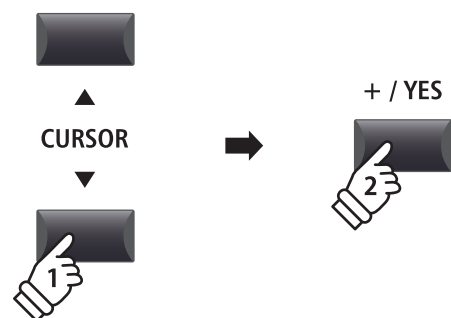
4. LOAD (ロード) するオーディオファイルを選ぶ

[CURSOR▲] [CURSOR▼] ボタンで目的のファイルを選びます。



[F4] ボタンまたは [+ / YES] ボタンを押します。

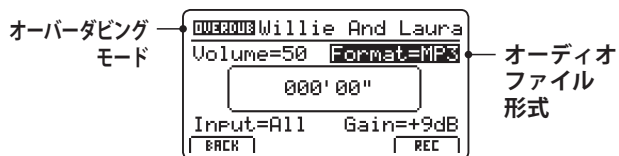
オーディオプレイヤー画面がディスプレイに表示されます。



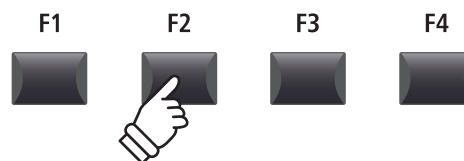
5. オーバーダビングモードへ入る

[F2] (OVERDUB) ボタンを押します。

オーバーダビング画面が表示されますので、ノブ[B]を使って、目的のオーディオファイル形式を選びます。



- * MP3形式は、WAV形式に比べ、メモリの容量を必要としません。
- * 1Gバイトのメモリの場合、MP3形式で12時間を越える録音ができます。

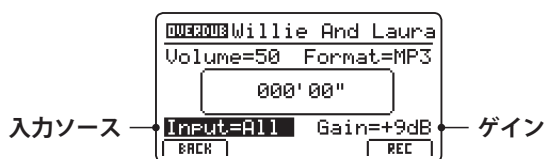


■ 入力ソースの選択とゲインの設定

ノブ[C]を回して入力ソースを選択します。

ノブ[D]を回して録音ゲインを設定します。

静かな曲の録音のときはゲインをあげて録音してください。



- * ゲインレベルは-18dB ~ +18dBの間で設定可能です。

入力	説明
All	MP11SEの音とラインインの音の両方。
Line	ラインインの音のみを録音。



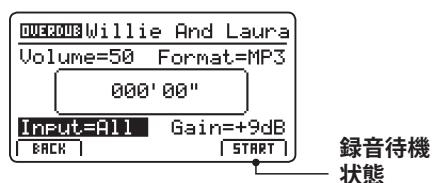
6. オーバーダビングの待機状態に入る

RECORDERセクションの[●]ボタン(REC)を押します。

このとき[●]ボタン(REC)が点滅し、録音待機状態を示します。

- * レコーダーモードから、[F4]ボタンを押すことでも、録音待機状態に移行します。

- * USBメモリを挿すと認識に時間がかかることがあります。

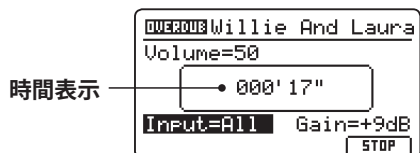


7. オーバーダビング録音をスタートする

演奏を始めると自動的に録音がスタートします。

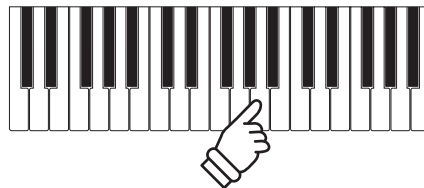
このとき[●] (REC) ボタンと[▶/■] (PLAY/STOP) ボタンが点灯します。

ディスプレイ中央に時間が表示され、録音が始まります。



* 録音待機状態から、[▶/■] (PLAY/STOP) ボタンを押すことでも、録音が開始できます。

* [METRONOME] ボタンを点灯させると、1小節分のカウントイン後に録音が始まります。



8. オーバーダビング録音を停止する

[▶/■] ボタン (PLAY/STOP) を押します。

[●] ボタン (REC) と [▶/■] ボタン (PLAY/STOP) が消灯し録音が終了します。

* [F4] ボタンでも録音を停止することができます。

録音を停止するとオーディオプレイヤー画面がディスプレイに表示されます。

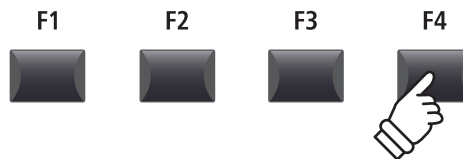


オーバーダビングを試聴する

[F4] ボタンを押すと保存する前に録音を試聴することができます。



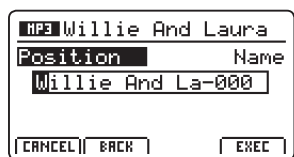
* [●] ボタン (REC) と [▶/■] ボタン (PLAY/STOP) を同時に押すと、録音されたファイルが消去されます。



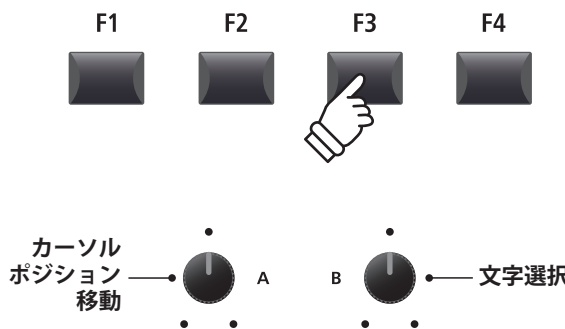
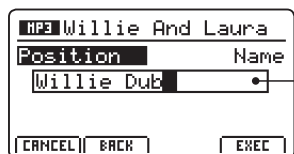
9. ファイル名をつける

[F3] ボタン (SAVE) を押します。

ディスプレイにオーディオファイルのSAVE(セーブ)画面が表示されます。



ノブ[A] [B]を使って、ファイル名を編集します。



* ファイル名は最大18文字です。

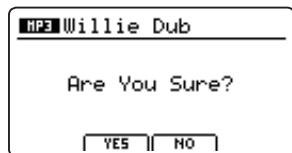
* ファイルはUSBメモリのルートフォルダに保存されます。異なるフォルダへは保存できません。

* 使用できる文字一覧はP.94を参照してください。

10. オーディオファイルを保存する

[F4] ボタンを押します。(EXEC)

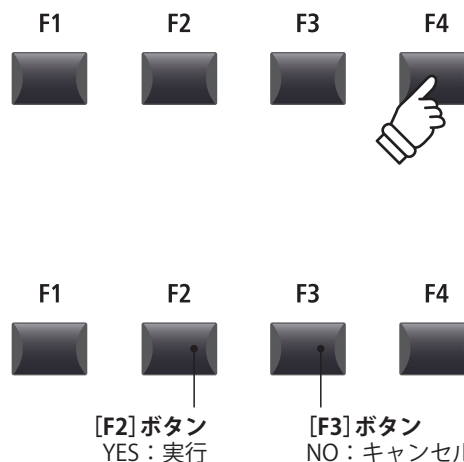
確認画面がディスプレイに表示されます。



[F2] ボタンまたは [+ / YES] ボタンを押すと保存されます。

[F3] ボタンまたは [- / NO] ボタンを押すと前の画面に戻ります。

* 書き込み中は、絶対に電源を切らないでください。保存したデータが消えてしまいます。



4 MIDIソングをオーディオ変換する

内部メモリに録音されたMIDIソングをMP3/WAV形式に変換しながら、USBメモリへ録音することができます。

1. USBメモリを接続する

USBデバイスポートにUSBメモリを接続します。

* USBメモリは、FATまたは、FAT32でフォーマットされているものを使用してください。

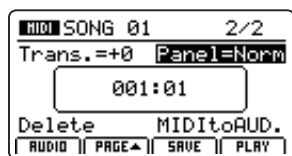
USBメモリが認識されます。



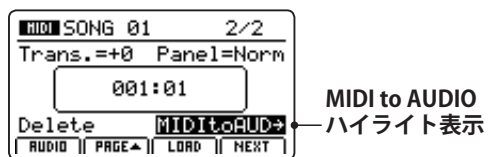
2. MIDIレコーダー画面に入り、MIDI to Audio機能を選択します

MIDIレコーダーを選択した状態で：

[F2] ボタンを押してMIDIレコーダーの2ページ目を表示します。



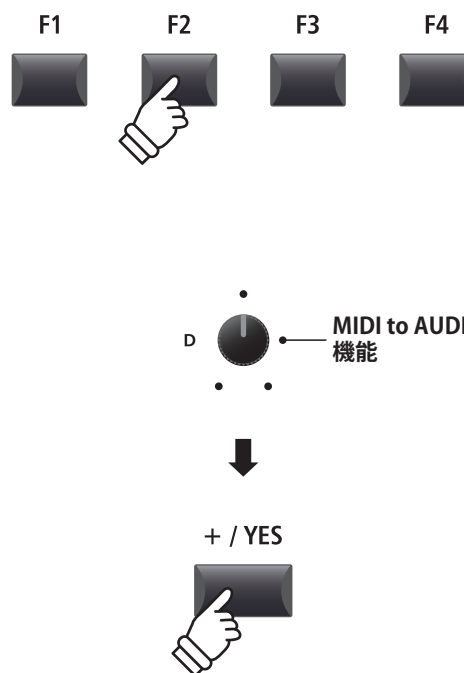
ノブ[D]を回してMIDI to AUDIO機能をにカーソルを合わせます。



* カーソルボタンでも選択可能です。

[+ / YES] ボタンを押して、MIDI to AUDIO機能を選択します。

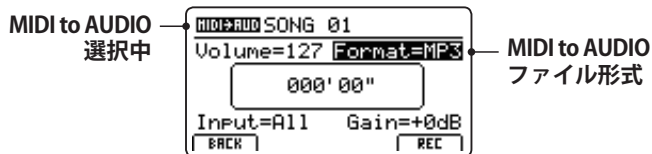
MIDI to AUDIO機能がディスプレイに表示されます。



4 MIDIソングをオーディオ変換する(続き)

3. オーディオフォーマットを選ぶ

ノブ[B]を使って目的のオーディオフォーマットを選び、ノブ[A]で再生音量を調整します。



- * MP3形式は、WAV形式に比べ、メモリの容量を必要としません。
- * 1Gバイトのメモリの場合、MP3形式で12時間を越える録音ができます。

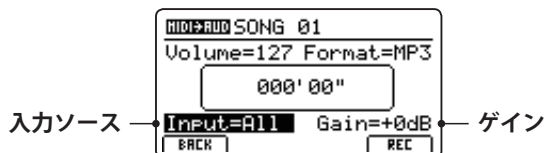
■ 入力ソースの選択とゲインの設定

ノブ[C]を回して入力ソースを選択します。

ノブ[D]を回して録音ゲインを設定します。

静かな曲の録音のときはゲインをあげて録音してください。

入力	説明
All	MP11SEの音とラインインの音の両方。
Line	ラインインの音のみを録音。



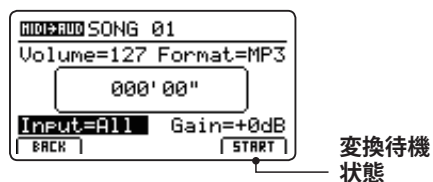
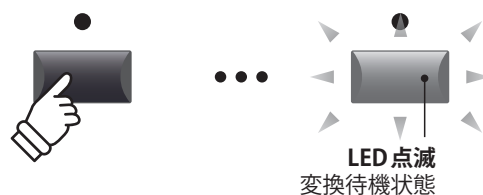
- * ゲインレベルは-18dB ~ +18dBの間で設定可能です。

4. 変換の待機状態に入る

RECORDERセクションの[●] (REC) ボタンを押します。

このとき[●] (REC) ボタンが点滅し、録音待機状態を示します。

- * レコーダーモードから、[F4] ボタンを押すことでも、録音待機状態に移行します。



5. 変換を開始する(録音)

[▶/■] (PLAY/STOP) ボタンを押します。

このとき [●] (REC) ボタンと [▶/■] (PLAY/STOP) ボタンが点灯します。

ディスプレイ中央に時間が表示され、録音が始まります。



録音された曲の最後まで再生されると、変換は自動的に終了します。

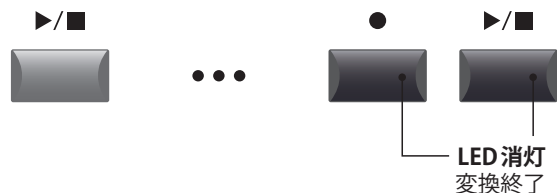
* [▶/■] (PLAY/STOP) ボタンまたは [F4] ボタンを変換中に押すと、変換は途中で終了します。

[●] (REC) ボタンと [▶/■] (PLAY/STOP) ボタンが消灯し、変換が終了します。



* 変換は [F4] ボタンを押すことでも開始されます。

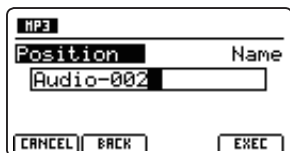
* このとき鍵盤を弾くと、鍵盤の演奏音も同時にオーディオ録音されます。



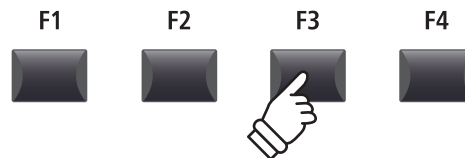
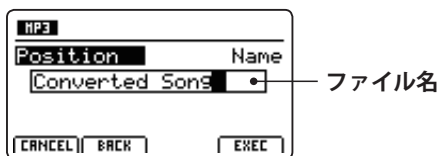
6. 変換を保存し、ファイル名をつける

[F3] ボタンを押します。(保存)

ディスプレイにオーディオファイルのSAVE(セーブ)画面が表示されます。



ノブ[A][B]を使って、ファイル名を編集します。



* ファイル名は最大18文字です。

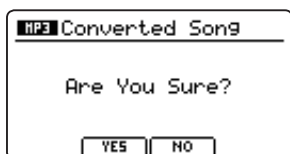
* ファイルはUSBメモリのルートフォルダに保存されます。異なるフォルダへは保存できません。

* 使用できる文字一覧はP.94を参照してください。

7. 変換したオーディオファイルを保存する

[F4] ボタンを押します。(EXEC)

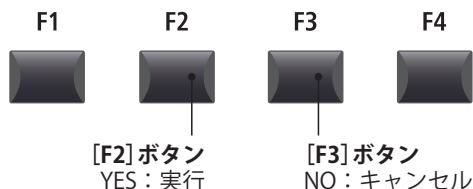
確認画面がディスプレイに表示されます。



[F2] ボタンまたは [+ / YES] ボタンを押すと保存されます。

[F3] ボタンまたは [- / NO] ボタンを押すと前の画面に戻ります。

* 書き込み中は、絶対に電源を切らないでください。保存したデータが消えてしまいます。



メトロノーム

メトロノームを鳴らしてテンポを確認したり、リズムパターンを加えて演奏することができます。

通常のメトロノーム音による拍子他、ドラム音色によるポップス/ロック/バラード/ジャズなど多彩なリズムを内蔵しています。

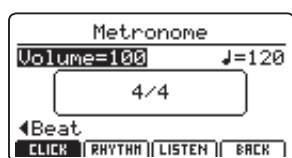
1 クリックモード

クリックモードでは、数種類の異なる拍子で単純なクリック音のメトロノームを鳴らすことができます。

■メトロノーム機能を使う

[METRONOME] ボタンを押します。

[METRONOME] ボタンが点灯し、ディスプレイにメトロノーム機能が表示されます。



クリックモード
選択

METRONOME



METRONOME



LED点灯
メトロノームON

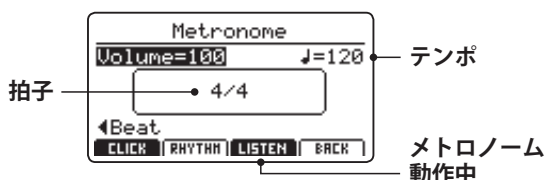
*メトロノームはまだ発音しません。

*メトロノームは初期値はClick modeに設定されています。

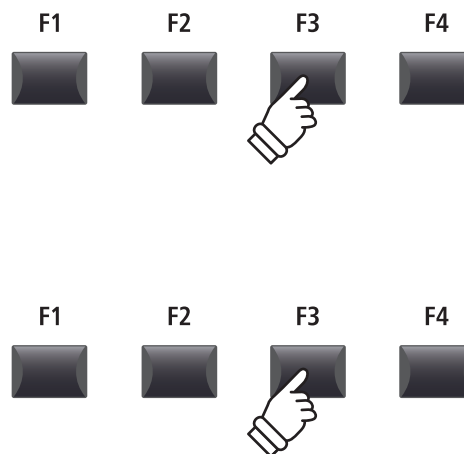
■メトロノームの発音開始、停止

[F3] ボタン (LISTEN) を押します。

画面下の [LISTEN] アイコンが反転し、メトロノームが発音します。

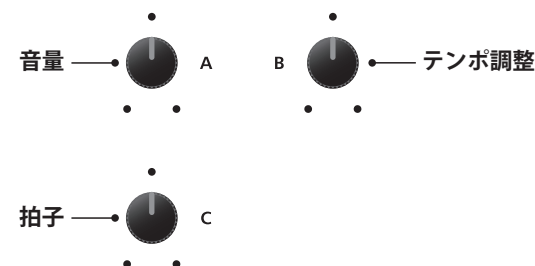
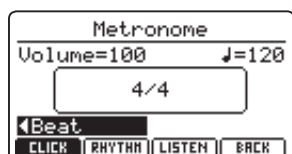


再び [F3] ボタン (LISTEN) を押すと、メトロノームのカウントが止まり、[LISTEN] アイコンの反転が戻ります。



■メトロノームの音量、テンポ、拍子の設定

ノブ [A] [B] [C] を回してメトロノームの音量、テンポ、拍子を調整します。



*メトロノームのテンポは、30～300(8分の拍子のときは、60～600)の範囲で設定できます。

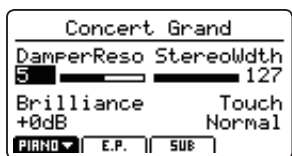
*拍子は1/4, 2/4, 3/4, 4/4, 5/4, 3/8, 6/8, 7/8, 9/8, 12/8より選択できます。

*好みのメトロノームのセッティングはSETUPまたはPOWERONメモリに保存すればすぐに呼び出すことができます。

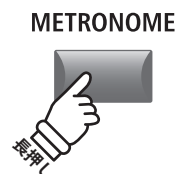
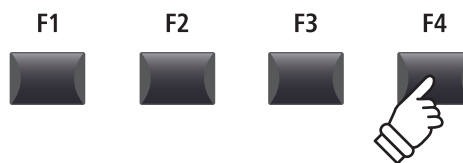
■ 通常演奏画面に戻る

メトロノームが鳴っている状態で：

[F4] ボタン(バック)を押すと、メトロノームを鳴らした状態のまま通常演奏画面に戻ることができます。



[METRONOME] ボタンを長押しすると再びメトロノームの調整画面が表示されます。



2 リズムモード

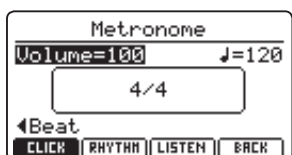
リズムモードではメトロノーム機能としてリズムパターンを鳴らすことができます。13のカテゴリに分かれた100種類の異なるドラムパターンがあります。

* ドラムパターンのリストはP.89をご確認ください。

■ メトロノーム機能を使う

[METRONOME] ボタンを押します。

[METRONOME] ボタンが点灯し、ディスプレイにメトロノーム機能が表示されます。



* メトロノームはまだ発音しません。

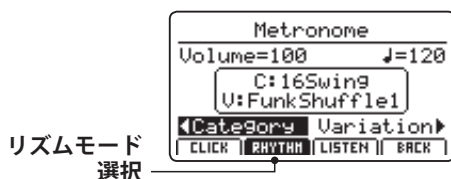
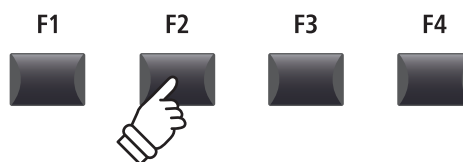
* メトロノームは初期値はClick modeに設定されています。

■ リズムモードを選択する

[F2] ボタン(RHYTHM)を押します。

画面下の[RHYTHM]アイコンが反転し、リズムモードが選択されます。

現在のリズムパターンのカテゴリとバリエーションがディスプレイに表示されます。

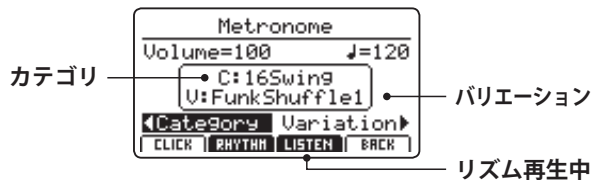


2 リズムモード (続き)

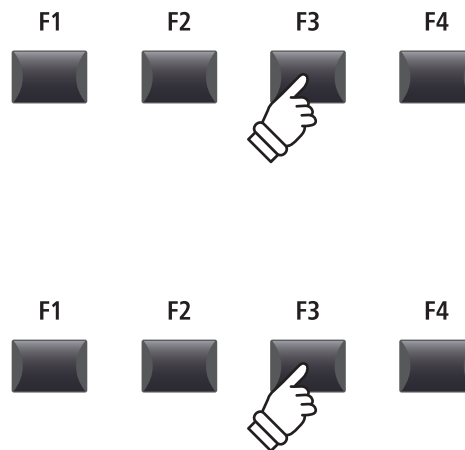
■ ドラムパターンの発音開始、停止

[F3] ボタン (LISTEN) を押します。

画面下の [LISTEN] アイコンが反転し、選択したリズムカテゴリ・バリエーションのドラムパターンが発音開始します



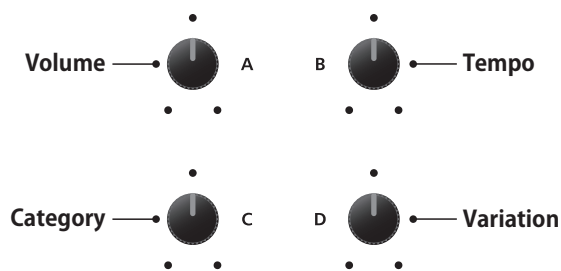
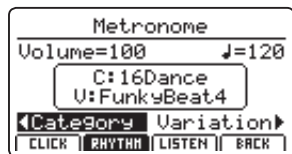
ドラムパターンを停止するには [F3] ボタン (LISTEN) をもう一度押してください。



■ ドラムパターンの音量、テンポ、カテゴリ、バリエーションの選択

ノブ [A] [B] を回してドラムパターンの音量とテンポを調整します。

ノブ [C] [D] を回してドラムパターンのカテゴリとバリエーションを選択します。



* メトロノームのテンポは、30～300の範囲で設定できます。

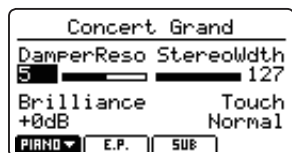
* ドラムパターンのリストはP.89をご確認ください。

* 好みのメトロノームのセッティングはSETUPまたはPOWERONメモリに保存すればすぐに呼び出すことができます。

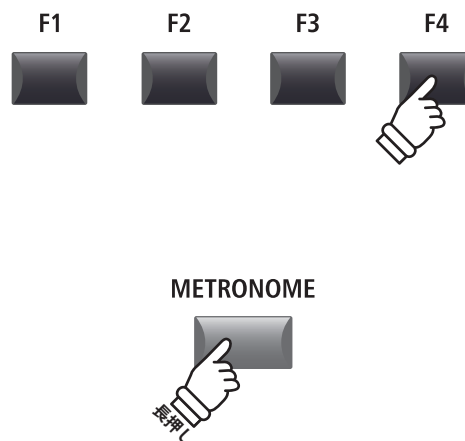
■ 通常演奏画面に戻る

ドラムパターンが鳴っている状態で：

[F4] ボタン (バック) を押すと、ドラムパターンを鳴らした状態のまま通常演奏画面に戻ることができます。



[METRONOME] ボタンを長押しすると再びメトロノームの調整画面が表示されます。



■ ドラムパターン一覧

16 Swing	
1	Funk Shuffle 1
2	Funk Shuffle 2
3	Hip Hop 1
4	Hip Hop 2
5	Hip Hop 3
6	Hip Hop 4
7	16 Shuffle 1
8	16 Shuffle 2
9	16 Shuffle 3

16 Funk	
10	Funky Beat 1
11	Funky Beat 2
12	Funky Beat 3
13	Funk 1
14	Funk 2
15	Funk 3

16 Straight	
16	Jazz Funk
17	16 Beat 1
18	16 Beat 2
19	16 Beat 3
20	16 Beat 4
21	Ride Beat 4
22	Rim Beat
23	Roll Beat
24	Light Ride 1
25	Dixie Rock

16 Latin	
26	Surdo Samba
27	Latin Groove
28	Light Samba
29	Songo
30	Samba
31	Merenge

16 Dance	
32	Funky Beat 4
33	16 Beat 5
34	Disco 1
35	Disco 2
36	Techno 1
37	Techno 2
38	Techno 3
39	Heavy Techno

16 Ballad	
40	Ballad 1
41	Ballad 2
42	Ballad 3
43	Ballad 4
44	Ballad 5
45	Light Ride 2
46	Electro Pop 1
47	Electro Pop 2
48	16 Shuffle 4

8 Ballad	
49	Slow Jam
50	50's Triplet
51	R&B Triplet

8 Straight	
52	8 Beat 1
53	8 Beat 2
54	Smooth Beat
55	Pop 1
56	Pop 2
57	Ride Beat 1
58	Ride Beat 2
59	Ride Beat 3
60	Slip Beat

8 Rock	
61	Jazz Rock
62	8 Beat 3
63	Rock Beat 1
64	Rock Beat 2
65	Rock Beat 3
66	Rock Beat 4
67	Blues/Rock
68	Heavy Beat
69	Hard Rock
70	Surf Rock
71	R&B

8 Swing	
72	Motown 1
73	Fast Shuffle
74	Motown 2
75	Country 2 Beat

Triplet	
76	Triplet Rock 1
77	Triplet Rock 2
78	Bembe
79	Rock Shuffle 1
80	Rock Shuffle 2
81	Boogie
82	Triplet 1
83	Triplet 2
84	Reggae
85	Gospel Ballad
86	Waltz

Jazz	
87	H.H. Swing
88	Ride Swing
89	Fast 4 Beat
90	Afro Cuban
91	Jazz Waltz 1
92	Jazz Waltz 2
93	5/4 Swing

8 Latin	
94	H.H. Bossa
95	Ride Bossa
96	Beguine
97	Mambo
98	Cha Cha
99	Tango
100	Habanera

3 メトロノームを使って録音する

メトロノームを鳴らしながら録音することは、録音される曲のテンポを一定に保つのに有効です。

以下の説明は例として内部レコーダーへ録音する手段を記載します。

USBファイルへのMP3/WAV録音も可能です。

1. レコーダーモードに入る

RECORDERセクションの[ON/OFF]ボタンを押してレコーダーモードに入ります。

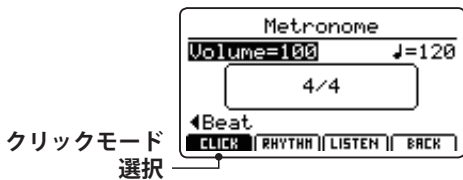
RECORDERセクションの[ON/OFF]ボタンが点灯し、オーディオレコーダー画面がディスプレイに表示されます。



2. メトロノーム機能をONにする

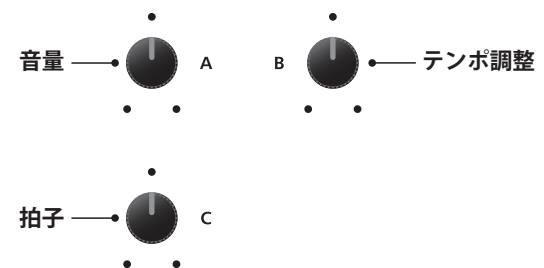
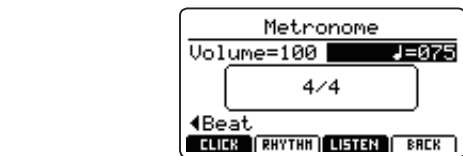
[METRONOME]ボタンを押します。

[METRONOME]ボタンが点灯し、ディスプレイにメトロノーム機能が表示されます。



3. メトロノームの音量、テンポ、拍子の設定をし、メトロノームを鳴らす

ノブ[A] [B] [C]を回してメトロノームの音量、テンポ、拍子を調整します。

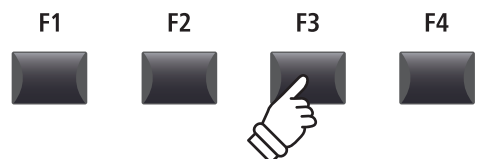


[F3]ボタン(LISTEN)を押すと、現在のメトロノームセッティングで発音します。

* メトロノームのテンポは、30～300(8分の拍子のときは、60～600)の範囲で設定できます。

* 拍子は1/4, 2/4, 3/4, 4/4, 5/4, 3/8, 6/8, 7/8, 9/8, 12/8より選択できます。

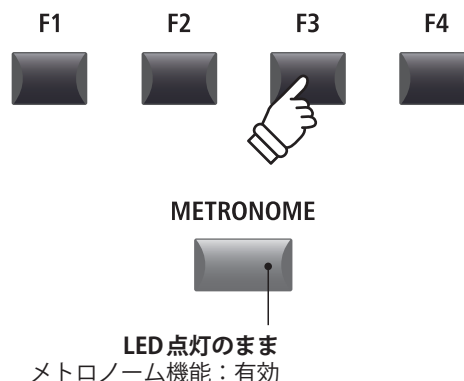
* 好みのメトロノームのセッティングはSETUPまたはPOWERONメモリに保存すればすぐに呼び出すことができます。



4. レコーダー画面に戻る

[F4] ボタン (BACK) を押すと、レコーダー画面に戻ります。

[METRONOME] ボタンは点灯したままで、メトロノーム機能が有効であることを示します。



5. 録音待機状態

[●] (REC) ボタンを押します。

[●] (REC) ボタンが点滅を開始し、待機状態を表します。

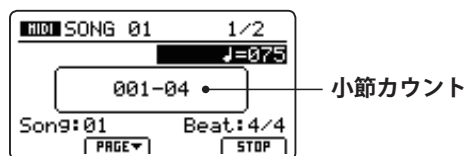
* [F4] ボタン (REC) でも録音待機状態に移行します。



6. 録音を開始する

[▶/■] ボタン (PLAY/STOP) または [F4] ボタン (REC) を押します。

1小節分のカウントインの後、録音が始まります。



* 録音待機状態で鍵盤を弾きはじめると自動的に録音が始まりますが、その場合はカウントインはありません。

* クリックモードで録音した場合、クリック音は録音されません。リズムモードで録音した場合、ドラムパターンも録音されます。

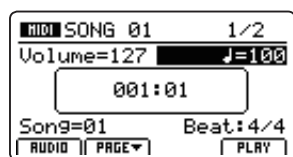
7. 録音を停止する

[▶/■] ボタン (PLAY/STOP) を押します。

[●] ボタン (REC) と [▶/■] ボタン (PLAY/STOP) が消灯し録音が終了します。

* [F4] ボタンを押すことでも録音をとめることができます。

録音を停止すると MIDI 再生画面が表示されます。



* 最大録音容量は約90000音です。

* 録音中に記憶容量がいっぱいになったときは [●] ボタン (REC) と [▶/■] ボタン (PLAY/STOP) が消灯し、録音が中止されます。中止される直前までの演奏は録音されます。

* 内部メモリへの書き込み中は、絶対に電源を切らないでください。保存したデータが消えてしまいます。

* レコーダーに録音した内容は本体の電源を切っても消えません。

USBメニューについて

USBメモリに、音色、セットアップ、システム設定、ソングの読み込み／保存を行うことができます。また、ファイル名の変更やファイルの削除、USBメモリのフォーマットを行うことができます。

■ ファイルの種類

ファイルの種類	説明	拡張子
SOUND	サウンド設定のバックアップ。	.km5
SETUP	セットアップ設定のバックアップ。	.km6
SMF	SMF形式のMIDIソングファイル。	.mid
Song	MP3/WAV形式のオーディオソングファイルまたはSMFソングファイル。	.mp3, .wav, .mid
All Sound	全音色のサウンドパラメータのバックアップ。	.km2
All Setup	全セットアップメモリのバックアップ。	.km3
All Backup	全セットアップメモリ、全音色のサウンドパラメータ、システム設定のバックアップ。	.km4

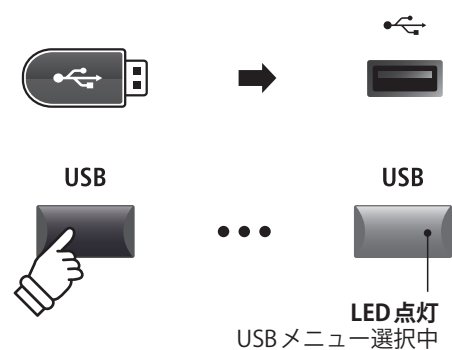
■ USBメニューへ入る

USBメモリを接続してください。

* USBメモリは、FATまたは、FAT32でフォーマットされているものを使用してください。

[USB] ボタンを押します。

[USB] ボタンが点灯し、ディスプレイにUSBメニューリストが表示されます。

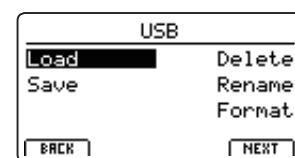


■ USBメニュー選択画面

カーソルボタンを押して、目的のファイル操作のカテゴリを選び、[+ / YES] ボタンまたは[F4] ボタン(NEXT) ボタンを押します。

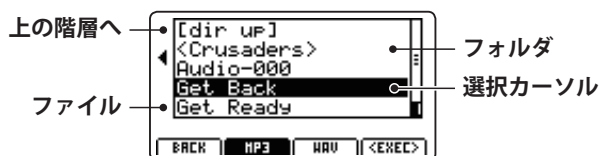
次にカーソルボタンで目的のファイルの種類を選び、[+ / YES] ボタンまたは[F4] ボタン(NEXT) ボタンを押します。

[- / NO] または[F1] (BACK) ボタンを押すと、前の画面に戻ります。



■ ファイル/フォルダリスト画面

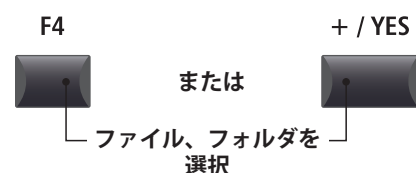
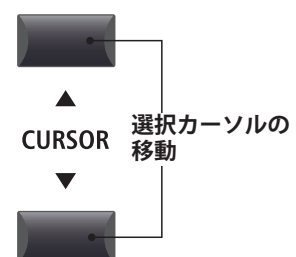
MP11SEのファイル/フォルダリスト画面は、USBメモリに保存されているファイルとフォルダをリスト表示します。



カーソル上下ボタンでカーソルを動かします。


* ノブ[A]を回すことでもカーソルを移動できます。

[F4] ボタン(EXEC) または[+ / YES] ボタンを押すとファイル選択、または選択したフォルダ内に移動します。



1 Load(ロード/読込)

USBメモリに保存された、音色、セットアップ、システム設定、ソングを読み込みます。LoadSMF(ロードSMF)機能を除いて、各操作方法は同じです。

 ロード機能は現在保存されているデータを上書きします。
必要なデータを消してしまわないようご注意ください。

1. Load One Sound

USBメモリに保存されたサウンドファイルを読み出して、内部メモリの音色のプリセット設定を書き換えます。

この機能を選択後、ファイル/フォルダリストから、目的のサウンドファイルを選択してください。

最後に[F2][F3]ボタンで確定またはキャンセルを選択します。

* 読み出し後、サウンドは自動的に選ばれます。その他のセクションはキャンセルされます。セットアップもキャンセルされます。

3. Load SMF

USBメモリに保存されたSMF形式のソングファイルを読み出して、MIDIレコーダーのソングメモリを書き換えます。この機能を選択後、ファイル/フォルダリストから、目的のSMFを選択してください。

選択後、MP11SEのMIDIレコーダーの鍵盤チャンネルとドラムチャンネルにSMFのどのチャンネルを使用するかをノブ[C][D]を使って指定します。またノブ[A]を使って書き込み先の内部ソングメモリを選びます。



[F3] (LISTEN) ボタンを押すと、現在のチャンネル設定を試聴することができます。

[F4] (EXEC) ボタンを押すと、選んだSMFが内部メモリへLoad(ロード)され、MIDIレコーダー画面が表示されます。

[F2]または[F3]ボタンを押して、操作を実行/キャンセルしてください。

* MIDIレコーダーの詳細は、P.64を参照してください。

2. Load One Setup

USBメモリに保存されたセットアップメモリを読み出して、内部メモリのセットアップ設定を書き換えます。

この機能を選択後、ファイル/フォルダリストから、目的のセットアップファイルを選択してください。

転送先のセットアップメモリを指定するために、[BANK]ボタンと[SETUP]ボタンを押してください。

最後に[F2][F3]ボタンで確定またはキャンセルを選択します。

* 読み出し後、セットアップは自動的に選ばれます。

4. Load All Sound

USBメモリに保存されたオールサウンドファイルを読み出して、全音色のサウンド設定を書き換えます。

この機能を選択後、ファイル/フォルダリストから、目的のオールサウンドファイルを選択してください。

[F2]または[F3]ボタンを押して、操作を実行/キャンセルしてください。

5. Load All Setup

USBメモリに保存されたオールセットアップファイルを読み出して、全てのセットアップメモリを書き換えます。

この機能を選択後、ファイル/フォルダリストから、目的のオールセットアップファイルを選択してください。

[F2]または[F3]ボタンを押して、操作を実行/キャンセルしてください。

6. Load All Backup

USBメモリに保存されたオールバックアップファイルを読み出して、全音色のサウンド設定、全てのセットアップメモリ、システム設定を書き換えます。

この機能を選択後、ファイル/フォルダリストから、目的のオールバックアップファイルを選択してください。

[F2]または[F3]ボタンを押して、操作を実行/キャンセルしてください。

2 Save (セーブ/保存)

内部メモリに保存された、音色、セットアップ、システム設定、ソングをUSBメモリに書き込みます。
SaveSMF (セーブSMF) 機能を除いて、各操作方法は同じです。

■ ファイル名に使用できる文字一覧

	!	#	\$	%	&	'	()	+	,	-	.	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	;	=	@
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z
[]	^	_	`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r	s	t	u
v	w	x	y	z	{	}																			

1. Save One Sound

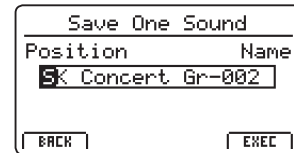
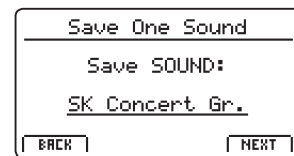
内部メモリに保存されている音色設定をUSBメモリに保存します。
(調整中のサウンドは保存されません。STORE SOUNDの詳細についてはP.59をご確認ください。)

* MIDI OUTセクションが選ばれていれば、自動的に現在のPIANOセクションが保存されます。

この機能を選択後、保存するサウンドの確認画面が表示されます。

さらにノブ[A] [B]を使ってサウンドファイルに名前をつけ、[F4] (EXEC) ボタンを押します。

[F2]または[F3] ボタンを押して、操作を実行/キャンセルしてください。



2. Save One Setup

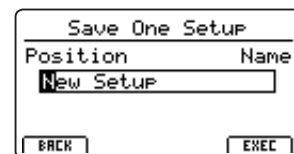
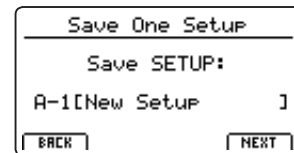
MP11SEのセットアップ設定をUSBメモリに保存します。

この機能を選択後、保存するセットアップの確認画面が表示されます。

保存したいセットアップメモリを指定するために、[BANK] ボタンと[SETUP] ボタンを押してください。

さらにノブ[A] [B]を使ってセットアップファイルに名前をつけ、[F4] (EXEC) ボタンを押します。

[F2]または[F3] ボタンを押して、操作を実行/キャンセルしてください。



3. Save SMF

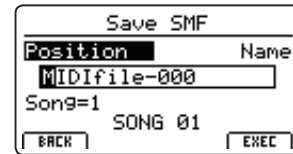
MIDIレコーダーのソングメモリの内容を、SMF形式でUSBメモリに保存します。

この機能選択後、ノブ[C]を使って、保存したいソングメモリを選択します。

さらに、ノブ[A] [B]を使ってシステムファイルに名前をつけ、[F4] (EXEC) ボタンを押します。

[F2]または[F3] ボタンを押して、操作を実行/キャンセルしてください。

* MIDI レコーダーの詳細は、P.64を参照してください。



4. Save All Sound

MP11SEの全音色のサウンド設定をUSBメモリに保存します。

この機能を選択後、ノブ[A] [B]を使ってオールサウンドファイルに名前をつけ、[F4] (EXEC) ボタンを押します。

6. Save All Backup

全音色のサウンド設定、全てのセットアップメモリ、システム設定を、USBメモリに保存します。

この機能を選択後、ノブを使ってオールバックアップファイルに名前をつけ、[F4] (EXEC) ボタンを押します。


5. Save All Setup

MP11SEの全てのセットアップメモリの内容をUSBメモリに保存します。

この機能を選択後、ノブ[A] [B]を使ってオールセットアップファイルに名前をつけ、[F4] (EXEC) ボタンを押します。

3 Delete (デリート / 削除)

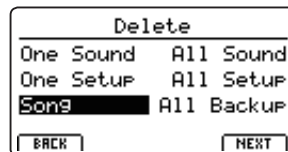
USBメモリに格納されているファイルを削除します。

 接続されたUSBメモリからデータを消してしまいますので、必要なデータを消してしまわないように十分注意してください。

1. 削除したいファイルの種類を選ぶ

[CURSOR] ボタンを押して、削除したいファイルの種類を選び、[F4] (NEXT) ボタンを押します。

[-/NO] または [F1] (BACK) ボタンを押すと、前の画面に戻ります。

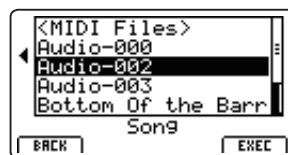


2. 削除したいファイルを選ぶ

ノブ[A] または、[CURSOR ▲] [CURSOR ▼] ボタンを使ってカーソルを動かして、ファイルを選択します。

[+/YES] または [F4] (EXEC) ボタンを押すと、ディスプレイに確認画面が表示されます。

[-/NO] または [F1] (BACK) ボタンを押すと、前の画面に戻ります。



3. ファイルを削除する

[+/YES] ボタンを押すと、ファイルが削除されます。

[-/NO] ボタンを押すと、削除はキャンセルされます。

ファイル削除が終了すると、USBメニュー画面へ戻ります。



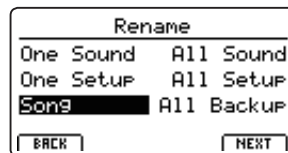
4 Rename (リネーム/ファイル名変更)

USBメモリに格納されているファイル名を変更します。

1. 変更したいファイルの種類を選ぶ

[CURSOR] ボタンを押して、削除したいファイルの種類を選び、[F4] (NEXT) ボタンを押します。

[-/NO] または [F1] (BACK) ボタンを押すと、前の画面に戻ります。

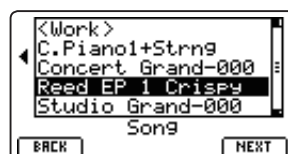


2. 変更したいファイルを選ぶ

ノブ[A] または、[CURSOR ▲] [CURSOR ▼] ボタンを使ってカーソルを動かして、ファイルを選択します。

[+/YES] または [F4] (EXEC) ボタンを押します。

[-/NO] または [F1] (BACK) ボタンを押すと、前の画面に戻ります。



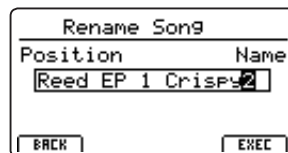
3. ファイル名を編集する

ノブ[A] [B] を使って、ファイル名を編集します。

[+/YES] または [F4] (EXEC) ボタンを押すと、ディスプレイに確認画面が表示されます。

[-/NO] または [F1] (BACK) ボタンを押すと、前の画面に戻ります。

* 使用できる文字一覧はP.94を参照してください。

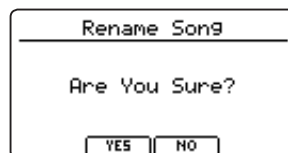


4. ファイル名変更を実行する

[+/YES] ボタンを押すと、ファイル名変更が実行されます。


[-/NO] ボタンを押すと、ファイル名変更はキャンセルされます。

ファイル名変更が終了すると、USBメニュー画面へ戻ります。



5 Format(フォーマット/初期化)

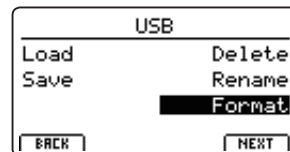
USBメモリを初期化して、格納されているデータをすべて消去します。

 接続されたUSBメモリに格納されている全てのデータを消してしまいますので、必要なデータを消してしまわないように十分注意してください。

1. フォーマット機能を選択する

[CURSOR] ボタンを押して、フォーマット機能を選択し、[F4] (NEXT) ボタンを押します。

[-/NO] または [F1] (BACK) ボタンを押すと、前の画面に戻ります。

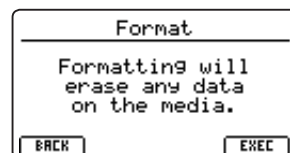


2. メッセージを確認する

最初の確認画面がディスプレイに表示されます。

メッセージを確認し、[+/YES] または [F4] (EXEC) ボタンを押すと、次の確認画面に進みます。

[-/NO] または [F1] (BACK) ボタンを押すと、前の画面に戻ります。



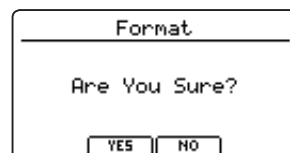
3. フォーマットを実行する

最終確認の画面がディスプレイに表示されます。

[+/YES] ボタンを押すと、フォーマットが実行されます。

[-/NO] ボタンを押すと、フォーマットはキャンセルされません。

フォーマットが終了すると、USBメニュー画面へ戻ります。



システムメニューについて

[SYSTEM] ボタンでは、MP11SEの全体にかかわる基本設定を行います。

パラメータは6つのカテゴリ (Utility, Pedal, MIDI, Offset, User Edit, Reset) に分類されております。

変更した値は自動的に内部に保存されますので、電源を入れる度に設定する必要はありません。

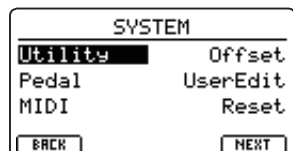
■ システムメニュー・パラメータ

カテゴリ	パラメータ
Utility F4	System Tuning, Eff. SW Mode, Knob Action, Volume Fader Action, LCD Contrast, LCD Reverse, Input Level, Audio Output Mode, Lock SW Mode, Auto Power Off
Pedal/Mod. F4	Right Pedal Mode, Center Pedal Mode, Left Pedal Mode, Half Pedal Adjust, FSW Pedal Mode, FSW Pedal Polarity, Modulation Wheel Curve, EXP Pedal Curve, EXP Pedal Calibrate
MIDI F4	System Channel, Key to MIDI, Key to USB, MIDI to MIDI, MIDI to USB, USB to MIDI, SETUP Program, SETUP Bank, SETUP Volume, SETUP Knobs, Receive Mode, PIANO Channel, E.PIANO Channel, SUB Channel
Offset F4	EQ Offset On/Off, Reverb Offset, EQ Offset Low, EQ Offset High, EQ Offset Mid1, EQ Offset Mid2
User Edit F4	User Touch Curve, User Temperament, User KeyVolume, User Stretch, User Voicing
Reset	One Sound, All Sound, One Setup, All Setup, System, Power On, Recorder, Factory

■ システムメニューに入る

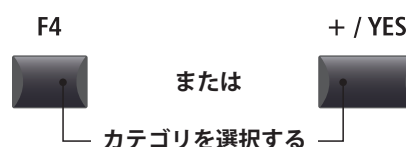
[SYSTEM] ボタンを押します。

[SYSTEM] ボタンが点灯し、システム設定画面が表示されます。



■ システムパラメータのカテゴリを選ぶ

カーソルボタンでカテゴリを選択し、[F4] ボタン (NEXT) または [+ / YES] ボタンを押して目的のカテゴリのパラメータ調整画面に入ります。



■ パラメータを調整する

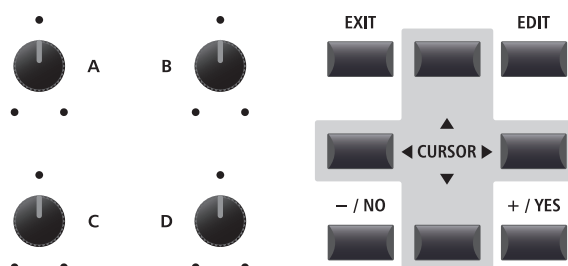
ノブ [A] [B] [C] [D] を回して表示されたパラメータを調整します。

パラメータはカーソルボタンで移動、[- / NO] [+ / YES] ボタンで値を調整することもできます。

[F2] [F3] ボタンでシステムメニューのページを移動することができます。

* カーソル上下でもページ移動が可能です。

* 調整したシステム/パラメータは、演奏モードの画面に戻るとき、自動的に保存されます。



システムパラメータと機能について

1 Utility(ユーティリティ)

1. System Tuning(システムチューニング)

VALUE : 427.0 ~ 453.0 Hz

内部音源の全体のチューニングを0.5Hz単位で調整します。

* 初期値はA=440Hzです。

2. Eff. SW Mode

Preset, Temp., Fixed

音色を切り替えたとき、[EFX] [REVERB] [AMP] ボタンの状態を変更するかどうかを設定します。

気に入ったエフェクト設定を、他のSOUNDで利用したい場合に、EDITの際一時的にFixedモードを選ぶと便利です。(下記参照)

モード	説明
Preset	音色を切り替えたとき ON/OFF 状態を変更します。
Temp.	音色を切り替えたとき ON/OFF 状態を切り換えません。
Fixed	音色を切り替えたとき、エフェクトの設定は一切変更されません。

* 初期値はPresetです。

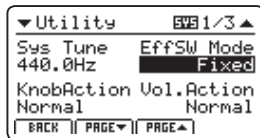
■気に入ったエフェクト設定を他の音色で利用する

以下の手順で、エフェクト設定を他の音色へコピーすることができます。

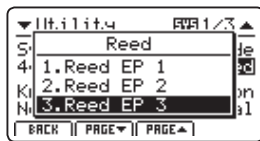
1. 音色ボタンを押して、気に入った設定の音色を選びます。



2. [SYSTEM] ボタンを押して、Utilityメニューで、Eff.SW ModeをFixedに変更します。



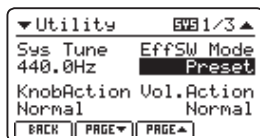
3. 音色ボタンを押して、気に入った設定をコピーしたい音色を選びます。



4. [STORE] ボタンを押して、ストアサウンド機能で、選んだ音色を保存します。



5. 再度[SYSTEM] ボタンを押して、Utilityメニューで、Eff.SwModeをPreset(初期値)へ戻します。



* EFX/EFX2、AMP、リバーブデプスの設定がコピーされます。その他のパラメーターはコピーされません。

3. Knob Action (ノブアクション)

Normal, Catch

ノブ[A][B][C][D]がどのように動作するかを設定します。

モード	説明
Normal	ノブを動かすと、すぐに値が変わります。
Catch	保存されたボリューム値とノブの位置が一致するまで値が変わりません。“Catch(キャッチ)”を選ぶと、予期しない値の不連続な変化を防ぐことができます。

* 初期値はNormalです。

5. LCD Contrast(コントラスト)

VALUE : 1 ~ 10

ディスプレイのコントラストを調整します。
値を大きくすると、表示の明暗がはっきりします。

* 初期値は5です。

7. Input Level(インプットレベル)

VALUE : -18 dB ~ +18 dB


[LINE IN]端子の入力レベルを調整します。


外部機器の出力レベルが高すぎる場合は、このパラメータを下げます。また低すぎる場合は、このパラメータを上げます。

* 初期値は+0dBです。

9. Lock SW Mode

6タイプ

 ボタン(LOCK)を押したとき、どの操作をロックするかを設定します。

モード	説明
Panel	鍵盤、ホイール、ペダルと  ボタン(LOCK)以外をロックします。
Bend	ピッチバンドホイールをロックします。
Mod.	モジュレーションホイールをロックします。
Center	GFP-3の中ペダルをロックします。
Left	GFP-3の左ペダルをロックします。
EXP	エクスプレッションペダルをロックします。

* 初期値はPanelです。

4. Volume Fader Action

(ボリュームフェーダーアクション)

Normal, Catch

PIANO/E.PIANO/SUBセクションのフェーダがどのように動作するかを設定します。

モード	説明
Normal	フェーダーを動かすと、すぐに値が変わります。
Catch	保存されたボリューム値とフェーダーの位置が一致するまでボリュームが変わりません。“Catch(キャッチ)”を選ぶと、予期しない値の不連続な変化を防ぐことができます。

* 初期値はNormalです。

6. LCD Reverse(LCDリバース)

ON, OFF

ディスプレイ表示を白黒反転させます。状況に応じてディスプレイの見え方を変えることができます。

* 初期値はOFFです。

8. Audio Out Mode

Stereo, 2xMono

MP11SEのL、R端子のラインアウト出力をステレオ出力にするか、2系統のモノラル出力にするかを設定できます。

モニターとミキサーに同時に接続する場合などに便利です。

モード	説明
Stereo	通常ステレオ出力
2xMono	両方のジャックからモノラル出力

* 初期値はStereoです。

* 2xMonoを選択している場合、Auto Panなどのステレオエフェクトは効きません。

10. Auto Power Off

Off, 15 mins., 60 mins., 120 mins.

非操作状態が続いた場合に自動で電源OFFするまでの時間を設定します。

値	説明
Off	自動電源OFFしません。
15 mins.	15分で自動的に電源が切れます。
60 mins.	60分で自動的に電源が切れます。
120 mins.	120分で自動的に電源が切れます。

* 初期値はOffです。

2 Pedal/Mod.(ペダル/モジュレーション)

1. Right Pedal Mode

5 functions

このパラメータはGFP-3の右ペダルの動作を設定します。

* 初期値はNormalです。

2. Center Pedal Mode

5 functions

このパラメータはGFP-3の中ペダルの動作を設定します。

* 初期値はNormalです。

4. Half Pedal Adjust(ハーフペダル調整) VALUE : 1 ~ 10

ダンパーペダル効果がかかり始める位置を調整します。

* 初期値は5です。

6. FSW Pedal Polarity

(フットスイッチの極性)

Normal, Reverse

フットスイッチの極性を変更します。

MP11SEのフットスイッチ端子は、極性がノーマルクローズのスイッチに対応しています。

ノーマルオープン仕様のフットスイッチを使用する場合は、動作が逆になりますのでReverseを選択してください。

* 初期値はNormalです。

■ Pedal Mode について

モード	説明
Normal	エディットメニューで指定した動作をします。
Setup+	次のセットアップメモリに切り替えます。
Setup-	前のセットアップメモリに戻ります。
Playback	曲の再生・停止に使用します。
Metro.	メトロノームを再生・停止します。

3. Left Pedal Mode

5 functions

このパラメータはGFP-3の左ペダルの動作を設定します。

* 初期値はNormalです。

5. FSW Pedal Mode

5 functions

このパラメーターはフットスイッチ動作を設定します。

* 初期値はNormalです。

7. Modulation Wheel Curve

(モジュレーションホイールカーブ)

Normal, Slow, Fast

モジュレーションホイールの動作カーブを選択します。

* 初期値はNormalです。

8. EXP Pedal Curve

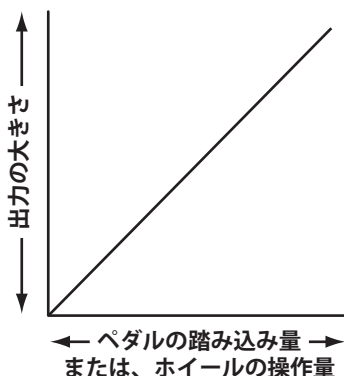
(エクスプレッションペダルカーブ)

Normal, Slow, Fast

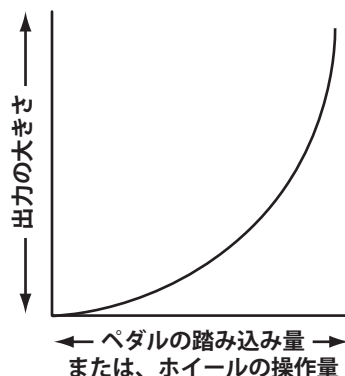
エクスプレッションペダルのペダルカーブを選択します。

* 初期値はNormalです。

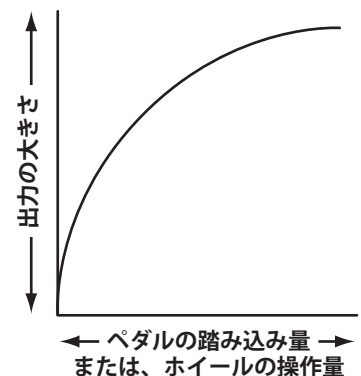
NORMAL



SLOW



FAST



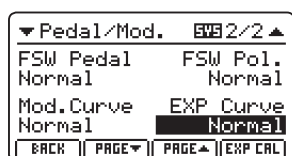
エクスペッションペダルの調整について

接続するエクスペッションペダルはメーカーやモデルによって調整範囲に差があります。

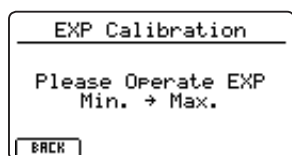
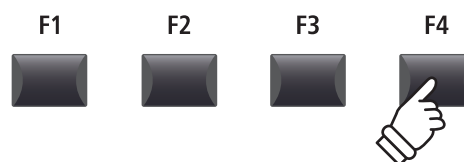
このキャリブレーション(再調整)機能は、実際に使用されるエクスペッションペダルに合わせて動作を調整します。

■ EXPペダルを再調整する

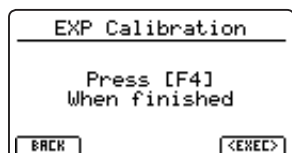
システムメニューのPedalの3ページ目を表示します。



[F4] ボタン (EXP CAL) を押して、再調整画面をディスプレイに表示します。

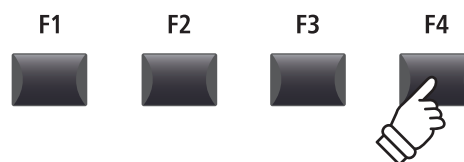


エクスペッションペダルを最小位置に移動し、その後最大位置に踏み込みます。



[F4] ボタン (EXEC) を押して、再調整を実行します。

自動的に計算され、調整を終了します。



3 MIDI

1. System Channel

VALUE : 01Ch ~ 16Ch

MP11SEの受信モードがPANELに設定されているときに使用する、MIDI受信チャンネルを設定します。

* 初期値は01Chです。

3. Key to USB

ON, OFF

MP11SEの操作をUSB端子からMIDI出力するかどうかを設定します。

* 初期値はONです。

5. MIDI to USB

ON, OFF

MP11SEのMIDI INからの情報をUSB-MIDIに出力するかどうかを設定します。

* 初期値はOFFです。

7. SETUP Program

ON, OFF

セットアップ変更時にプログラムチェンジをMIDI送信するかどうかの設定をします。

* 詳細はP.53をご確認ください。

* 初期値はOFFです。

9. SETUP Volume

ON, OFF

セットアップ変更時にボリュームの値を送信するかどうかを設定します。

* 詳細はP.53をご確認ください。

* 初期値はOFFです。

11. Receive Mode

Panel, Section, Omni On

受信したMIDIデータをどのように扱うかを設定します。

モード	説明
Panel	MIDI情報をシステム・チャンネル(本ページ「1.System Channel」の項参照)で受信し、パネル全体をコントロールします。
Section	MIDI情報を各セクションの受信チャンネルで受信し、セクションごとに独立してコントロールします。
Omni On	MIDIチャンネルにかかわらず、パネル全体を制御します。

* 初期値はPanelです。

13. E.PIANO Channel

VALUE : 01Ch ~ 16Ch

受信モードが“Section”に設定されているときのE.PIANOセクションの受信チャンネルを設定します。

* 初期値は02Chです。

2. Key to MIDI

ON, OFF

MP11SEの操作をMIDI OUT端子からMIDI出力するかどうかを設定します。

* 初期値はONです。

4. MIDI to MIDI

ON, OFF

MP11SEのMIDI INからの情報をMIDI OUTに出力するかどうかを設定します。

* 初期値はOFFです。

6. USB to MIDI

ON, OFF

MP11SEのUSB-MIDIからの情報をMIDI OUTに出力するかどうかを設定します。

* 初期値はOFFです。

8. SETUP Bank

ON, OFF

セットアップ変更時にバンクチェンジをMIDI送信するかどうかの設定をします。

* 詳細はP.53をご確認ください。

* 初期値はOFFです。

10. SETUP Knobs

ON, OFF

セットアップ変更時にノブに割り当てられているパラメータをMIDI送信するかどうかの設定をします。

* 詳細はP.53をご確認ください。

* 初期値はOFFです。

12. PIANO Channel

VALUE : 01Ch ~ 16Ch

受信モードが“Section”に設定されているときのPIANOセクションの受信チャンネルを設定します。

* 初期値は01Chです。

14. SUB Channel

VALUE : 01Ch ~ 16Ch

受信モードが“Section”に設定されているときのSUBセクションの受信チャンネルを設定します。

* 初期値は03Chです。

4 Offset(オフセット)

1. EQ Offset ON/OFF

ON, OFF

EQオフセット機能のON/OFFを設定します。

EQオフセットは設定したEQセッティングを変更することなく、使用する環境の違い(例えば自宅とライブハウス等)に対応するため、EQにオフセットをかける機能です。

* 初期値はOFFです。

* EQオフセットはそれぞれのSETUPに保存されたEQに加算されます。加算後のEQは±10dBに制限されます。

3. EQ Offset Low

VALUE : -10 dB ~ +10 dB

低音域(Lo)の補正値を設定します。

* 初期値は0dBです。

5. EQ Offset Mid1

VALUE : -10 dB ~ +10 dB

中音域(Mid1)の補正値を設定します。

* 初期値は0dBです。

2. Reverb Offset

VALUE : 0% ~ 100%

システム全体のリバーブの補正値を設定します。

リバーブオフセットは設定したリバーブセッティングを変更することなく、使用する環境の違い(例えば自宅とライブハウス等)の残響の違いに対応するため、オフセットをかける機能です。

* 初期値は100%です。

4. EQ Offset High

VALUE : -10 dB ~ +10 dB

高音域の補正値を設定します。

* 初期値は0dBです。

6. EQ Offset Mid2

VALUE : -10 dB ~ +10 dB

中音域(Mid2)の補正値を設定します。

* 初期値は0dBです。

5 User Edit(ユーザー)

ユーザータッチカーブやユーザー音律を作成します。

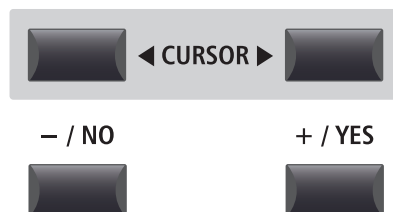
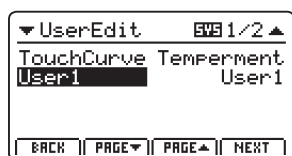
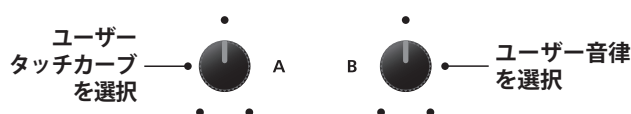
■ユーザータッチカーブや、ユーザー音律を選択する

ユーザータッチカーブ/ユーザー音律を作成するシステムメニューのUser Editを選択した状態で：

ノブ[A]を回して設定したいタッチカーブを選択します。

ノブ[B]を回して設定したい音律を選択します。

ユーザータッチカーブと音律はカーソルボタンまたは[+ / YES] [- / NO]ボタンで選択することもできます。

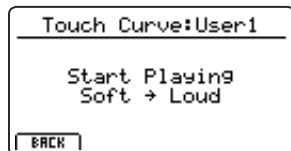


ユーザータッチカーブを作成する

1. タッチカーブの解析の準備をする

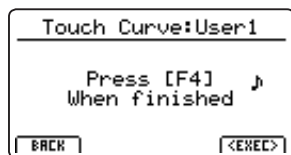
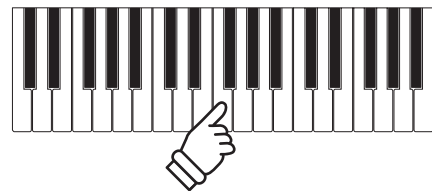
ユーザータッチカーブを選んだ状態で：

[F4] ボタン (NEXT) を押し、タッチカーブの解析画面を表示します。



2. 鍵盤を弾いてカーブを作成する

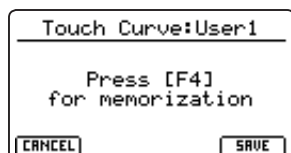
適当な鍵盤を最弱打から最強打まで弾いてください。鍵盤を弾いた指の力に合わせて、タッチカーブが作成されます。



3. 解析を終了する

[F4] ボタン (EXEC) を押し、解析が終了します。

確認画面がディスプレイに表示されます。

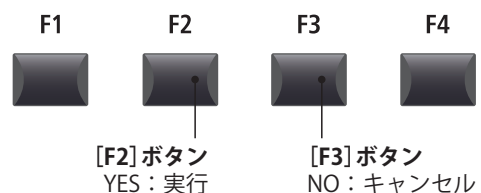
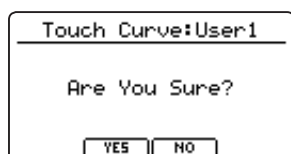


この状態で演奏し、新しいカーブを確認してください。保存したい場合は [F4] ボタン (SAVE) を、破棄したい場合は [F1] ボタン (CANCEL) を押してください。



4. ユーザータッチカーブを保存する

[F2] ボタン (YES) を押し、保存されます。
[F3] ボタン (NO) を押し、前の画面に戻ります。



* [+ / YES] [- / NO] ボタンでも保存 / キャンセルできます。

新しく作成されたユーザータッチカーブは現在選択中のセクションに一時的に使用されます。

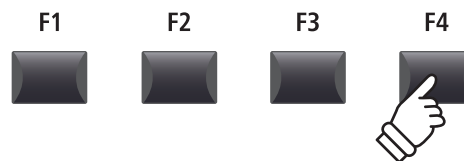
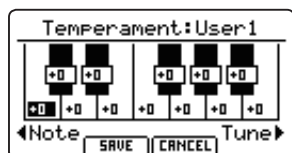
* 必要に応じて STORE SOUND を実行してください。

ユーザー音律を設定する

1. ユーザー音律エディタ画面を表示する

ユーザー音律を選んだ状態で：

[F4] ボタン (NEXT) を押し、ユーザー音律エディタの画面を表示します。

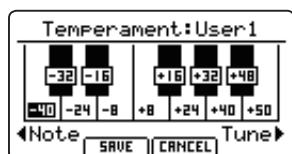


2. ユーザー音律を調整する

ノブ [C] を回して調整したい音を選択します。
ノブ [D] を回して選択した音のピッチを調整します。

* それぞれの鍵盤のピッチは -50 ~ +50cent の範囲で調整できます。(半音 = 100cent)

* 鍵盤を押して調整したい音を指定することもできます。

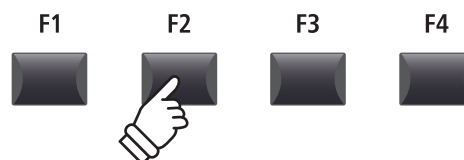
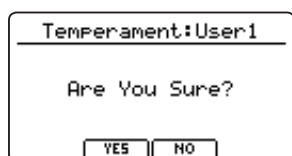


3. ユーザー音律を保存する

ピッチを調整した後で：

保存したい場合は [F2] ボタン (SAVE) を、破棄したい場合は [F3] ボタン (CANCEL) を押してください。

保存する場合は確認画面が表示されます。



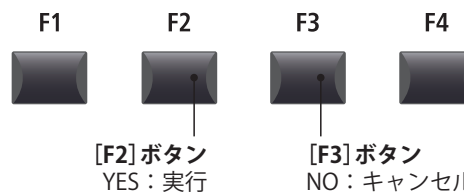
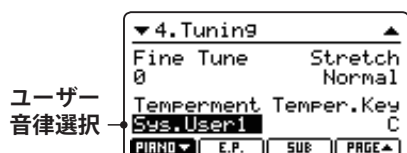
4. 保存の確認画面

[F2] ボタン (YES) を押しと保存されます。
[F3] ボタン (NO) を押しと、前の画面に戻ります。

* [+ / YES] [- / NO] ボタンでも保存 / キャンセルできます。

新しく設定されたユーザー音律は現在選択中のセクションに一時的に使用されます。

* 必要に応じて STORE SOUND を実行してください。

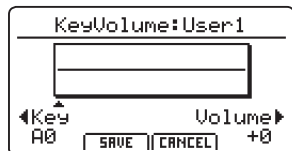


ユーザー 88 鍵ボリュームを設定する

1. ユーザー 88 鍵ボリュームエディタ画面を表示する

ユーザー 88 鍵ボリュームを選んだ状態で：

[F4] ボタン (NEXT) を押し、ユーザー 88 鍵ボリュームエディタの画面を表示します。



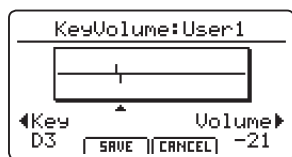
2. ユーザー 88 鍵ボリュームを調整する

ノブ [C] を回して調整したい鍵を選択します。
ノブ [D] を回して選択した音の音量を調整します。



* それぞれの鍵盤の音量は -50 ~ +50 (±1 = ±6/50dB) の範囲で調整できます。

* 鍵盤を押して調整したい鍵を指定することもできます。

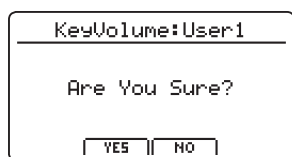
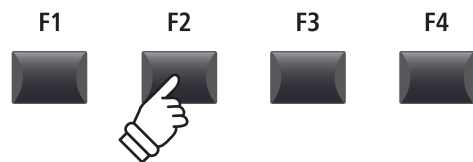


3. ユーザー 88 鍵ボリュームを保存する

音量を調整した後で：

保存したい場合は [F2] ボタン (SAVE) を、破棄したい場合は [F3] ボタン (CANCEL) を押してください。

保存する場合は確認画面が表示されます。



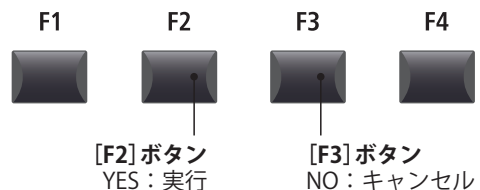
4. 保存の確認画面

[F2] ボタン (YES) を押しと保存されます。
[F3] ボタン (NO) を押しと、前の画面に戻ります。

* [+ / YES] [- / NO] ボタンでも保存 / キャンセルできます。

新しく設定されたユーザー 88 鍵ボリュームは現在選択中のセクションに一時的に使用されます。

* 必要に応じて STORE SOUND を実行してください。



ユーザー 88 鍵
ボリューム選択

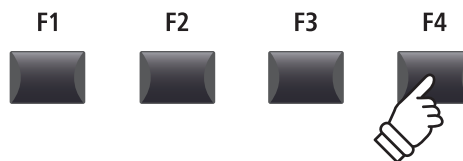


ユーザーストレッチチューニングを設定する

1. ユーザーストレッチチューニングエディタ画面を表示する

ユーザーストレッチチューニングを選んだ状態で：

[F4] ボタン (NEXT) を押し、ユーザーストレッチチューニングエディタの画面を表示します。



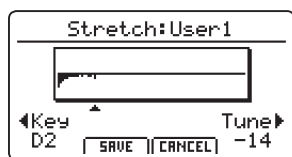
2. ユーザーストレッチチューニングを調整する

ノブ [C] を回して調整したい鍵を選択します。

ノブ [D] を回して選択した音のピッチを調整します。

* それぞれの鍵盤のピッチは -50 ~ +50cent の範囲で調整できます。(半音 = 100cent)

* 鍵盤を押して調整したい鍵を指定することもできます。

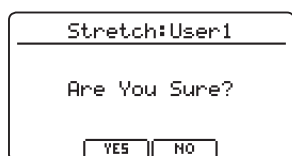
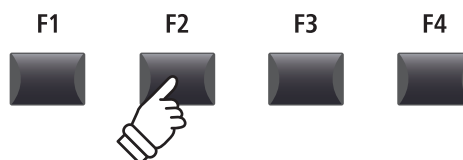


3. ユーザーストレッチチューニングを保存する

ピッチを調整した後で：

保存したい場合は [F2] ボタン (SAVE) を、破棄したい場合は [F3] ボタン (CANCEL) を押してください。

保存する場合は確認画面が表示されます。



4. 保存の確認画面

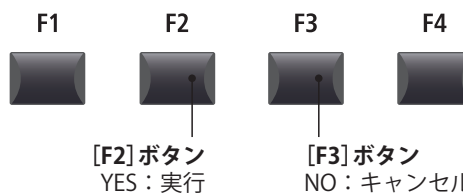
[F2] ボタン (YES) を押すと保存されます。

[F3] ボタン (NO) を押すと、前の画面に戻ります。

* [+ / YES] [- / NO] ボタンでも保存 / キャンセルできます。

新しく設定されたユーザーストレッチチューニングは現在選択中のセクションに一時的に使用されます。

* 必要に応じて STORE SOUND を実行してください。

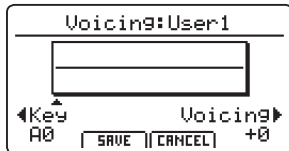


ユーザー VOICING を設定する

1. ユーザー VOICING エディタ画面を表示する

ユーザー VOICING を選んだ状態で：

[F4] ボタン (NEXT) を押し、ユーザー VOICING エディタの画面を表示します。

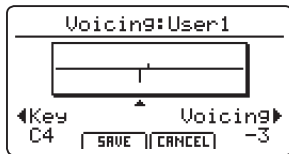


2. ユーザー VOICING を調整する

ノブ [C] を回して調整したい鍵を選択します。
ノブ [D] を回して選択した音の VOICING 調整を行います。

* それぞれの鍵盤は -5 ~ +5 の範囲で調整できます。「-5」がもっともメロウ、「+5」がもっともブライツな VOICING 調整になります。

* 鍵盤を押して調整したい鍵を指定することもできます。

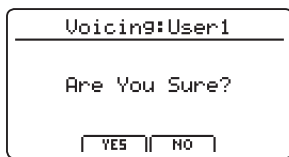
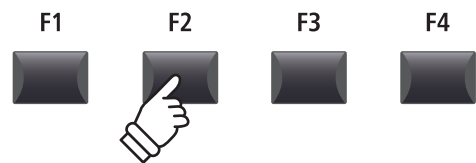


3. ユーザー VOICING を保存する

VOICING 調整を行った後で：

保存したい場合は [F2] ボタン (SAVE) を、破棄したい場合は [F3] ボタン (CANCEL) を押してください。

保存する場合は確認画面が表示されます。



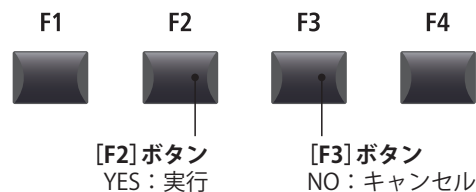
4. 保存の確認画面

[F2] ボタン (YES) を押しと保存されます。
[F3] ボタン (NO) を押しと、前の画面に戻ります。

* [+ / YES] [- / NO] ボタンでも保存 / キャンセルできます。


新しく設定されたユーザー VOICING は現在選択中のセクションに一時的に使用されます。

* 必要に応じて STORE SOUND を実行してください。



6 RESET(リセット)

各音色、セットアップなどの設定を工場出荷時の設定へ戻します。[CURSOR] ボタンを使って目的の機能を選び、[+ / YES] ボタンで実行してください。

 リセット操作を行うと、データを元に戻すことはできません。
リセット機能を使用するときは大切なデータを失くさないようご注意ください。

1. Reset One Sound

現在選択中の音色の設定を工場出荷時の状態に戻します。

この機能を実行するためにシステムメニューに入る前に、目的の音色を選択しておいてください。

2. Reset One Setup

1つのセットアップメモリを工場出荷時の状態に戻します。

現在選択中のセットアップが画面に表示されます。

* SETUP(セットアップ)セクションの[BANK] ボタンと[1] ~ [8] ボタンを使ってリセットするセットアップメモリを選択してください。

3. Reset All Sound

全ての音色の設定を工場出荷時の状態に戻します。

4. Reset All Setup

全てのセットアップメモリを工場出荷時の状態に戻します。

5. Reset System

Utility, Pedal, Offset, MIDI(MIDIのエディットメニューのシステムパラメータ含む)などの全てのシステムパラメータを工場出荷時の状態に戻します。

6. Reset PowerOn

電源ON時の設定を工場出荷時の状態に戻します。

7. Reset Recorder

MIDIレコーダーの内部ソングメモリを全て消去します。

8. Factory Reset

全ての音色、セットアップ、システム、MIDIレコーダーの内部メモリを工場出荷時の状態に戻します。

PANIC ボタン

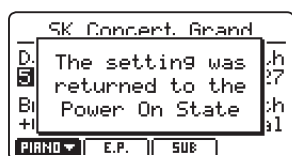
[PANIC] ボタンを1秒以上長押しすると、内部音色セクションを全て電源オン状態へ戻し、オールノートオフとリセットオール・コントローラーのMIDIメッセージを、接続された機器へ送信し、外部機器の発音を止めます。

外部MIDI機器の鳴りっ放しや、本体の設定を電源オン状態へ戻したい場合など、緊急事態の際に使用します。

■ PANIC ボタン機能を使用する

[PANIC] ボタンを長押しします。

1秒後、電源ON状態に戻ります。



Panel Lock(パネルロック)

パネルロックは、演奏中の誤操作を防止する為に、様々な操作子の機能を一時的にロックすることができます。

■ ロック機能を使用する

🔒 ボタン (LOCK) ボタンを押します。

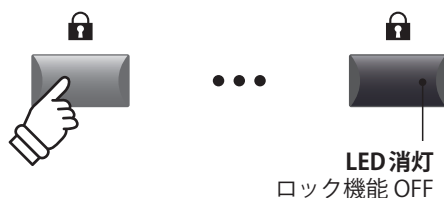
🔒 ボタン (LOCK) が点灯し、ディスプレイに状態が表示されます。



初期値ではパネルボタンとノブがロックされ、誤操作を防止します。

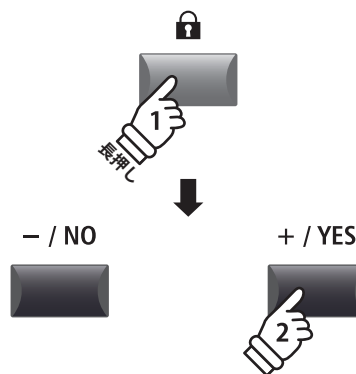
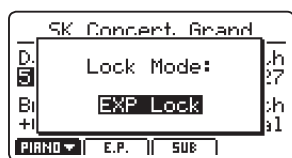
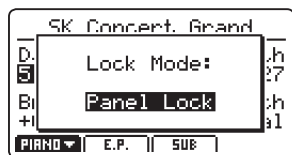
* マスターボリューム、ラインインボリュームはロックされません。

再び 🔒 ボタン (LOCK) を押すと、ロックが解除されます。



■ ロックする対象を変更する

🔒 ボタンを長押ししたまま [+ / YES] [- / NO] ボタンを押し、機能を選択します。




* ロックモードはシステムメニュー内でも変更できます。P. 101をご確認ください。

■ ロックモード

ロックモード	説明
Panel Lock	鍵盤、ホイール、ペダル、マスターボリューム、ラインインボリュームと 🔒 ボタン (LOCK) 以外をロックします。
Bend Lock	ピッチベンドホイールをロックします。
Mod. Lock	モジュレーションホイールをロックします。
Center Lock	GFP-3の中ペダルをロックします。
Left Lock	GFP-3の左ペダルをロックします。
EXP Lock	エクスプレッションペダルをロックします。

困ったときは？

電源		参照
電源が入らない。	電源ケーブルが本体に正しく接続されていますか？（コンセント側と本体側をご確認ください）	P. 14
電源が突然切れた。	SYSTEMメニューで「AutoPowerOff」機能が設定されていませんか？	P. 101
発音		参照
電源が入っているのに、音が出ない。	MP11SEはスピーカーを内蔵しておりません。アンプやPA、ヘッドホン等の出力機器は正しく接続されていますか？また、接続しているアンプやPAは正しく設定されていますか？	P. 16
	マスターボリュームフェーダーが下がっていませんか？	P. 10
	全てのセクションの[ON/OFF]ボタンが消灯していませんか？	P. 18
	全てのセクションのボリュームフェーダーが下がっていませんか？	P. 18
	ローカルオフボタンが点灯していませんか？	P. 36
	エクスプレッションペダルが、最小位置（かかと側）へ踏み込まれていませんか？	P. 15
	EDITメニューで  MasterVolパラメーターが0になっていませんか？	P. 41
音量が小さい、音の出ないセクションがある。	そのセクションの[ON/OFF]ボタンが消灯していませんか？	P. 18
	そのセクションの[ON/OFF]ボタン下のボリュームフェーダーが下がっていませんか？	P. 18
	[KEY RANGE] ボタン右のUPPER/LOWER LEDの何れかが点灯していませんか？点灯している場合、KEY RANGE（鍵域）パラメーターが設定されていますので設定内容を確認してください。	P. 24 P. 45
	EDITメニューでAMPのレベルが0になっていませんか？	P. 40
	モジュレーションホイールに、「Expression」機能が割り当てられていませんか？	P. 47
	そのゾーンのエクスプレッション (EXP Pedal) 設定が「Reverse」になっていませんか？	P. 47
	MIDIの受信モードが「セクション受信モード」になっていませんか？セクションモードではフェーダーやエディットメニューに対応したコントロールチェンジも受信しますので、これらのメッセージを受信すると手弾き演奏の音量なども変わります。セクションごとのMIDI演奏や、コントロールチェンジによるエディットが必要ない場合は、受信モードを「パネル受信モード」に設定してください。	P. 104 P. 147
特定の演奏、特定の音域で音が歪む。	演奏やレイヤー、エフェクトのセッティングによっては、ボリュームを大きくすると音が歪む場合があります。その場合、音量を小さくして使用してください。	P. 10

困ったときは？

特定のピアノ音色で異音やノイズが聴こえる。	グランドピアノの音は様々な響きが複雑に混ざり合うことにより、弱い音から強い音まで実に多彩な音色変化を見せます。そして、その複雑な響きの中には、キーンという金属的な音の成分やノイズ系の音も含まれるため、ある一部の倍音等にだけ注目して聴くと、特定の音が大きく感じられたり、音程がずれたように聴こえること、あるいは隣同士の鍵盤で音色が不連続に感じられることもあります。これらは異常ではなく、総合的にコンサートグランドピアノの響きを忠実に再現したカワイのこだわりでもあります。しかし、本機ではお客様がお好みに合わせて、ピアノ音や各種共鳴音を細かく調整することも可能ですので、次の項目をご参照ください。	
	・ペダルを踏むとノイズがする → Damper Noise	P. 49
	・鍵盤を離すときにノイズがする → Fall-back Noise, Key-off Effect	P. 49 P. 50
	・ノイズやキーンという金属的な音がする → Key-off Effect, Undamped Resonance, String Resonance	P. 49
	・音がこもった感じ、またはキンキンする → Topboard, Voicing, Brilliance	P. 49 P. 50
	・ある音だけ音量が大きい → ユーザー 88 鍵ボリューム	P. 108
	・ある音だけピッチがずれたように聴こえる → 音律、ユーザー音律、ユーザーストレッチチューニング	P. 43 P. 107 P. 109
タッチが効かない。	「Dynamics」がオフになっていませんか？ Dynamicsがオフの場合は、タッチカーブを選んでもタッチが変化しません。	P. 44

STORE		参照
オクターブシフトがSOUNDに保存されない。	KeySetupのパラメーターの内、鍵域の設定に関わるのもの(KeyRangeType, SplitPoint, KeyRangeLo/Hi, OctaveShift, ZoneTransepose)は、SETUPのみに保存されます。SOUNDには保存されませんので、故障ではありません。	
電源オン時の音色が、STOREしたときと違う。	「STORE POWER ON」では、3つの音色セクションで選ばれているそれぞれのSOUNDの設定の書き換えは行われません。全てのエディットメニューの設定を書き換えたい場合は、各セクションで選ばれているSOUNDをそれぞれ保存してください。	P. 59 P. 61
SETUPを変更したとき、リズムパターンが変わらない。	クリックやリズムパターンが鳴っているときにSETUPを変更した場合は、メトロノームのクリックモード、リズムモードは変更されません。リズムパターンを変えて演奏したい場合は、お好みのリズムパターン選択をそれぞれ使用するSETUPに保存してください。	P. 60 P. 86

ペダル、コントローラー		参照
ペダルやホイールが効かない。	ペダルやホイールの動作が無効になっていませんか？	P. 46 P. 56
モジュレーションレンジパラメーターが効かない。	「Modulation」機能以外が割り当てられていませんか？ モジュレーションレンジパラメーターは「Modulation」機能が割り当てられていないコントローラーには効きません。	P. 47
モジュレーションホイールを動かした際、ノイズがする。	一部の音色には、エディットした状態によってパラメーターを変更したときに若干のノイズを発生するものがありますが、故障ではありません。	

フットスイッチが踏んだ状態のままになっている。	ご使用のフットスイッチと極性の設定が合っていない可能性があります。ノーマルオープン仕様のフットスイッチを使用する場合は、動作が逆になりますので[SYSTEM]でフットスイッチの極性を“Reverse”に設定してください。	P. 102
エクスプレッションペダルが効かない、またペダルを接続するとMP11SEが誤動作する。	ご使用のエクスプレッションペダルとMP11SEの極性が合っていない可能性があります。パネル背面のEXP TYPEスイッチの極性を切り替えてみてください。	P. 15
高音域でダンパーペダルが効かない。	ピアノには、一番高い領域には“ダンパー”という止音装置が付いておりません。MP11SEのピアノ音色はその機構を忠実に再現しているため、最高音域18音についてはダンパーペダルを踏んでも踏まなくても音が伸びます。この音域ではダンパーペダルは効きませんが、故障ではありません。	
ダンパーペダルを踏みなおしても、踏みなおす前の音が残っている。	ピアノは、音のリリース(余韻)が残っている状態でペダルを踏みなおすと、再度ダンパーが上がった状態になりその時点で鳴っている音はそのまま残ります。MP11SEのピアノ音色はその機構を忠実に再現しているため、すばやくペダルを踏みなおした場合は前の音が切れずに残りますが、故障ではありません。	

ライン入力		参照
外部機器の出力レベルが高すぎる、小さすぎる。	ラインインフェーダーを調節してください。	P. 10
ラインインフェーダーの調整に使える範囲が狭すぎる。	[SYSTEM]のインプットレベル([LINE IN端子の入力レベル)を調節してください。	P. 101

MIDI		参照
MIDI OUTセクションの演奏が録音できない。	内部レコーダーに録音された曲を外部MIDI機器に送信するかどうかを設定するTransmitRecorderパラメーターは、初期設定がOffになっています。「TransmitRecorder=On」に設定を変更して再生してください。	P. 54
MMCで外部レコーダーが制御できない。	MMCは、初期設定がOffになっています。「MMC=On」に設定を変更し、6つのレコーダーボタンにご希望の制御コマンドを割り当ててご使用ください。	P. 54
	デバイスIDは合っていますか？デバイスIDが、目的の機器と合っているかどうかを確認してください。特に指定の必要が無い場合は、Dev.ID=127(初期値、All)に設定してください。	P. 54
	外部レコーダーはMMCに対応していますか？ご使用の機器の取扱説明書を参照ください。	
外部レコーダーの動作クロックが外部に設定されていませんか？MP11SEはMTC(MIDIタイムコード)やMIDIクロックを送信しませんので、外部レコーダーは自身のクロックで動作するように設定してください。詳細はご使用の機器の取扱説明書を参照ください。		
MIDIデータ再生で、ダンパーペダルがオフされない。	MP11SEのピアノ音色は実際のピアノの機構を忠実に再現しているため、ペダルオフとペダルオンの間隔が極端に短いデータを再生した場合は、前の音が切れずに残ります。ピアノ音色をMIDIデータ再生で演奏する場合、ダンパーペダルを離して踏むまでの間隔は実際の演奏に近いタイミングになるようにMIDIデータをエディットしてください。	

困ったときは？

<p>セクション受信モードでセクションのOn/Offボタンを消灯させてもMIDI受信がミュートされない。</p>	<p>セクションのオンオフボタンは鍵盤と内部音源を接続/切断するものですので、故障ではありません。これによりセクションごとにMP11SEの鍵盤と外部MIDI鍵盤を選択して演奏することができます。</p> <p>(例) 外部MIDI鍵盤でベース音色、MP11SEの鍵盤でピアノ演奏</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.PIANOセクションにお好みのピアノ音色、SUBセクションにベース音色を選択します。 2.SUBセクションのOn/Offボタンを消灯します。 3.「Receive Mode=Section」「SUB Ch=03」に設定します。(PIANO、E.PIANOは03以外) 4.外部MIDI鍵盤の送信チャンネルを3チャンネルに設定します。 	<p>P. 18 P. 104</p>
--	---	-------------------------

USB to HOST		参照
<p>USBケーブルでコンピューターに接続した後、鍵盤を弾いてもソフトウェアが反応しない。</p>	<p>コンピューターにUSB MIDIドライバがインストールされていることを確認してください。</p> <p>ソフトウェアの入出力デバイスに、「USBオーディオデバイス」または「KAWAI USB MIDI」が選択されていることを確認してください。</p>	<p>P. 118 P. 118</p>

USB to DEVICE		参照
<p>USBメモリが認識されない、または動作しない。</p>	<p>USBメモリのファイルシステムが、FATまたはFAT32でフォーマットされていることを確認してください。また、ライトプロテクト機能のあるUSBメモリをご使用の場合はライトプロテクトが有効になっていないかをご確認ください。</p> <p>USBメモリを差しなおしても認識されない場合は、他のUSBメモリをお試しください。</p> <p>ワイヤレスフラッシュメモリーは使用できません。</p>	<p>P. 14</p>
<p>USBメモリを差し込んだとき、動作するまでしばらく時間がかかる。</p>	<p>8Gバイト以上等の容量のUSBメモリーを差したとき、認識に時間がかかる場合がありますが、故障ではありません。</p>	
<p>選択中のSOUNDやSETUPが、正しくUSBメモリーに保存されない。</p>	<p>保存したいSOUNDやSETUPは内部メモリーへ保存されていますか？ USBメモリーへは、内部メモリーのデータを保存しますので、USBメモリーへ保存する前に必ず内部メモリーにSTOREしてください。</p>	<p>P. 59 P. 60 P. 94</p>
<p>ファイル名が文字化けする。</p>	<p>MP11SEのファイル名表示は半角英数字(7bit ASCIIコード)のみ対応しています。全角文字などそれ以外のコードは、文字化けて正しく表示されませんが故障ではありません。コンピューター等でファイル名を半角英数字に変更してご利用ください。</p>	<p>P. 94</p>
<p>ファイル名で選べないASCII文字がある。</p>	<p>" * / : < > ? \ は、ファイル名に使用することができませんので選べません。また、ファイル名の先頭ではスペース(空欄)と.(ドット)は選ぶことはできません。</p>	<p>P. 94</p>

MP3 / WAVオーディオ、SMF		参照
曲(MP3,WAVE)を再生しても音が出ない。	USB AUDIO PLAYERのボリュームが0になっていませんか？	P. 78
	再生不可能なデータフォーマットである可能性があります。“オーディオ再生フォーマット仕様”の表をご確認ください。	P. 77
USBメモリに保存されている曲が再生できない。	再生不可能なデータフォーマットである可能性があります。“オーディオ再生フォーマット仕様”の表をご確認ください。	P. 77
	お使いのUSBメモリの転送スピードが、オーディオファイル再生には不十分な可能性があります。USB2.0Hi-Speed規格に対応した他のUSBメモリーをお試しください。	
SMF(Standard MIDI file)が変な音で再生される、再生されないパートがある。	MP11SEは内蔵レコーダーで録音したデータを、SMFフォーマットでセーブ/ロードします。内部メモリは鍵盤演奏1トラック(+ドラムパターン1トラック)までですので、一般のマルチトラックの曲データは全パートをロードすることはできません。	P. 93
	MP11SEで保存したSMFは、セットアップ情報を特殊なシステムエクスクルーシブデータで保存しています。PCなどで再生した場合は音色が全てピアノになりますが故障ではありません。	
	MP11SEの内蔵レコーダーには、プログラムチェンジメッセージはロードできません。	
	MP11SEのセットアップ情報を持たないSMFは、ロード実行時のパネル設定のセットアップ情報を、その曲の音色情報としてメモリに保存します。ロード前に[LISTEN]ボタンで保存する内容を確認することができますので、再生内容を確認の上、ロードを実行してください。	P. 93
MP3/WAVで録音したオーディオファイルの音量が小さすぎる、または大きすぎる(歪んでいる)。	オーディオレコーダー画面の録音ゲインの設定を調節してください。	P. 75

USB-MIDIについて

コンピュータとデジタルピアノをUSB接続してデータをやりとりするためには、デジタルピアノを正しく動作させるためのソフトウェア(USB-MIDIドライバ)がコンピュータに組み込まれている必要があります。

お使いのコンピュータのOSによって使用するUSB-MIDIドライバが異なりますので、下記の説明をよく読んでお使いください。

■ USB MIDI ドライバ

OS	USB MIDI Driver Support
Windows ME Windows XP (no SP, SP1, SP2, SP3) Windows XP 64-bit Windows Vista (SP1, SP2) Windows Vista 64-bit (SP1, SP2) Windows 7 (no SP, SP1) Windows 7 64-bit Windows 8 / 8.1 Windows 8 / 8.1 64-bit Windows 10 Windows 10 64-bit	<p>Windowsに搭載されている標準USB-MIDIドライバを使用しますので、パソコンと接続すると自動的にこのUSB-MIDIドライバがインストールされます。</p> <p>* アプリケーションソフトで本機とMIDI通信する場合は、MIDIデバイスとしてWindows ME/XPの場合は「USBオーディオデバイス」を、Windows Vista/7/8の場合は「USB-MIDI」を指定してください。</p>
Windows 98 se Windows 2000 Windows Vista (no SP)	<p>指定の専用USB-MIDIドライバをコンピュータに追加する必要があります。 下記のカワイホームページより専用USBドライバをダウンロードしコンピュータにインストールしてください。 → https://www.kawai.jp/download/dc/usb-midi/</p> <p>* パソコンと接続する前に説明書をよく読んで、必ずインストール作業を行ってください。この作業を行わずに接続すると、USB-MIDIドライバが動作しない場合があります。万一動作しなくなった場合は、OSの「ドライバの更新」機能によって正しいUSB-MIDIドライバをインストールするか、「ドライバの削除」で削除してからインストール作業をやり直してください。</p>
Windows Vista 64-bit (no SP)	<p>USB-MIDIをサポートしていません。 SP1、またはSP2にアップグレードをしてください。</p>
Mac OS X	<p>Macintosh OS Xでは自動的にUSB-MIDIデバイスとして認識されますので、特別なドライバは必要ありません。</p> <p>* アプリケーションソフトで本機とMIDI通信する場合は「USB-MIDI」を指定してください。</p>
Mac OS 9	<p>OS9以前のMacintoshはサポートしていません。 市販のMIDIインターフェイスを使用して、MIDI接続してください。</p>

■ USBについての注意事項

- USB-MIDIとMIDI IN/OUTは同時に使用することが可能です。MIDIの内部接続に関してはシステムメニューのMIDIの項(P. 104)をご確認ください。
- デジタルピアノとコンピュータをUSBケーブルで接続する場合は、まずUSBケーブルを接続してからデジタルピアノの電源を入れてください。
- デジタルピアノとコンピュータをUSB接続した場合、通信を開始するまでしばらく時間がかかることがあります。
- デジタルピアノとコンピュータをハブ経由で接続し動作が不安定な場合は、コンピュータのUSBポートに直接接続してください。
- 下記の動作中、デジタルピアノの電源オン/オフ、USBケーブルの抜き差しを行うと、コンピュータやデジタルピアノの動作が不安定になる場合があります。
 - 「ドライバのインストール中」
 - 「コンピュータの起動中」
 - 「MIDIアプリケーションが動作中」
 - 「コンピュータと通信中」
 - 「省電力モードで待機中」
- お使いのコンピュータの設定によっては、USBが正常に動作しない場合があります。ご使になるコンピュータの取扱説明書をよくお読みの上、適切な設定を行ってください。

* 「MIDI」は、社団法人音楽電子事業協会 (AMEI) の登録商標です。

* Macintoshは、Apple Inc. の登録商標です。

* Windowsは、Microsoft Corporationの登録商標です。

* その他、本取扱説明書に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

ソフトウェアアップデート

この項ではプログラムのアップデートがKAWAIから発行された際のMP11SEのソフトウェアのアップデートの方法を記載しています。

ソフトウェアアップデートのときにはこのページの内容をご確認ください。

また、アップデートを行う前にAllBack機能で、全システム設定をUSBメモリに保存しておくことをお勧めします。(P.95参照)

■ ソフトウェアのバージョンを確認する

[STORE] ボタンを押しながら電源を立ち上げます。

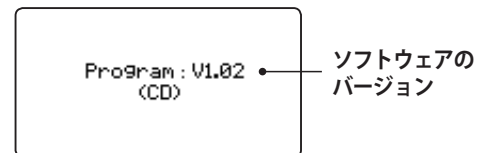
ディスプレイに現在インストールされているプログラムのバージョンが表示されます。

もしバージョンがこれからインストールするバージョンよりも新しければ、インストールする必要はありません。

* 電源を切って再び入ると通常モードで立ち上がります。

もしバージョンが古ければ、下記の作業を行ってください。

STORE



1. USBメモリを準備する

USBメモリのルートフォルダ(一番上の階層)に“MP11SE_040.SYS”をコピーしてください。

* USBメモリは、FATまたは、FAT32でフォーマットされているものを使用してください。



2. USBメモリを接続する

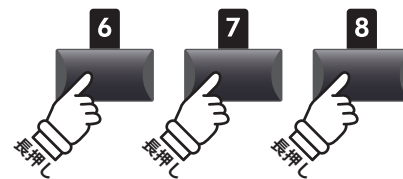
MP11SEの電源を切った状態で：

準備したUSBメモリをMP11SEのUSB端子に挿してください。



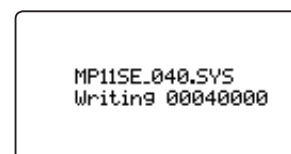
3. アップデートを始める

セットアップセクションの[6] [7] [8] ボタンを同時に押しながらか電源を投入します。



数秒後、アップデートは自動的に始まり、進捗がディスプレイに表示されます。

* アップデート中はUSBメモリを抜かないでください。

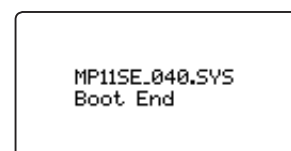


4. アップデートが終わったら、USBメモリを抜く

アップデートが終わったら、右の図のような画面がディスプレイに表示されます。

USBメモリを抜いて、一度電源を切ります。

再び電源を投入すると、バージョンアップされたMP11SEが起動します。



* ソフトウェアのアップデートが失敗した場合、再び手順1からお試してください。

内蔵音色リスト

PIANO セクション

Concert		Pop		Jazz		Upright / Mono	
1	SK Concert Grand	1	Pop Piano	1	SK Jazz Grand	1	Upright Piano
2	EX Concert Grand	2	EX Studio Grand	2	Jazz Grand	2	Mono SK Grand
3	SK-5 Grand	3	SK-5 StudioGrand	3	Standard Grand	3	Mono EX Grand

E.PIANO セクション

Tine		Reed		Modern		E. Grand / Clavi	
1	Tine EP 1	1	Reed EP 1	1	Modern EP 1	1	Electric Grand
2	Tine EP 2	2	Reed EP 2	2	Modern EP 2	2	Clavi 1
3	Tine EP 3	3	Reed EP 3	3	Modern EP 3	3	Clavi 2

SUB セクション

Strings		Pad		Harpsi / Mallet		Bass	
1	String Ensemble	1	Pad 1	1	Harpsichord	1	Wood Bass
2	Beautiful Str.	2	Pad 2	2	Vibraphone	2	Finger Bass
3	String Pad	3	Pad 3	3	Celesta	3	Fretless Bass
4	Warm Strings	4	Pad 4	4	Marimba	4	Wood Bass & Ride

リズムパターンリスト

16 Swing

1	Funk Shuffle 1
2	Funk Shuffle 2
3	Hip Hop 1
4	Hip Hop 2
5	Hip Hop 3
6	Hip Hop 4
7	16 Shuffle 1
8	16 Shuffle 2
9	16 Shuffle 3

16 Funk

10	Funky Beat 1
11	Funky Beat 2
12	Funky Beat 3
13	Funk 1
14	Funk 2
15	Funk 3

16 Straight

16	Jazz Funk
17	16 Beat 1
18	16 Beat 2
19	16 Beat 3
20	16 Beat 4
21	Ride Beat 4
22	Rim Beat
23	Roll Beat
24	Light Ride 1
25	Dixie Rock

16 Latin

26	Surdo Samba
27	Latin Groove
28	Light Samba
29	Songo
30	Samba
31	Merenge

16 Dance

32	Funky Beat 4
33	16 Beat 5
34	Disco 1
35	Disco 2
36	Techno 1
37	Techno 2
38	Techno 3
39	Heavy Techno

16 Ballad

40	Ballad 1
41	Ballad 2
42	Ballad 3
43	Ballad 4
44	Ballad 5
45	Light Ride 2
46	Electro Pop 1
47	Electro Pop 2
48	16 Shuffle 4

8 Ballad

49	Slow Jam
50	50's Triplet
51	R&B Triplet

8 Straight

52	8 Beat 1
53	8 Beat 2
54	Smooth Beat
55	Pop 1
56	Pop 2
57	Ride Beat 1
58	Ride Beat 2
59	Ride Beat 3
60	Slip Beat

8 Rock

61	Jazz Rock
62	8 Beat 3
63	Rock Beat 1
64	Rock Beat 2
65	Rock Beat 3
66	Rock Beat 4
67	Blues/Rock
68	Heavy Beat
69	Hard Rock
70	Surf Rock
71	R&B

8 Swing

72	Motown 1
73	Fast Shuffle
74	Motown 2
75	Country 2 Beat

Triplet

76	Triplet Rock 1
77	Triplet Rock 2
78	Bembe
79	Rock Shuffle 1
80	Rock Shuffle 2
81	Boogie
82	Triplet 1
83	Triplet 2
84	Reggae
85	Gospel Ballad
86	Waltz

Jazz

87	H.H. Swing
88	Ride Swing
89	Fast 4 Beat
90	Afro Cuban
91	Jazz Waltz 1
92	Jazz Waltz 2
93	5/4 Swing

8 Latin

94	H.H. Bossa
95	Ride Bossa
96	Beguine
97	Mambo
98	Cha Cha
99	Tango
100	Habanera

EFXカテゴリ、タイプ、パラメータリスト

1. Chorus

Variation	Parameter 1	Parameter 2	Parameter 3	Parameter 4	Parameter 5	Parameter 6	Parameter 7	Parameter 8	Parameter 9	Parameter 10
Stereo	DryWet	Speed	Depth	PreDly	Phase	LowEQ	HighEQ	-	-	-
Classic	Spread	Inten.	LowEQ	HighEQ	-	-	-	-	-	-
2-Band	DryWet	Balanc	LwrSpd	Lower	UprSpd	UprDpt	PreDly	SplitF	-	-
3-Phase	DryWet	Speed	Depth	PreDly	-	-	-	-	-	-
Wide	DryWet	Speed	Depth	PreDly	-	-	-	-	-	-
Envelope	Depth	Speed	Sens.	PreDly	Phase	-	-	-	-	-
Triangle	DryWet	Speed	Depth	PreDly	Phase	-	-	-	-	-
Sine	DryWet	Speed	Depth	PreDly	-	-	-	-	-	-

2. Flanger

Variation	Parameter 1	Parameter 2	Parameter 3	Parameter 4	Parameter 5	Parameter 6	Parameter 7	Parameter 8	Parameter 9	Parameter 10
Stereo	DryWet	Speed	Depth	F.Back	PreDly	Phase	LowEQ	HighEQ	-	-
2-Band	DryWet	Balanc	LwrSpd	Lower	UprSpd	UprDpt	F.Back	PreDly	SplitF	-
Touch	DryWet	Sens.	F.Back	PreDly	LowEQ	HighEQ	-	-	-	-
Sine	DryWet	Speed	Depth	F.Back	PreDly	-	-	-	-	-
Triangle	DryWet	Speed	Depth	F.Back	PreDly	Phase	-	-	-	-

3. Phaser

Variation	Parameter 1	Parameter 2	Parameter 3	Parameter 4	Parameter 5	Parameter 6	Parameter 7	Parameter 8	Parameter 9	Parameter 10
Warm	DryWet	Speed	Depth	Reso.	LowEQ	HighEQ	-	-	-	-
Classic	DryWet	Speed	Depth	Reso.	Manual	LowEQ	HighEQ	-	-	-
8-Stage	DryWet	Speed	Depth	Reso.	Manual	-	-	-	-	-
2-Band	DryWet	Balanc	LwrSpd	Lower	LwrMnu	UprSpd	UprDpt	UprMnu	SplitF	-
Touch	DryWet	Sens.	Reso.	Manual	LowEQ	HighEQ	-	-	-	-
St.2-Stage	DryWet	Speed	Depth	Manual	Phase	-	-	-	-	-

4. Wah

Variation	Parameter 1	Parameter 2	Parameter 3	Parameter 4	Parameter 5	Parameter 6	Parameter 7	Parameter 8	Parameter 9	Parameter 10
ClassicTch	DryWet	Sens.	Reso.	Manual	LowEQ	HighEQ	-	-	-	-
ClassicLfo	DryWet	Speed	Depth	Reso.	Manual	LowEQ	HighEQ	-	-	-
ClassicPdl	DryWet	Sens.	Reso.	Manual	LowEQ	HighEQ	-	-	-	-
LpTch	DryWet	Sens.	Manual	-	-	-	-	-	-	-
LpLfo	DryWet	Speed	Depth	Manual	-	-	-	-	-	-
LpPdl	DryWet	Sens.	Manual	-	-	-	-	-	-	-

5. Tremolo

Variation	Parameter 1	Parameter 2	Parameter 3	Parameter 4	Parameter 5	Parameter 6	Parameter 7	Parameter 8	Parameter 9	Parameter 10
Classic	Depth	Speed	LowEQ	HighEQ	-	-	-	-	-	-
2-Band	Depth	Balanc	LwrSpd	UprSpd	SplitF	-	-	-	-	-
VibratoTrm	Depth	Speed	Vib.	LowEQ	HighEQ	-	-	-	-	-
Sine	Depth	Speed	-	-	-	-	-	-	-	-
Square	Depth	Speed	-	-	-	-	-	-	-	-
Saw	Depth	Speed	-	-	-	-	-	-	-	-

6. Auto Pan

Variation	Parameter 1	Parameter 2	Parameter 3	Parameter 4	Parameter 5	Parameter 6	Parameter 7	Parameter 8	Parameter 9	Parameter 10
Classic	Depth	Speed	LowEQ	HighEQ	-	-	-	-	-	-
2-Band	Depth	Balanc	LwrSpd	UprSpd	SplitF	-	-	-	-	-
Envelope	Depth	Speed	Sens.	-	-	-	-	-	-	-
Standard	Depth	Speed	-	-	-	-	-	-	-	-

7. Delay / Reverb

Variation	Parameter 1	Parameter 2	Parameter 3	Parameter 4	Parameter 5	Parameter 6	Parameter 7	Parameter 8	Parameter 9	Parameter 10
Standard	DryWet	Time	F.Back	H.Damp	-	-	-	-	-	-
PingPong	DryWet	Time	F.Back	H.Damp	-	-	-	-	-	-
LCR	DryWet	Time	F.Back	H.Damp	-	-	-	-	-	-
3-Tap	DryWet	C.Time	C.Gain	F.Back	H.Damp	L.Time	L.Gain	R.Time	RightG	-
Classic	DryWet	Time	F.Back	-	-	-	-	-	-	-
Short	DryWet	Time	F.Back	-	-	-	-	-	-	-
Ambience	DryWet	Size	H.Damp	LowEQ	HighEQ	-	-	-	-	-
EarlyRef	DryWet	Size	PreDly	LPF	LowEQ	HighEQ	-	-	-	-

8. Pitch Shift

Variation	Parameter 1	Parameter 2	Parameter 3	Parameter 4	Parameter 5	Parameter 6	Parameter 7	Parameter 8	Parameter 9	Parameter 10
Detune	DryWet	Fine	-	-	-	-	-	-	-	-
FeedBack	DryWet	Fine	Coarse	Delay	F.Back	H.Damp	-	-	-	-
Standard	DryWet	Fine	Coarse	-	-	-	-	-	-	-

9. Compressor

Variation	Parameter 1	Parameter 2	Parameter 3	Parameter 4	Parameter 5	Parameter 6	Parameter 7	Parameter 8	Parameter 9	Parameter 10
2-Band	Gain	Balanc	LRatio	LThrsH	LwrAtk	Releas	URatio	UThrsH	UprAtk	SplitF
Standard	Gain	Ratio	Trshld	Attack	Releas	-	-	-	-	-

10. Overdrive

Variation	Parameter 1	Parameter 2	Parameter 3	Parameter 4	Parameter 5	Parameter 6	Parameter 7	Parameter 8	Parameter 9	Parameter 10
Stereo	DryWet	Drive	Gain	LowEQ	HighEQ	-	-	-	-	-
Classic	DryWet	Drive	Gain	-	-	-	-	-	-	-
Distortion	DryWet	Drive	Gain	-	-	-	-	-	-	-

11. EQ / Filter

Variation	Parameter 1	Parameter 2	Parameter 3	Parameter 4	Parameter 5	Parameter 6	Parameter 7	Parameter 8	Parameter 9	Parameter 10
4-BandEQ	Gain	Low	Mid1	Mid1Q	Mid1F	High	Mid2	Mid2Q	Mid2F	-
7-BandEQ	Gain	100Hz	200Hz	400Hz	800Hz	1.6kHz	3.2kHz	6.4kHz	-	-
Standerd	Gain	Low	Mid	High	Mid F	-	-	-	-	-
Enhancer	DryWet	Depth	-	-	-	-	-	-	-	-
10-PoleFlt	DryWet	Freq.	Sens.	Gain	LpfHpf	-	-	-	-	-

EFX カテゴリ、タイプ、パラメータリスト

12. Rotary

Variation	Parameter 1	Parameter 2	Parameter 3	Parameter 4	Parameter 5	Parameter 6	Parameter 7	Parameter 8	Parameter 9	Parameter 10
Classic	Slow/Fast	LwrFastSpd	LwrSlowSpd	LwrAcc.Sp	Rot:Spread	UprFastSpd	UprSlowSpd	UprAcc.Sp	-	-
Warm	Slow/Fast	LwrFastSpd	LwrSlowSpd	LwrAcc.Sp	Rot:Spread	UprFastSpd	UprSlowSpd	UprAcc.Sp	-	-
Dirty	Slow/Fast	Rot:Depth	Rot:AccSpd	Rot:Spread	FastSpeed	SlowSpeed	Rot:LowEQ	Rot:HighEQ	Rot:Drive	Rot:Gain
+Vib/Cho	Slow/Fast	Rot:Depth	FastSpeed	SlowSpeed	Rot:AccSpd	Rot:Spread	Rot:VibCho	Rot:Mode	-	-
Single	Slow/Fast	Rot:Depth	FastSpeed	SlowSpeed	Rot:AccSpd	Rot:Spread	-	-	-	-

13. Groove

Variation	Parameter 1	Parameter 2	Parameter 3	Parameter 4	Parameter 5	Parameter 6	Parameter 7	Parameter 8	Parameter 9	Parameter 10
S/H Flg	Grv:DryWet	Grv:Speed	Grv:Depth	Grv:F.Back	Grv:Manual	Grv:Attack	Grv:PanDpt	-	-	-
S/H Pha	Grv:DryWet	Grv:Speed	Grv:Depth	Grv:F.Back	Grv:Manual	Grv:Attack	Grv:PanDpt	-	-	-
S/H Wah	Grv:DryWet	Grv:Speed	Grv:Depth	Grv:F.Back	Grv:Manual	Grv:Attack	Grv:PanDpt	-	-	-
S/H Pan	Grv:DryWet	Grv:Speed	Grv:Pan	Grv:Attack	-	-	-	-	-	-

14. Misc

Variation	Parameter 1	Parameter 2	Parameter 3	Parameter 4	Parameter 5	Parameter 6	Parameter 7	Parameter 8	Parameter 9	Parameter 10
RingMod	Mod:DryWet	Mod:Freq.	Mod:LowEQ	Mod:HighEQ	-	-	-	-	-	-
Lo-Fi	Mod:DryWet	Mod:ModSpd	Mod:ModDpt	Mod:S.Rate	Mod:Reso.	Mod:Filter	-	-	-	-

15. Chorus+

Variation	Parameter 1	Parameter 2	Parameter 3	Parameter 4	Parameter 5	Parameter 6	Parameter 7	Parameter 8	Parameter 9	Parameter 10
Flanger	Cho:DryWet	Cho:Speed	Cho:Depth	Cho:PreDly	Cho:Phase	Flg:DryWet	Flg:Speed	Flg:Depth	Flg:F.Back	Flg:PreDly
Phaser	Cho:DryWet	Cho:Speed	Cho:Depth	Cho:PreDly	Cho:Phase	Pha:DryWet	Pha:Speed	Pha:Depth	Pha:Manual	Pha:Phase
Wah	Cho:DryWet	Cho:Speed	Cho:Depth	Cho:PreDly	Cho:Phase	Wah:DryWet	Wah:Sens.	Wah:Manual	-	-
Tremolo	Cho:DryWet	Cho:Speed	Cho:Depth	Cho:PreDly	Cho:Phase	Trm:Depth	Trm:Speed	-	-	-
AutoPan	Cho:DryWet	Cho:Speed	Cho:Depth	Cho:PreDly	Cho:Phase	Pan:Depth	Pan:Speed	-	-	-
Delay	Cho:DryWet	Cho:Speed	Cho:Depth	Cho:PreDly	Cho:Phase	Dly:DryWet	Dly:Time	Dly:F.Back	-	-

16. Phaser+

Variation	Parameter 1	Parameter 2	Parameter 3	Parameter 4	Parameter 5	Parameter 6	Parameter 7	Parameter 8	Parameter 9	Parameter 10
Chorus	Pha:DryWet	Pha:Speed	Pha:Depth	Pha:Manual	Pha:Phase	Cho:DryWet	Cho:Speed	Cho:Depth	Cho:PreDly	Cho:Phase
Flanger	Pha:DryWet	Pha:Speed	Pha:Depth	Pha:Manual	Pha:Phase	Flg:DryWet	Flg:Speed	Flg:Depth	Flg:F.Back	Flg:PreDly
Wah	Pha:DryWet	Pha:Speed	Pha:Depth	Pha:Manual	Pha:Phase	Wah:DryWet	Wah:Sens.	Wah:Manual	-	-
Tremolo	Pha:DryWet	Pha:Speed	Pha:Depth	Pha:Manual	Pha:Phase	Trm:Depth	Trm:Speed	-	-	-
AutoPan	Pha:DryWet	Pha:Speed	Pha:Depth	Pha:Manual	Pha:Phase	Pan:Depth	Pan:Speed	-	-	-
Delay	Pha:DryWet	Pha:Speed	Pha:Depth	Pha:Manual	Pha:Phase	Dly:DryWet	Dly:Time	Dly:F.Back	-	-

17. Wah+

Variation	Parameter 1	Parameter 2	Parameter 3	Parameter 4	Parameter 5	Parameter 6	Parameter 7	Parameter 8	Parameter 9	Parameter 10
Chorus	Wah:DryWet	Wah:Sens.	Wah:Manual	Cho:DryWet	Cho:Speed	Cho:Depth	Cho:PreDly	Cho:Phase	-	-
Flanger	Wah:DryWet	Wah:Sens.	Wah:Manual	Flg:DryWet	Flg:Speed	Flg:Depth	Flg:F.Back	Flg:PreDly	-	-
Phaser	Wah:DryWet	Wah:Sens.	Wah:Manual	Pha:DryWet	Pha:Speed	Pha:Depth	Pha:Manual	Pha:Phase	-	-
Tremolo	Wah:DryWet	Wah:Sens.	Wah:Manual	Trm:Depth	Trm:Speed	-	-	-	-	-
AutoPan	Wah:DryWet	Wah:Sens.	Wah:Manual	Pan:Depth	Pan:Speed	-	-	-	-	-
Delay	Wah:DryWet	Wah:Sens.	Wah:Manual	Dly:DryWet	Dly:Time	Dly:F.Back	-	-	-	-

18. EQ+

Variation	Parameter 1	Parameter 2	Parameter 3	Parameter 4	Parameter 5	Parameter 6	Parameter 7	Parameter 8	Parameter 9	Parameter 10
Chorus	EQ :Gain	EQ :Low	EQ :Mid	EQ :High	EQ :Mid F	Cho:DryWet	Cho:Speed	Cho:Depth	Cho:PreDly	Cho:Phase
Flanger	EQ :Gain	EQ :Low	EQ :Mid	EQ :High	EQ :Mid F	Flg:DryWet	Flg:Speed	Flg:Depth	Flg:F.Back	Flg:PreDly
Phaser	EQ :Gain	EQ :Low	EQ :Mid	EQ :High	EQ :Mid F	Pha:DryWet	Pha:Speed	Pha:Depth	Pha:Manual	Pha:Phase
Wah	EQ :Gain	EQ :Low	EQ :Mid	EQ :High	EQ :Mid F	Wah:DryWet	Wah:Sens.	Wah:Manual	-	-
Tremolo	EQ :Gain	EQ :Low	EQ :Mid	EQ :High	EQ :Mid F	Trm:Depth	Trm:Speed	-	-	-
AutoPan	EQ :Gain	EQ :Low	EQ :Mid	EQ :High	EQ :Mid F	Pan:Depth	Pan:Speed	-	-	-
Delay	EQ :Gain	EQ :Low	EQ :Mid	EQ :High	EQ :Mid F	Dly:DryWet	Dly:Time	Dly:F.Back	-	-
Compressor	EQ :Gain	EQ :Low	EQ :Mid	EQ :High	EQ :Mid F	Cmp:Gain	Cmp:Ratio	Cmp:Thresh	Cmp:Attack	Cmp:Releas

19. Enhancer+

Variation	Parameter 1	Parameter 2	Parameter 3	Parameter 4	Parameter 5	Parameter 6	Parameter 7	Parameter 8	Parameter 9	Parameter 10
Chorus	Enh:DryWet	Enh:Depth	Cho:DryWet	Cho:Speed	Cho:Depth	Cho:PreDly	Cho:Phase	-	-	-
Flanger	Enh:DryWet	Enh:Depth	Flg:DryWet	Flg:Speed	Flg:Depth	Flg:F.Back	Flg:PreDly	-	-	-
Phaser	Enh:DryWet	Enh:Depth	Pha:DryWet	Pha:Speed	Pha:Depth	Pha:Manual	Pha:Phase	-	-	-
Wah	Enh:DryWet	Enh:Depth	Wah:DryWet	Wah:Sens.	Wah:Manual	-	-	-	-	-
Tremolo	Enh:DryWet	Enh:Depth	Trm:Depth	Trm:Speed	-	-	-	-	-	-
AutoPan	Enh:DryWet	Enh:Depth	Pan:Depth	Pan:Speed	-	-	-	-	-	-
Delay	Enh:DryWet	Enh:Depth	Dly:DryWet	Dly:Time	Dly:F.Back	-	-	-	-	-
Compressor	Enh:DryWet	Enh:Depth	Cmp:Gain	Cmp:Ratio	Cmp:Thresh	Cmp:Attack	Cmp:Releas	-	-	-

20. Pitch Shift+

Variation	Parameter 1	Parameter 2	Parameter 3	Parameter 4	Parameter 5	Parameter 6	Parameter 7	Parameter 8	Parameter 9	Parameter 10
Flanger	Psh:DryWet	Psh:Fine	Psh:Coarse	Flg:DryWet	Flg:Speed	Flg:Depth	Flg:F.Back	Flg:PreDly	-	-
Phaser	Psh:DryWet	Psh:Fine	Psh:Coarse	Pha:DryWet	Pha:Speed	Pha:Depth	Pha:Manual	Pha:Phase	-	-
Wah	Psh:DryWet	Psh:Fine	Psh:Coarse	Wah:DryWet	Wah:Sens.	Wah:Manual	-	-	-	-
Tremolo	Psh:DryWet	Psh:Fine	Psh:Coarse	Trm:Depth	Trm:Speed	-	-	-	-	-
AutoPan	Psh:DryWet	Psh:Fine	Psh:Coarse	Pan:Depth	Pan:Speed	-	-	-	-	-
Delay	Psh:DryWet	Psh:Fine	Psh:Coarse	Dly:DryWet	Dly:Time	Dly:F.Back	-	-	-	-

EFX カテゴリ、タイプ、パラメータリスト

21. Compressor+

Variation	Parameter 1	Parameter 2	Parameter 3	Parameter 4	Parameter 5	Parameter 6	Parameter 7	Parameter 8	Parameter 9	Parameter 10
Chorus	Cmp:Gain	Cmp:Ratio	Cmp:Thresh	Cmp:Attack	Cmp:Releas	Cho:DryWet	Cho:Speed	Cho:Depth	Cho:PreDly	Cho:Phase
Flanger	Cmp:Gain	Cmp:Ratio	Cmp:Thresh	Cmp:Attack	Cmp:Releas	Flg:DryWet	Flg:Speed	Flg:Depth	Flg:F.Back	Flg:PreDly
Phaser	Cmp:Gain	Cmp:Ratio	Cmp:Thresh	Cmp:Attack	Cmp:Releas	Pha:DryWet	Pha:Speed	Pha:Depth	Pha:Manual	Pha:Phase
Wah	Cmp:Gain	Cmp:Ratio	Cmp:Thresh	Cmp:Attack	Cmp:Releas	Wah:DryWet	Wah:Sens.	Wah:Manual	-	-
Tremolo	Cmp:Gain	Cmp:Ratio	Cmp:Thresh	Cmp:Attack	Cmp:Releas	Trm:Depth	Trm:Speed	-	-	-
AutoPan	Cmp:Gain	Cmp:Ratio	Cmp:Thresh	Cmp:Attack	Cmp:Releas	Pan:Depth	Pan:Speed	-	-	-
Delay	Cmp:Gain	Cmp:Ratio	Cmp:Thresh	Cmp:Attack	Cmp:Releas	Dly:DryWet	Dly:Time	Dly:F.Back	-	-
OverDrive	Cmp:Gain	Cmp:Ratio	Cmp:Thresh	Cmp:Attack	Cmp:Releas	Ovd:DryWet	Ovd:Drive	Ovd:Gain	-	-

22. Overdrive+

Variation	Parameter 1	Parameter 2	Parameter 3	Parameter 4	Parameter 5	Parameter 6	Parameter 7	Parameter 8	Parameter 9	Parameter 10
Chorus	Ovd:DryWet	Ovd:Drive	Ovd:Gain	Cho:DryWet	Cho:Speed	Cho:Depth	Cho:PreDly	Cho:Phase	-	-
Flanger	Ovd:DryWet	Ovd:Drive	Ovd:Gain	Flg:DryWet	Flg:Speed	Flg:Depth	Flg:F.Back	Flg:PreDly	-	-
Phaser	Ovd:DryWet	Ovd:Drive	Ovd:Gain	Pha:DryWet	Pha:Speed	Pha:Depth	Pha:Manual	Pha:Phase	-	-
Wah	Ovd:DryWet	Ovd:Drive	Ovd:Gain	Wah:DryWet	Wah:Sens.	Wah:Manual	-	-	-	-
Tremolo	Ovd:DryWet	Ovd:Drive	Ovd:Gain	Trm:Depth	Trm:Speed	-	-	-	-	-
AutoPan	Ovd:DryWet	Ovd:Drive	Ovd:Gain	Pan:Depth	Pan:Speed	-	-	-	-	-
Delay	Ovd:DryWet	Ovd:Drive	Ovd:Gain	Dly:DryWet	Dly:Time	Dly:F.Back	-	-	-	-
EQ	Ovd:DryWet	Ovd:Drive	Ovd:Gain	EQ:Gain	EQ:Low	EQ:Mid	EQ:High	EQ:MidFrq	-	-

23. Parallel

Variation	Parameter 1	Parameter 2	Parameter 3	Parameter 4	Parameter 5	Parameter 6	Parameter 7	Parameter 8	Parameter 9	Parameter 10
Cho Flg	Cho:DryWet	Cho:Speed	Cho:Depth	Cho:PreDly	Cho:Phase	Flg:DryWet	Flg:Speed	Flg:Depth	Flg:F.Back	Flg:PreDly
Cho Pha	Cho:DryWet	Cho:Speed	Cho:Depth	Cho:PreDly	Cho:Phase	Pha:DryWet	Pha:Speed	Pha:Depth	Pha:Manual	Pha:Phase
Cho Wah	Cho:DryWet	Cho:Speed	Cho:Depth	Cho:PreDly	Cho:Phase	Wah:DryWet	Wah:Sens.	Wah:Manual	-	-
Cho Trm	Cho:DryWet	Cho:Speed	Cho:Depth	Cho:PreDly	Cho:Phase	Trm:Depth	Trm:Speed	-	-	-
Cho Pan	Cho:DryWet	Cho:Speed	Cho:Depth	Cho:PreDly	Cho:Phase	Pan:Depth	Pan:Speed	-	-	-
Cho Dly	Cho:DryWet	Cho:Speed	Cho:Depth	Cho:PreDly	Cho:Phase	Dly:DryWet	Dly:Time	Dly:F.Back	-	-

■ Kawai MP11SE Stage Piano

鍵盤	木製鍵盤 Grand Feel アクション	
音源	HI-XL 88 鍵ステレオサンプリング	
音色	40 音色 (PIANO : 12 音色、E.PIANO : 12 音色、SUB : 16 音色)	
同時発音数	最大 256 音 (音色により異なる)	
鍵盤モード	Full, Upper Split, Lower Split, Zone	
セクション	内部	PIANO, E.PIANO, SUB
	外部	MIDI (ZONE1, ZONE2, ZONE3, ZONE4)
リバーブ	タイプ	6タイプ (Room, Lounge, Small Hall, Concert Hall, Live Hall, Cathedral)
	パラメータ	Pre Delay, Reverb Time, Reverb Depth
エフェクト	タイプ	129タイプ (23カテゴリ)
	パラメータ	エフェクトタイプにより異なる (最大10パラメータ)
アンプシミュレータ E.PIANOのみ	タイプ	5タイプ (S.Case, M.Stack, J.Combo, F.Bass, L.Cabi)
	パラメータ	Drive, Level, Amp EQ Lo, Amp EQ Mid, Amp EQ Hi, Mid Frequency, Mic Type, Mic Position, Ambience
バーチャルテクニシャン	タッチカーブ	6タイプ (Light+, Light, Normal, Heavy, Heavy+, Off), User1 ~ 5
	パラメータ	PIANO : Voicing, String Resonance, Undamped Resonance, Damper Resonance, Key-off Effect, Damper Noise, Hammer Delay, Fall-back Noise, Topboard, Stereo Width, Brilliance E.PIANO, SUB : Key-off Noise, Key-off Delay
	音律 & チューニング	7種類 (Equal (平均律), Pure Major/Minor (純正律 長調/短調), Pythagorean (ピタゴラス音律), Meantone (中全音律), Werkmeister (ヴェルクマイスター第三法), Kirnberger (キルンベルガー第三法)), User1 ~ 2 Fine Tune, Stretch Tuning, Key of Temperament
EQ (イコライザ)	4バンド EQ (Low Gain, Mid1 Gain, Mid1 Q, Mid1 Freq., Mid2 Gain, Mid2 Q, Mid2 Freq., High Gain)	
レコーダー	内部	10ソング、総記憶音数約90,000音 移調、オーディオ変換、SMF読み出し、SMF保存
	オーディオ	MP3/WAV再生、MP3/WAV録音、オーバーダビング、録音ゲイン調整
メトロノーム	クリック	1/4, 2/4, 3/4, 4/4, 5/4, 3/8, 6/8, 7/8, 9/8, 12/8
	リズム	100種類
内部メモリ	SOUND	40種類
	SETUP	208種類
	POWER ON	1種類
USB機能	Load/Save	One Sonud, One Setup, SMF, All Sound, All Setup, All Backup
	その他	Delete, Rename, Format
エディットメニュー	音色セクション	107パラメータ (Reverb, EFX/AMP, Sound, Tuning, Key Setup, Controller, Knob Assign, Virtual Tech)
	MIDIゾーン	55パラメータ (Channel/Program, SETUP, Transmit, MMC, Key Setup, Controllers, Knob Assign)
システムメニュー	52パラメータ (Utility, Pedal, MIDI, Offset, User Edit, Reset)	
ディスプレイ	128x64ドットマトリクスLCD	
パネルコントロール	ボリューム、ラインインボリューム、セクションボリューム (PIANO, E.PIANO, SUB)、アサインブルノブA ~ D、ピッチベンド、モジュレーション	
ジャック	出力	ラインアウト (L/MONO) : 標準、Fixed out : XLR (グラウンドリフトスイッチ付き)、ヘッドホン
	入力	ラインイン (L/MONO) : 標準
	MIDI/USB	MIDI IN, MIDI OUT, MIDI THRU, USB to Host, USB to Device
	ペダル	ダンパー / ソステヌート / ソフト (GFP-3)、フットスイッチ、エクスプレッション (EXP TYPE スイッチ付き)
	電源	AC IN
消費電力	20W	
寸法	138 (W) x 45.5 (D) x 19 (H) cm	
重量	34.0 kg	
同梱物	ダンパー / ソステヌート / ソフトペダル (GFP-3)、譜面台、電源コード、取扱説明書	

※ 仕様は告知なしに変更される場合があります。

1. Recognised data

- 1.1 Channel Voice Message
- 1.2 Channel Mode Message
- 1.3 System Realtime Message

2. Transmitted data

- 2.1 Channel Voice Message
- 2.2 Channel Mode Message
- 2.3 System Realtime Message

3. Exclusive data

- 3.1 MMC Commands
- 3.2 Parameter Send
- 3.3 Setup Parameters: Global Section
- 3.4 Setup Parameters: EDIT Menu
- 3.5 Setup Parameters: SYSTEM Menu
- 3.6 Assignable Knob Parameters

4. SOUND/SETUP Program/Bank

5. Control Change Number (CC#) Table

MIDI Implementation Chart

1 Recognised Data

1.1 Channel Voice Message

Note off

Status	2nd Byte	3rd Byte
8nH	kkH	vvH
9nH	kkH	00H
n=MIDI channel number		:0H-fH(ch.1 ~ ch.16)
kk=Note Number		:00H - 7fH(0 ~ 127)
vv=Velocity		:00H - 7fH(0 ~ 127)

Note on

Status	2nd Byte	3rd Byte
9nH	kkH	vvH
n=MIDI channel number		:0H-fH(ch.1 ~ ch.16)
kk=Note Number		:00H - 7fH(0 ~ 127)
vv=Velocity		:00H - 7fH(0 ~ 127)

Control Change Bank Select (MSB)

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	00H	mmH
BnH	20H	llH
n=MIDI channel number		:0H-fH(ch.1 ~ ch.16)
mm = Bank Number MSB		:00H-7fH (0 ~ 127)
ll = BankNumber LSB		:00H-7fH (0 ~ 127)

Modulation

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	01H	vvH
n=MIDI channel number		:0H-fH(ch.1 ~ ch.16)
vv = Modulation depth		:00H - 7fH(0 ~ 127) Default = 00H

Data Entry

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	06H	mmH
BnH	26H	llH
n=MIDI channel number		:0H-fH(ch.1 ~ ch.16)
mm,ll=Value indicated in RPN/NRPN *see RPN/NRPN chapter		:00H - 7fH(0 ~ 127)

Volume

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	07H	vvH
n=MIDI channel number		:0H-fH(ch.1 ~ ch.16)
vv=Volume		:00H - 7fH(0 ~ 127) Default = 7fH

Panpot

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	0aH	vvH
n=MIDI channel number		:0H-fH(ch.1 - ch.16)
vv=Panpot		:00H - 40H - 7fH(left ~centre~right) Default = 40H(centre)

1.1 Channel Voice Message (cont.)

Expression

Status	2nd Byte	3rd Byte	
BnH	0bH	vvH	
n=MIDI channel number		:0H-fH(ch.1 ~ ch.16)	
vv=Expression		:00H - 7fH(0 ~ 127)	Default = 7fH

Damper Pedal

Status	2nd Byte	3rd Byte	
BnH	40H	vvH	
n=MIDI channel number		:0H-fH(ch.1 ~ ch.16)	
vv=Control Value		:00H - 7fH(0 ~ 127)	Default = 00H
0 - 63=OFF, 64 - 127=ON			

Sostenuto Pedal

Status	2nd Byte	3rd Byte	
BnH	42H	vvH	
n=MIDI channel number		:0H-fH(ch.1 ~ ch.16)	
vv=Control Value		:00H - 7fH(0 ~ 127)	Default = 00H
0 - 63 =OFF, 64 - 127=ON			

Soft Pedal

Status	2nd Byte	3rd Byte	
BnH	43H	vvH	
n=MIDI channel number		:0H-fH(ch.1 ~ ch.16)	
vv=Control Value		:00H - 7fH(0 ~ 127)	Default = 00H
0 - 63 =OFF, 64 - 127=ON			

Sound controllers #1-9

Status	2nd Byte	3rd Byte	
BnH	46H	vvH	Sustain Level
BnH	47H	vvH	Resonance
BnH	48H	vvH	Release time
BnH	49H	vvH	Attack time
BnH	4aH	vvH	Cutoff
BnH	4bH	vvH	Decay time
BnH	4cH	vvH	Vibrato Rate
BnH	4dH	vvH	Vibrato Depth
BnH	4eH	vvH	Vibrato Delay
n=MIDI channel number		:0H-fH(ch.1 ~ ch.16)	
vv=Control Value		:00H - 7fH(-64 ~ 0 ~ +63)	Default = 40H

Effect Control

Status	2nd Byte	3rd Byte	
BnH	5bH	vvH	Reverb depth
n=MIDI channel number		:0H-fH(ch.1 ~ ch.16)	
vv = Control Value		:00H - 7fH(0 ~ 127)	

1.1 Channel Voice Message (cont.)

RPN MSB/LSB

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	63H	mmH
BnH	62H	llH
n=MIDI channel number		:0H-fH(ch.1 ~ ch.16)
mm=MSB of the NRPN parameter number		
ll=LSB of the NRPN parameter number		

NRPN numbers implemented in MP11SE are as follows

NRPN # Data

MSB	LSB	MSB	Function & Range		
01H	08H	mmH	Vibrato Rate mm	:00H - 7FH(-64 ~ 0 ~ +63)	Default = 40H
01H	09H	mmH	Vibrato Depth mm	:00H - 7FH(-64 ~ 0 ~ +63)	Default = 40H
01H	0aH	mmH	Vibrato Delay mm	:00H - 7FH(-64 ~ 0 ~ +63)	Default = 40H
01H	20H	mmH	Cutoff mm	:00H - 7FH(-64 ~ 0 ~ +63)	Default = 40H
01H	21H	mmH	Resonance mm	:00H - 7FH(-64 ~ 0 ~ +63)	Default = 40H
01H	63H	mmH	Attack time mm	:00H - 7FH(-64 ~ 0 ~ +63)	Default = 40H
01H	64H	mmH	Decay time mm	:00H - 7FH(-64 ~ 0 ~ +63)	Default = 40H
01H	66H	mmH	Release time mm	:00H - 7FH(-64 ~ 0 ~ +63)	Default = 40H

* Ignoring the LSB of data Entry

* It is not affected in case of modifying cutoff if tone does not use the DCF.

RPN MSB/LSB

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	65H	mmH
BnH	64H	llH
n=MIDI channel number		:0H-fH(ch.1 ~ ch.16)

mm=MSB of the RPN parameter number

ll=LSB of the RPN parameter number

RPN number implemented in MP11SE are the followings

RPN # Data

MSB	LSB	MSB	LSB	Function & Range	
00H	00H	mmH	llH	Pitch bend sensitivity	
		mm	:00H-0cH (0~12 [half tone]),ll:00H		Default=02H
00H	01H	mmH	llH	Master fine tuning	
		mm,ll	:20 00H - 40 00H - 60 00H (-8192x50/8192 ~ 0 ~ +8192x50/8192 [cent])		
7fH	7fH	--	--	RPN NULL	

Program Change

Status	2nd Byte	
CnH	ppH	
n=MIDI channel number		:0H-fH(ch.1 ~ ch.16)
pp=Program number		:00H - 7fH(0 ~ 127)
		Default = 00H

Pitch Bend Change

Status	2nd Byte	3rd Byte
EnH	llH	mmH
n=MIDI channel number		:0H-fH(ch.1 ~ ch.16)
mm,ll=Pitch bend value		:00 00-7f 7fH(-8192~0~+8192)
		Default = 40 00H

1.2 Channel Mode Message

All Sound OFF

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	78H	00H

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 ~ ch.16)

Reset All Controller

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	79H	00H

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 ~ ch.16)

All Note Off

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	7bH	00H

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 ~ ch.16)

1.3 System Realtime Message

Status

FEH	Active sensing
-----	----------------

2 Transmitted Data

2.1 Channel Voice Message

Note off

Status	2nd Byte	3rd Byte
8nH	kkH	vvH
n=MIDI channel number		:0H-fH(ch.1 ~ ch.16)
kk=Note Number		:00H - 7fH(0 ~ 127)
vv=Velocity		:00H - 7fH(0 ~ 127)

Note on

Status	2nd Byte	3rd Byte
9nH	kkH	vvH
n=MIDI channel number		:0H-fH(ch.1 ~ ch.16)
kk=Note Number		:00H - 7fH(0 ~ 127)
vv=Velocity		:00H - 7fH(0 ~ 127)

Control Change

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	ccH	vvH

* Sending by Assignable Control Knobs

Program Change

Status	2nd Byte	
CnH	ppH	
n=MIDI channel number		:0H-fH(ch.1 ~ ch.16)
pp=Program number		:00H - 7fH(0 ~ 127) Default = 00H

After Touch

Status	2nd Byte	
DnH	ppH	
n=MIDI channel number		:0H-fH(ch.1 ~ ch.16)
pp=Value		
*Sending only when Controller or Knob=AfterTouch		

Pitch Bend Change

Status	2nd Byte	3rd Byte
EnH	llH	mmH
n=MIDI channel number		:0H-fH(ch.1 ~ ch.16)
mm,ll=Pitch bend value		:00 00-7f 7fH(-8192~0~+8192) Default = 40 00H

2.2 Channel Mode Message

Reset All Controller

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	79H	00H
n = MIDI channel number		:0H-fH(ch.1 ~ ch.16)
*Sending by [PANIC] function		

All Note Off

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	7bH	00H
n = MIDI channel number		:0H-fH(ch.1 ~ ch.16)
*Sending by [PANIC] function		

MONO

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	7eH	mmH
n=MIDI channel number		:0H-fH(ch.1 ~ ch.16)
mm=mono number		:01H(M=1)

POLY

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	7fH	00H
n=MIDI channel number		:0H-fH(ch.1 ~ ch.16)

2.3 System Realtime Message

Status

FAH	Start
FBH	Continue
FCH	Stop

*Sending by [RECORDER CONTROL] buttons

3 Exclusive Data

3.1 MMC Commands

No.	Description	Value	Notes
1	Exclusive	F0H	
2	Universal Real Time	7FH	
3	Device ID	0-7FH	
4	MMC command	06H	
5	Command Number	01-0DH	* see table right
6	EOX	F7H	

* Sending by [RECORDER CONTROL] buttons

* Transmit only

MMC Commands			
01	STOP	08	RECORD PAUSE
02	PLAY	09	PAUSE
03	DEFERRED PLAY	0A	EJECT
04	FAST FORWARD	0B	CHASE
05	REWIND	0C	COMMAND ERROR RESET
06	RECORD STROBE	0D	MMC RESET
07	RECORD EXIT		

3.2 Parameter Send

No.	Description	Value	Notes
1	Exclusive	F0H	
2	KAWAI ID	40H	
3	Channel Number	0-0FH, 7FH	System Channel = 0-FH, Global = 7FH
4	Function Number	10H	Parameter Send
5	Group Number	00H	MI Group ID
6	Machine Number	14H	Machine ID
7	data1	50-5FH	Command ID
8	data2	0-7FH	Sub Command ID
9	data3	0-7FH	Part number (System = 7FH)
10	data4~	0-7FH	data max 18byte
	EOX	F7H	

Part number :

	MP11SE *pp=00~06
00H	INT1 (PIANO)
01H	INT2 (E.PIANO)
02H	INT3 (SUB)
03H	EXT1 (ZONE1)
04H	EXT2 (ZONE2)
05H	EXT3 (ZONE3)
06H	EXT4 (ZONE4)
07H	-reserved-
08H	INT-COMMON
09H	MIDI-COMMON
7FH	SYSTEM/COMMON

3.3 Setup Parameters: Global Section

Category	Parameter	Com.	Sub.	Part	Byte	Value (HEX)
SETUP	Setup Mode On/Off	51	04	7F	1	00, 01 (Off, On)
	SETUP Bank/Variation	51	05	7F	2	Bank=00~19 (A~Z) /Vari.=00~07 (1~8)
GLOBAL	Global EQ Switch	51	10	7F	1	00, 01 (Off, On)
	Global EQ Low Gain	51	11	7F	1	36~40~4A (-10 ~ +0 ~ +10dB)
	Global EQ High Gain	51	12	7F	1	36~40~4A (-10 ~ +0 ~ +10dB)
	Global EQ Mid1 Gain	51	13	7F	1	36~40~4A (-10 ~ +0 ~ +10dB)
	Global EQ Mid2 Gain	51	14	7F	1	36~40~4A (-10 ~ +0 ~ +10dB)
	Global EQ Mid1 Q	51	17	7F	1	00~06 (0.5~4.0)
	Global EQ Mid2 Q	51	18	7F	1	00~06 (0.5~4.0)
	Global EQ Mid1 Frequency	51	15	7F	1	00~7F (200~3150Hz)
	Global EQ Mid2 Frequency	51	16	7F	1	00~7F (200~3150Hz)
	Transpose Switch	53	01	7F	1	00, 01 (Off, On)
	Transpose Value	53	02	7F	1	28~40~58 (-24~0~+24)
	LocalOff	58	01	7F	1	00, 01 (LocalOff, LocalOn)
	Metronome Mode	56	0A	7F	1	00, 01 (Click, Rhythm)
	Metronome Beat	56	02	7F	2	01~16 (Beat) /01, 02, 03, 04 (Measure: 1/2, 1/4, 1/8, 1/16)
	Metronome Volume	56	03	7F	1	00~7F (0~127)
	Metronome Tempo	56	01	7F	2	TempoMSB/TempoLSB=00/1E~02/2C (30~300)
	Rhythm Category	56	09	7F	1	Rhythm Pattern=00~63(1~100)
Rhythm Variation	56	09	7F	1	Rhythm Pattern=00~63(1~100)	

3.4 Setup Parameters: EDIT Menu

Category	Parameter	Com.	Sub.	Part	Byte	Value (HEX)
Buttons	Part Switch	55	06	pp	1	00, 01 (Off, On)
	Volume Fader	55	01	pp	1	00~7F
	Tone Number	55	00	pp	3	msb/lb/prog (*GM mode Program Change)
1.REVERB	REVERB Switch	55	07	pp	1	00, 01 (Off, On)
	Reverb Type	55	08	7F	1	00~05 (Room, Lounge, Small Hall, Concert Hall, LiveHall, Catedral)
	Reverb Pre Delay	55	0A	7F	1	00~7F
	Reverb Time	55	09	7F	1	00~7F
	REVERB DEPTH	55	03	pp	1	00~7F
2.EFX/AMP	EFX Switch	55	05	pp	1	00, 01 (Off, On)
	EFX Category	55	11	pp	2	Category=00~16/Type=depend on Category
	EFX Type	55	11	pp	2	Category=00~16/Type=depend on Category
	EFX Parameter 1	55	12	pp	1	0~7F (depend on EFX Type)
	EFX Parameter 2	55	13	pp	1	0~7F (depend on EFX Type)
	EFX Parameter 3	55	14	pp	1	0~7F (depend on EFX Type)
	EFX Parameter 4	55	15	pp	1	0~7F (depend on EFX Type)
	EFX Parameter 5	55	16	pp	1	0~7F (depend on EFX Type)
	EFX Parameter 6	55	17	pp	1	0~7F (depend on EFX Type)
	EFX Parameter 7	55	18	pp	1	0~7F (depend on EFX Type)
	EFX Parameter 8	55	19	pp	1	0~7F (depend on EFX Type)
	EFX Parameter 9	55	1A	pp	1	0~7F (depend on EFX Type)
	EFX Parameter 10	55	1B	pp	1	0~7F (depend on EFX Type)
	EFX2 Switch	55	20	pp	1	0, 1 (Off, On)
	EFX2 Category	55	21	pp	1	Category=00~16/Type=depend on Category
	EFX2 Type	55	21	pp	1	Category=00~16/Type=depend on Category
	EFX2 Parameter 1	55	22	pp	1	0~7F (depend on EFX Type)
	EFX2 Parameter 2	55	23	pp	1	0~7F (depend on EFX Type)
	EFX2 Parameter 3	55	24	pp	1	0~7F (depend on EFX Type)
	EFX2 Parameter 4	55	25	pp	1	0~7F (depend on EFX Type)
	EFX2 Parameter 5	55	26	pp	1	0~7F (depend on EFX Type)
	EFX2 Parameter 6	55	27	pp	1	0~7F (depend on EFX Type)
	EFX2 Parameter 7	55	28	pp	1	0~7F (depend on EFX Type)
	EFX2 Parameter 8	55	29	pp	1	0~7F (depend on EFX Type)
	EFX2 Parameter 9	55	2A	pp	1	0~7F (depend on EFX Type)
	EFX2 Parameter 10	55	2B	pp	1	0~7F (depend on EFX Type)
	AMP Simulator Switch	55	30	pp	1	0, 1 (Off, On)
	AMP Simulator Type	55	31	pp	2	Type=0~4 (S.Case, M.Stack, J.Combo, F.Bass, L.Cabi) / Vari.=0 (ignote)
	AMP Simulator Drive	55	32	pp	1	0~7F
	AMP Simulator Level	55	33	pp	1	0~7F
	AMP Simulator EQ Low	55	34	pp	1	00~0A~14 (-10 ~ +0 ~ +10dB)
	AMP Simulator EQ Mid	55	36	pp	1	00~0A~14 (-10 ~ +0 ~ +10dB)
	AMP Simulator EQ Mid Freq.	55	37	pp	1	0~7F (200~3150Hz)
AMP Simulator EQ High	55	35	pp	1	00~0A~14 (-10 ~ +0 ~ +10dB)	
AMP Simulator Mic Type	55	38	pp	1	00, 01 (Condenser, Dynamic)	
AMP Simulator Mic Position	55	39	pp	1	00, 01 (OnAxis, OffAxis)	
AMP Simulator Ambiance Level	55	3A	pp	1	0~7F	

3.4 Setup Parameters: EDIT Menu (cont.)

Category	Parameter	Com.	Sub.	Part	Byte	Value (HEX)
3.Sound	Master Volume	55	01	7F	1	0~7F
	Panpot	55	02	pp	1	0~40~7F (L64~0~R63)
	Cutoff	55	40	pp	1	0~40~7F (-64~0~+63)
	Resonance	55	41	pp	1	0~40~7F (-64~0~+63)
	DCA Attack Time	55	42	pp	1	0~40~7F (-64~0~+63)
	DCA Decay Time	55	43	pp	1	0~40~7F (-64~0~+63)
	DCA Sustain Level	55	44	pp	1	0~40~7F (-64~0~+63)
	DCA Release Time	55	45	pp	1	0~40~7F (-64~0~+63)
	DCF Attack Time	55	46	pp	1	0~40~7F (-64~0~+63)
	DCF Attack Level	55	5B	pp	1	0~40~7F (-64~0~+63)
	DCF Decay Time	55	47	pp	1	0~40~7F (-64~0~+63)
	DCF Sustain Level	55	48	pp	1	0~40~7F (-64~0~+63)
	DCF Release Time	55	49	pp	1	0~40~7F (-64~0~+63)
	DCF Touch Depth	55	4A	pp	1	0~40~7F (-64~0~+63)
	DCA Touch Depth	55	4B	pp	1	0~40~7F (-64~0~+63)
	Vibrato Depth	55	4C	pp	1	0~40~7F (-64~0~+63)
	Vibrato Rate	55	4D	pp	1	0~40~7F (-64~0~+63)
	Vibrato Delay	55	4E	pp	1	0~40~7F (-64~0~+63)
	Octave Layer On/Off	55	54	pp	1	00, 01 (Off, On)
	Octave Layer Level	55	55	pp	1	0~7F
Octave Layer Range	55	56	pp	1	3D~40~43 (-3 ~ +0 ~ +3)	
Octave Layer Detune	55	57	pp	1	0~40~7F (-64~0~+63)	
Layer Sound:Vocal	50	58	pp	1	0, 1~7F (Off, 1~127)	
Layer Sound:Bell	50	59	pp	1	0, 1~7F (Off, 1~127)	
Layer Sound:Air	50	5A	pp	1	0, 1~7F (Off, 1~127)	
4.Tuning	Fine Tune	50	22	pp	1	0~40~7F (-64~0~+63)
	Stretch Tuning	50	0B	pp	1	00~08, 40~44 (Off, Narrow2, Narrow1, Normal, Wide1, Wide2~5, Sys.User1~5)
	Temperament	50	0D	pp	2	Type=00~06, 40~41 (Equal, PureMaj~min, Pytagor, Meantone, Werkmeis, Kirnberg, Sys.User1~2) / Key=00~0B (C~B)
	Temperament Key					
5.KeySetup	Touch Curve	50	00	pp	1	00~0A (Light, Normal, Heavy, Off, Light+, Heavy+, Sys.User1~5)
	Dynamics	53	05	pp	1	00, 01~0A (Off, 1~10)
	Minimum Touch	50	0A	pp	1	01~20 (1~20)
	Transmit	58	09	pp	2	Mode=00 (Keyboard&Panel) / Value=00, 01 (Off, On)
	Octave Shift	53	03	pp	1	3D~40~43 (-3~0~+3)
	Zone Transpose	53	02	pp	1	34~40~4C (-12~0~+12)
	KS-Damping	53	0B	pp	1	00, 01 (Off, On)
	KS-Key	53	0C	pp	1	15~6C (A0~C8)
	Key Range Mode	53	07	pp	1	00~03 (Off, Lower, Upper, Zone)
	Split Point	53	06	pp	1	15~6C (A0~C8)
	Key Range - Zone Low	53	08	pp	2	Low=00~7F (A0~C8) / High=00~7F (A0~C8)
	Key Range - Zone High					
	Solo On/Off	55	4F	pp	1	00, 01 (Off, On)
	Solo Mode	55	50	pp	1	00~02 (Last, High, Low)
Key Volume	50	0F	pp	1	00~04, 40~44 (Off, HighDamping, LowDamping, High&LowDamping, CenterDamping, Sys.User1~5)	

3.4 Setup Parameters: EDIT Menu (cont.)

Category	Parameter	Com.	Sub.	Part	Byte	Value (HEX)
6.Control	Right Pedal On/Off	54	04	pp	2	Cont.ID=00 (Main Damper) /Value=00, 01 (Off, On)
	Right Pedal Assign	54	05	INT/ EXT	3	Cont.ID=00 (Main Damper) /Func.ID MSB/Func.ID LSB * <INT>00/00~00/1B, <EXT>00/00~00/78
	Damper Mode	50	20	pp	1	00, 01 (Normal, Hold)
	Half Pedal Value	58	0D	pp	1	00~04 (Normal, High, Low, MidHigh, MidLow)
	Center Pedal On/Off	54	04	pp	2	Cont.ID=03 (Sostenuto) /Value=00, 01 (Off, On)
	Center Pedal Assign	54	05	INT/ EXT	3	Cont.ID=03 (Sostenuto) /Func.ID MSB/Func.ID LSB * <INT>00/00~00/1B, <EXT>00/00~00/78
	Left Pedal On/Off	54	04	pp	2	Cont.ID=04 (Soft) /Value=00, 01 (Off, On)
	Left Pedal Assign	54	05	INT/ EXT	3	Cont.ID=04 (Soft) /Func.ID MSB/Func.ID LSB * <INT>00/00~00/1B, <EXT>00/00~00/78
	PitchBend Wheel On/Off	54	04	pp	2	Cont.ID=09 (Wheel1<Bender>) /Value=00, 01 (Off, On)
	PitchBend Range	55	5C	pp	1	[INT] 00~07, [EXT] 00-12
	Soft Pedal Adjust	50	12	pp	1	01-0A
	Modulation Wheel On/Off	54	04	pp	2	Cont.ID=0A (Wheel2<Mod.>) /Value=00~02 (Off, On, Reverse)
	Modulation Wheel Assign	54	05	pp	3	Cont.ID=0A (Wheel2<Mod.>) /Func.ID MSB/Func.ID LSB * <INT>00/00~00/1B, <EXT>00/00~00/78
	Modulation Depth Range	55	5D	pp	1	00~7F
	FSW Pedal On/Off	54	04	pp	2	Cont.ID=05 (FSW1) /Value=00, 01 (Off, On)
FSW Pedal Assign	54	05	INT/ EXT	3	Cont.ID=05 (FSW1) /Func.ID MSB/Func.ID LSB * <INT>00/00~00/1B, <EXT>00/00~00/78	
EXP Pedal On/Off	54	04	pp	2	Cont.ID=07 (EXP1) /Value=00~02 (Off, On, Reverse)	
EXP Pedal Assign	54	05	INT/ EXT	3	Cont.ID=07 (EXP1) /Func.ID MSB/Func.ID LSB * <INT>00/00~00/1B, <EXT>00/00~00/78	
7.KnobAsgn	KnobA Assign (1/2)	54	03	pp	3	Knob ID=00/Para.ID MSB/Para.ID LSB see 3.6 Assignable Knob Paraemtars
	KnobB Assign (1/2)	54	03	pp	3	Knob ID=01/Para.ID MSB/Para.ID LSB see 3.6 Assignable Knob Paraemtars
	KnobC Assign (1/2)	54	03	pp	3	Knob ID=02/Para.ID MSB/Para.ID LSB see 3.6 Assignable Knob Paraemtars
	KnobD Assign (1/2)	54	03	pp	3	Knob ID=03/Para.ID MSB/Para.ID LSB see 3.6 Assignable Knob Paraemtars
	KnobA Assign (2/2)	54	03	pp	3	Knob ID=04/Para.ID MSB/Para.ID LSB see 3.6 Assignable Knob Paraemtars
	KnobB Assign (2/2)	54	03	pp	3	Knob ID=05/Para.ID MSB/Para.ID LSB see 3.6 Assignable Knob Paraemtars
	KnobC Assign (2/2)	54	03	pp	3	Knob ID=06/Para.ID MSB/Para.ID LSB see 3.6 Assignable Knob Paraemtars
	KnobD Assign (2/2)	54	03	pp	3	Knob ID=07/Para.ID MSB/Para.ID LSB see 3.6 Assignable Knob Paraemtars
8.VirtTech	Voicing	50	01	pp	1	00~0A (Normal, Mellow1, Mellow2, Dynamic, Bright1, Bright2, Sys.User1 ~5)
	String Resonance	50	04	pp	1	00, 01~0A (Off, 1~10)
	Undamped Resonance	50	15	pp	1	00, 01~0A (Off, 1~10)
	Damper Resonance	50	02	pp	1	00, 01~0A (Off, 1~10)
	KeyOff Effect	50	05	pp	1	00, 01~0A (Off, 1~10)
	Damper Noise	50	03	pp	1	00, 01~0A (Off, 1~10)
	Hammer Delay	50	07	pp	1	00, 01~0A (Off, 1~10)
	Fallback Noise	50	06	pp	1	00, 01~0A (Off, 1~10)
	Topboard	50	08	pp	1	00~03 (Close, Open1~3)

3.4 Setup Parameters: EDIT Menu (cont.)

Category	Parameter	Com.	Sub.	Part	Byte	Value (HEX)
8.VirtTech	Stereo Width	50	13	pp	1	00~7F
	Brilliance	50	14	pp	1	36~40~4A (-10 ~ +0 ~ +10dB)
	KeyoffNoise	50	24	pp	1	00, 01~0A (Off, 1~10) <for E.PIANO sound>
	KeyOffNoiseDelay	50	25	pp	1	00~7F <for E.PIANO sound>
9.Ch/Prog.	MIDI Transmit Channel	58	02	pp	1	00~0F (1~16Ch)
	Program Change Number	58	0B	pp	1	00~7F (1~128)
	Bank Number MSB	58	0E	pp	1	00~7F (0~127)
	Bank Number LSB	58	0F	pp	1	00~7F (0~127)
10.SETUP	Send Program On/Off	58	0A	pp	2	Send mode=00 (Program) /00, 01 (Off, On)
	Send Bank On/Off	58	0A	pp	2	Send mode=01 (Bank) /00, 01 (Off, On)
	Send Volume On/Off	58	0A	pp	2	Send mode=02 (Volume) /00, 01 (Off, On)
	Send Knobs On/Off	58	0A	pp	2	Send mode=03 (Knobs) /00, 01 (Off, On)
11.Transmit	Edit System Exclusive	58	09	7F	2	Trans. mode=04 (SysEX) /00, 01 (Off, On)
	Recorder	58	09	7F	2	Trans. mode=02 (Recorder) /00, 01 (Off, On)
12.MMC	Transmit MMC	58	09	7F	2	Trans. mode=03 (MMC) /00, 01 (Off, On)
	MMC Device ID	58	0C	7F	2	ParalD=00 (DeviceID) /Value=00~7F
	MMC [RESET]	58	0C	7F	2	ParalD=01 (RESET) /Value=00 (NoAssign), 01~0D (MMC commands), 0E~10 (Realtime [FA,FB,FC])
	MMC [PLAY]	58	0C	7F	2	ParalD=02 (PLAY) /Value=00 (NoAssign), 01~0D (MMC commands), 0E~10 (Realtime [FA,FB,FC])
	MMC [REC]	58	0C	7F	2	ParalD=03 (REC) /Value=00 (NoAssign), 01~0D (MMC commands), 0E~10 (Realtime [FA,FB,FC])
	MMC [A<->B]	58	0C	7F	2	ParalD=04 (A<->B) /Value=00 (NoAssign), 01~0D (MMC commands), 0E~10 (Realtime [FA,FB,FC])
	MMC [REW]	58	0C	7F	2	ParalD=05 (REW) /Value=00 (NoAssign), 01~0D (MMC commands), 0E~10 (Realtime [FA,FB,FC])
	MMC [FF]	58	0C	7F	2	ParalD=06 (FF) /Value=00 (NoAssign), 01~0D (MMC commands), 0E~10 (Realtime [FA,FB,FC])

* Pedal/Wheel/Fader assign:

<INT> Mod., Pan., Exp., Damper, Soste., Soft, Reso., Cutoff, EFX1 Para1~10, EFX2 Para1~10
<EXT> CC#0~119, AfterTouch

** SW Button assign:

Oct.Layer, Rotary, Solo, Portament, Bend. Lock, Mod. Lock, Center Lock, Left Lock, EXP Lock, TW Control

3.5 Setup Parameters: SYSTEM Menu

Category	Parameter	Com.	Sub Com.	Part	Byte	Value (HEX)
Utility	System Tune	51	03	7F	1	26~40~5A (427.0~440.0~453.0Hz)
	Effect SW Mode	51	23	7F	1	00~02 (Preset, Temporary, Fixed)
	Knob Action	51	21	7F	2	Mode=01 (Knob) /Value=00, 01 (Normal, Catch)
	Volume (Fader) Action	51	21	7F	2	Mode=00 (Fader) /Value=00, 01 (Normal, Catch)
	LCD Contrast	51	20	7F	2	Mode=00 (Contrast) /Value=01~0A (1~10)
	LCD Reverse	51	20	7F	2	Mode=02 (Reverse) /Value=00, 01 (Off, On)
	Input Level	51	0D	7F	1	2E~40~52 (-18~0~+18dB)
	Audio Out Mode	51	0E	7F	1	00, 01 (Stereo, 2xMono)
	Lock SW Mode	51	22	7F	1	00~05 (Panel, Bender, Mod.Wheel, CenterPedal, LeftPedal, EXP)
	Auto Power Off	51	00	7F	1	00~03 (Off, 15min., 60min., 120min.)
Pedal/Mod.	Right Pedal Mode	54	06	7F	2	Cont.ID=00 (Main Damper) /Value=00~04 (Normal, Setup+, Setup-, Playback, Metro.)
	Center Pedal Mode	54	06	7F	2	Cont.ID=03 (Sostenuto) /Value=00~04 (Normal, Setup+, Setup-, Playback, Metro.)
	Left Pedal Mode	54	06	7F	2	Cont.ID=04 (Soft) /Value=00~04 (Normal, Setup+, Setup-, Playback, Metro.)
	Half Pedal Adjust	50	11	7F	1	01~0A (1~10)
	FSW Pedal Mode	54	06	7F	2	Cont.ID=05 (FSW1) /Value=00~04 (Normal, Setup+, Setup-, Playback, Metro.)
	FSW Pedal Polarity	54	07	7F	2	Cont.ID=05 (FSW1) /Value=00~01 (Normal, Reverse)
	Mod. Pedal Curve	54	08	7F	2	Cont.ID=0A (Wheel2<Mod. >) /Value=00~02 (Normal, Slow, Fast)
	EXP Pedal Curve	54	08	7F	2	Cont.ID=07 (EXP1) /Value=00~02 (Normal, Slow, Fast)
MIDI	System Channel	58	00	7F	1	00~0F (1~16Ch.)
	Key to MIDI	58	08	7F	2	ToMIDI= bit2:USB, bit1:MIDI, bit0:Key/ToUSB=bit1:MIDI, bit0:Key (1:Connect)
	Key to USB-MIDI					
	MIDI to MIDI					
	MIDI to USB-MIDI					
	USB-MIDI to MIDI					
	Send Program On/Off	58	0A	7F	2	Send mode=00 (Program) /00, 01 (Off, On)
	Send Bank On/Off	58	0A	7F	2	Send mode=01 (Bank) /00, 01 (Off, On)
	Send Volume On/Off	58	0A	7F	2	Send mode=02 (Volume) /00, 01 (Off, On)
	Send Knobs On/Off	58	0A	7F	2	Send mode=03 (Knobs) /00, 01 (Off, On)
	Receive Mode	58	05	7F	1	00~02 (Panel, Section, OmniOn)
	Piano Receive Channel	58	03	00	1	00~0F (1~16Ch.)
	E.Piano Receive Channel	58	03	01	1	00~0F (1~16Ch.)
SUB Receive Channel	58	03	02	1	00~0F (1~16Ch.)	
Offset	Reverb Offset	55	03	7F	1	00~64 (0~100%)
	EQ Offset	51	24	7F	1	00, 01 (Off, On)
	EQ Offset Lo	51	25	7F	1	36~40~4A (-10 ~ +0 ~ +10dB)
	EQ Offset Hi	51	26	7F	1	36~40~4A (-10 ~ +0 ~ +10dB)
	EQ Offset Mid1	51	27	7F	1	36~40~4A (-10 ~ +0 ~ +10dB)
	EQ Offset Mid2	51	28	7F	1	36~40~4A (-10 ~ +0 ~ +10dB)

3.6 Assignable Knob Parameters

Knob Assignable Parameter			Data (HEX)	Section			
Section	Category	Name	MSB/LSB	PIANO	E.PIANO	SUB	
Internal	1.REVERB	<input checked="" type="checkbox"/> Rev.Type	00/01		●		
		<input checked="" type="checkbox"/> RevPreDly	00/02		●		
		<input checked="" type="checkbox"/> Rev.Time	00/03			●	
		Rev.Depth	00/04	●	●	●	
	2.EFX/AMP	EFX Categ.	00/05	●	●	●	
		EFX Type	00/06	●	●	●	
		EFX Para1	00/07	●	●	●	
		EFX Para2	00/08	●	●	●	
		EFX Para3	00/09	●	●	●	
		EFX Para4	00/0A	●	●	●	
		EFX Para5	00/0B	●	●	●	
		EFX Para6	00/0C	●	●	●	
		EFX Para7	00/0D	●	●	●	
		EFX Para8	00/0E	●	●	●	
		EFX Para9	00/0F	●	●	●	
		EFX Para10	00/10	●	●	●	
		EFX2 Categ.	00/11	-	●	-	
		EFX2 Type	00/12	-	●	-	
		EFX2 Para1	00/13	-	●	-	
		EFX2 Para2	00/14	-	●	-	
		EFX2 Para3	00/15	-	●	-	
		EFX2 Para4	00/16	-	●	-	
		EFX2 Para5	00/17	-	●	-	
		EFX2 Para6	00/18	-	●	-	
		EFX2 Para7	00/19	-	●	-	
		EFX2 Para8	00/1A	-	●	-	
		EFX2 Para9	00/1B	-	●	-	
		EFX2Para10	00/1C	-	●	-	
		Amp Type	00/1D	-	●	-	
		Amp Drive	00/1F	-	●	-	
		Amp Level	00/1E	-	●	-	
		AmpEQ-Lo	00/20	-	●	-	
		AmpEQ-Mid	00/21	-	●	-	
		AmpEQ-Hi	00/22	-	●	-	
		MidFreq.	01/1A	-	●	-	
		AmpMicType	01/15	-	●	-	
	AmpMicPos.	01/14	-	●	-		
	AmpAmbien.	01/16	-	●	-		
	3.Sound	<input checked="" type="checkbox"/> MasterVol	00/23			●	
		Panpot	00/24	●	●	●	
		Cutoff	00/25	●	●	●	
		Resonance	00/26	●	●	●	
		DCA Attack	00/27	●	●	●	
		DCA Decay	00/28	●	●	●	
DCASustain		00/29	●	●	●		
DCARelease		00/2A	●	●	●		

3.6 Assignable Knob Parameters (cont.)

Knob Assignable Parameter			Data (HEX)	Section		
Section	Category	Name	MSB/LSB	PIANO	E.PIANO	SUB
Internal	3.Sound	DCF ATK Tm	00/2B	●	●	●
		DCF ATK Lv	00/2C	●	●	●
		DCF Decay	00/2D	●	●	●
		DCFSustain	00/2F	●	●	●
		DCFRelease	00/2E	●	●	●
		DCF TchDpt	00/30	●	●	●
		DCA TchDpt	00/31	●	●	●
		Vib.Depth	00/32	●	●	●
		Vib.Rate	00/33	●	●	●
		Vib.Delay	00/34	●	●	●
		Octave	00/35	●	●	●
		Oct.Level	00/36	●	●	●
		Oct.Range	00/37	●	●	●
		Oct.Detune	00/38	●	●	●
		Vocal	01/07	●	●	●
		Bell	01/08	●	●	●
		Air	01/19	●	●	●
		4.Tuning	Fine Tune	00/4B	●	●
	Stretch		00/4C	●	●	●
	Temperment		00/4D	●	●	●
	Temper.Key		00/4E	●	●	●
	5.KeySetup	Touch	00/55	●	●	●
		Dynamics	00/5B	●	●	●
		KeyVolume	01/1B	●	●	●
		Min.Touch	01/1C	●	●	●
		OctavShift	00/57	●	●	●
		ZoneTrans.	00/58	●	●	●
		KS-Damping	00/59	●	●	●
		KS-Key	00/5A	●	●	●
		KeyRange	00/4F	●	●	●
		<input checked="" type="checkbox"/> SpltPoint	00/50	●	●	●
		Zone Lo	00/52	●	●	●
		Zone Hi	00/51	●	●	●
	6.Control	Right Ped.	00/5E	●	●	●
		<input checked="" type="checkbox"/> R.Assign	00/5F		●	
		Damp.Mode	00/60	●	●	●
		CenterPed.	00/63	●	●	●
		<input checked="" type="checkbox"/> C.Assign	00/64		●	
		Left Pedal	00/65	●	●	●
		<input checked="" type="checkbox"/> L.Assign	00/66		●	
		SoftPdlDpt	01/03	●	●	●
		Pitch Bend	00/69	●	●	●
		Bend Range	00/6A	●	●	●
		Mod.Wheel	00/6B	●	●	●
Mod.Assign		00/6C	●	●	●	
Mod.Range		01/18	●	●	●	

3.6 Assignable Knob Parameters (cont.)

Knob Assignable Parameter			Data (HEX)	Section		
Section	Category	Name	MSB/LSB	PIANO	E.PIANO	SUB
Internal	6.Control	F5W Pedal	01/1E	●	●	●
		<input checked="" type="checkbox"/> F5WAssign	01/1F		●	
		EXP Pedal	00/67	●	●	●
		<input checked="" type="checkbox"/> EXPAssign	00/68		●	
	8.VirtTech	Voicing	00/79	●	-	-
		StringReso	00/7B	●	-	-
		UndampedRs	01/1D	●	-	-
		DamperReso	00/7C	●	-	-
		KeyOffEff.	00/7D	●	-	-
		DamperNois	00/7E	●	-	-
		HammerDly	00/7F	●	-	-
		FallbackNs	01/00	●	-	-
		Topboard	01/01	●	-	-
		StereoWdth	00/7A	●	-	-
		Brilliance	01/04	●	-	-
		KeyOffNois	01/05	-	●	●
KeyOffDly	01/06	-	●	●		
External	CC#0~119		00/00~00/77			
	AfterTouch		00/78			

* Harpsi./Bass sounds also have KeyOffNois/KeyOffDly parameters.

4 SOUND/SETUP Program/Bank

MIDIパラメータの受信モード(P. 104の「11 Receive Mode」参照)が[Panel]に設定されているとき、MP11SEはシステムチャンネルでMIDIデータを受信します。

* MP11SEはシステムチャンネルにて、プログラムナンバーとバンクナンバー MSBの0または1を受信すると、セットアップモードのON/OFFを切り換え、対応したセットアップを呼び出します。また、受信モードが“Section”に設定されているときは、内部音色セクションはそれぞれ独立したチャンネルでMIDI受信します。

Panel Mode:

SETUP Program Number

BANK#MSB	1:	SETUP mode ON
BANK#LSB	0-25:	BANK A-Z
PROGRAM	1-8:	Setup Variation 1-8

SOUND Program Number

BANK#MSB	0:	SETUP mode OFF
BANK#LSB	0:	PIANO Section
	1:	E.PIANO Section
	2:	SUB Section
PROGRAM	1-12:	PIANO/E.PIANO Section's Sound variation 1-12
	1-16:	SUB Section's Sound variation 1-16

* 一つの内部音色セクションのみアクティブになります。

Section Mode:

BANK#MSB	(ignored)
BANK#LSB	(ignored)
PROGRAM	1-12: PIANO/E.PIANO Section's Sound variation 1-12
	1-16: SUB Section's Sound variation 1-16

* それぞれのセクションの受信チャンネルで受信します。
* セットアップモードはON/OFFしません。

5 Control Change Number (CC#) Table

Control Number		Control Function
Decimal	Hex	
0	0	Bank Select (MSB)
1	1	Modulation Wheel or lever
2	2	Breath Controller
3	3	(undefined)
4	4	Foot Controller
5	5	Portament Time
6	6	Data Entry (MSB)
7	7	Channel Volume
8	8	Balance
9	9	(undefined)
10	A	Panpot
11	B	Expression Controller
12	C	Effect Controller1
13	D	Effect Controller2
14	E	(undefined)
15	F	(undefined)
16-19	10-13	General Purpose Controller1~4
20-31	14-1F	(undefined)
32	20	Bank Select (LSB)
33-63	21-3F	(LSB of Control Number 1-32)
64	40	Hold1 (Damper Pedal or Sustain)
65	41	Portamento On/Off
66	42	Sostenuto
67	43	Soft Pedal
68	44	Legato Footswitch
69	45	Hold2 (freeze etc)
70	46	Sound Controller1 (Sound Variation)
71	47	Sound Controller2 (Filter Resonance/Harmonic Intensity)
72	48	Sound Controller3 (Release Time)
73	49	Sound Controller4 (Attack Time)
74	4A	Sound Controller5 (Brightness/Cutoff)
75	4B	Sound Controller6 (Decay Time)
76	4C	Sound Controller7 (Vibrato Rate)
77	4D	Sound Controller8 (Vibrato Depth)
78	4E	Sound Controller9 (Vibrato Delay)
79	4F	Sound Controller10
80-83	50-53	General Purpose Controller5~8
84	54	Portament Control
85-90	55-5A	(undefined)
91	5B	Effect1 Depth (Reverb Send Level)
92	5C	Effect2 Depth
93	5D	Effect3 Depth (Chorus Send Level)
94	5E	Effect4 Depth
95	5F	Effect5 Depth
96	60	Data Increment
97	61	Data Decrement
98	62	Non Registered Parameter Number (LSB)
99	63	Non Registered Parameter Number (MSB)
100	64	Registered Parameter Number (LSB)
101	65	Registered Parameter Number (MSB)
102-119	66-77	(undefined/reserved)
120-127	78-7F	Channel Mode Message

Function	Transmitted	Recognised		Remarks	
		Panel	Section		
Basic Channel	Default	1 - 16	1 - 16	1 - 16	
	Changed	1 - 16	1 - 16	1 - 16	
Mode	Default	3	3	3	
	Messages	3,4 (m=1)	X	X	
	Altered	*****			
Note Number		0 - 127	0 - 127	0 - 127	
	True Voice	*****			
Velocity	Note ON	0 9nH, v=1 - 127	0	0	
	Note OFF	0 8nH, v=0 - 127	0	0	
After Touch	Key	X	X	X	
	Channel	0 *1	X	X	
Pitch Bend		0	0	0	
Control Change	0,32	0	0	X	Bank Select
	1	0	0	0	Modulation *2
	6,38	0	X	0	Data Entry
	7	0	0	0	Volume
	10	0	X	0	Panpot
	11	0	0	0	Expression(EXP) *2
	64	0	0	0	Hold1(Damper) *2
	66	0	0	0	Sostenuto *2
	67	0	0	0	Soft *2
	70,71	0	X	0	Sustain, Resonance
	72,73,74,75	0	X	0	RLS, ATK, CTF, DCY
	76,77,78	0	X	0	Vibrato (Rate,Depth,Delay)
	91	0	X	0	Reverb Depth
	98,99	X	X	0	NRPN LSB/MSB
100, 101	X	X	0	RPN LSB/MSB	
0-119	0 *1	X	X		
Program Change		0	0	0	
	True #	*****	0 - 127	0 - 127	
System Exclusive		0	0	0	
Common	Song Position	X	X	X	
	Song Select	X	X	X	
	Tune	X	X	X	
System Real Time	Clock	X	X	X	
	Commands	0	X	X	
Other Functions	All Sound OFF	X	0	0	
	Reset All Cntrls	0	0	0	
	Local ON/OFF	X	X	X	
	All Note OFF	0	0 (123-127)	0 (123-127)	
	Active Sense	X	0	0	
	Reset	X	X	X	
Notes		*1: Assigned to Modulation Wheel, Foot Controllers or Knob A~D *2: ON/OFF settings of each section are set in EDIT menu. The function is assigned to MOD/EXP/Right/Centre/Left Pedal in EDIT menu. Also, the section mode's other messages control each volume faders or each parameters in EDIT menu.			

Mode 1 : OMNI ON , POLY
Mode 3 : OMNI OFF, POLY

Mode 2 : OMNI ON , MONO
Mode 4 : OMNI OFF, MONO

O : Yes
X : No

株式会社河合楽器製作所

電子楽器事業部

〒430-8665 浜松市中区寺島町200番地

TEL. 053-457-1277 / FAX. 053-457-1279

<https://www.kawai.jp>

■ お問合せ先について

◆ お客様相談室

TEL. 053-457-1311 / E-mail. customer@kawai.co.jp

電話受付時間 9:00~12:00 / 13:00~17:00

(土曜、日曜、祝日及び弊社規定の休日を除きます。)

◆ 修理受付窓口

電子楽器コールセンター

TEL : 053-457-1295 / E-mail : denshi-callcenter@kawai.co.jp

電話受付時間 9:00~12:00 / 13:00~17:00

(土曜、日曜、祝日及び弊社規定の休日を除きます。)

各エリアの修理受付窓口は弊社Webページよりご確認ください。

電話・FAX・インターネットでお問い合わせいただけます。

<https://www.kawai.jp/support/service/ep/repair/>



故障と思われる場合につきましては、お買い求めいただいた販売店、もしくは上記の修理受付窓口にお問い合わせください。
その他で不明な点などございましたら、上記のお客様相談室にお問い合わせください。

